エクシオール 暖蘭物語（だんらんものがたり）

取付説明書 ― 総合編 ―

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 屋根材に接触する部分へ使用するシーリング材は、弊社指定のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。指定のシーリング材は下記になります。
  ・信越化学工業（株）「シーラント72」
  ・GE東芝シリコーン（株）「トスシール380」
  ・東レ・ダウコーニング・シリコーン（株）「SE960」

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
    特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

＜基礎工事について＞

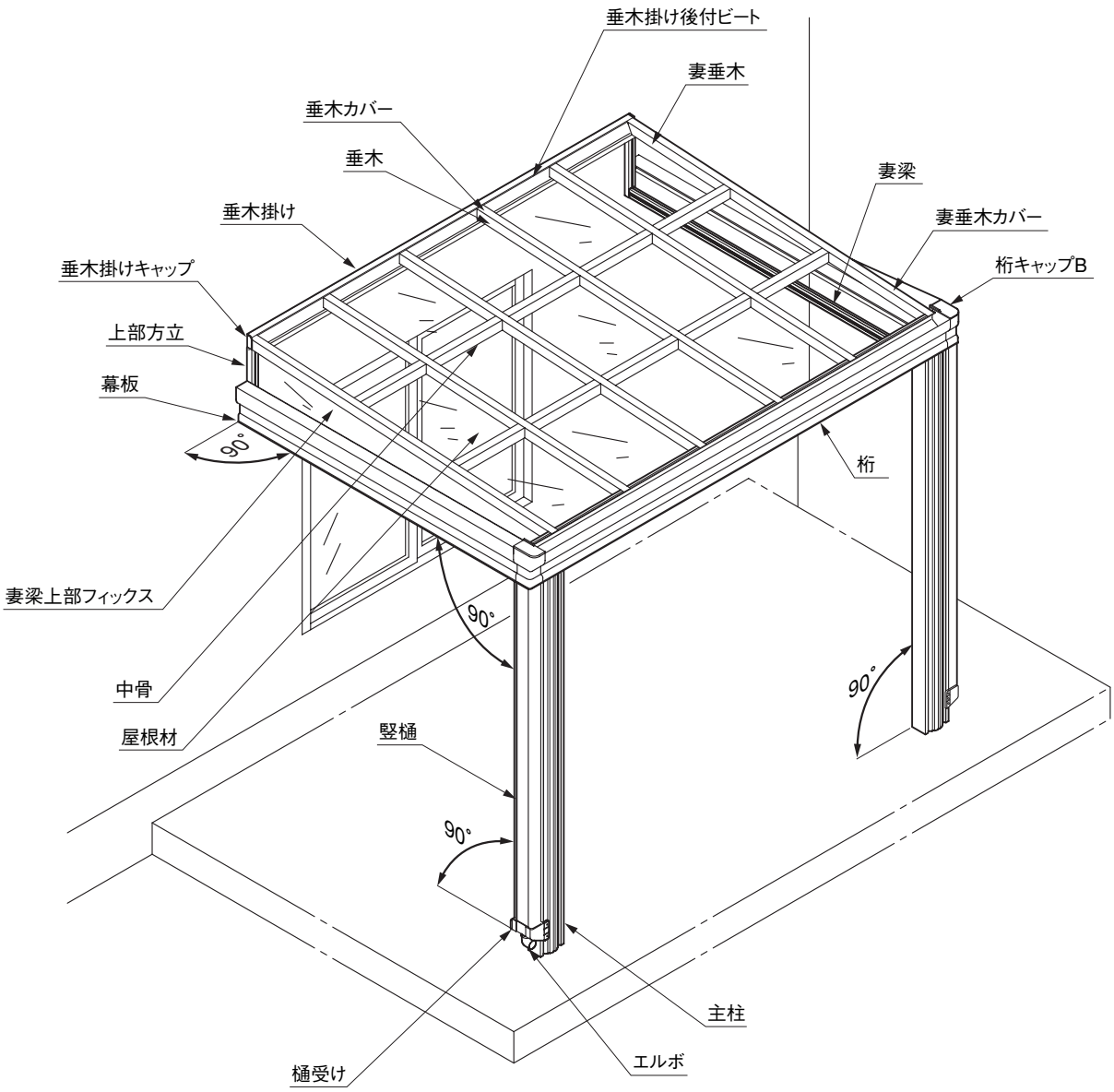
⚠ 注 意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

1 暖蘭物語 施工前の重要確認事項

施工の前にご確認ください

注 1 柱・桁・妻梁の取付け



❶ 柱の建て込みの際、柱を「垂直」に建て込んでください。

<注 意>

- **柱の「垂直」が出ていないと縦枠受けの取付けに支障をきたす場合があります。**

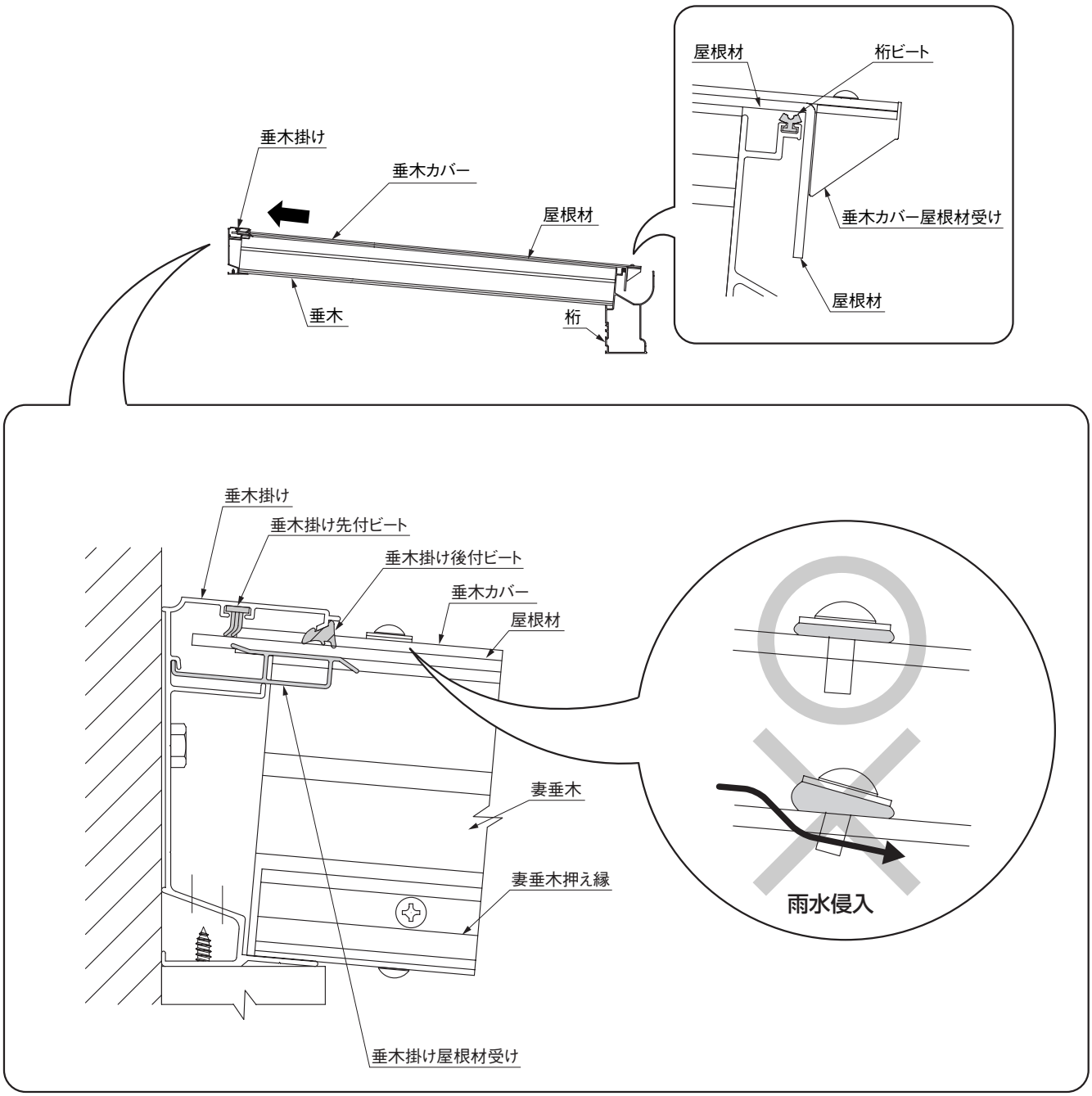
❷ 桁・妻梁の取付けの際、「水平」が出ている事を確認の上、取付けてください。

<注 意>

- **桁・妻梁の「水平」が出ていないと、上下レールの取付けに支障をきたす場合があります。**

施工の前にご確認ください つづき

注 2 屋根材の取付け



❶ 垂木掛け屋根材受けを垂木掛けに確実に挿入してください。
❷ 垂木掛けの溝に屋根材を差込み、屋根材先端が桁ビートに突き当たるまで押し込んでください。
❸ 垂木カバーを垂木掛けに差込み、垂木カバー屋根材受けが屋根材に突き当るまで押し込んでください。
その後、垂木掛け側から順にネジ止めしてください。
❹ 垂木掛け後付ビートを垂木掛けと屋根材の間に押し込んでください。

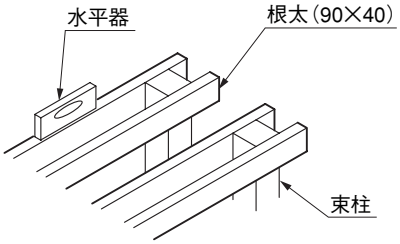
<注 意>

- **この作業が確実に行なわれないと雨もりが発生するおそれがあります。**
- **垂木，妻垂木カバー取付ネジは、垂木，妻垂木に対して垂直にかつゴムパッキンが十分につぶれるまでねじ込んでください。不十分だと、雨もれの原因になります。**

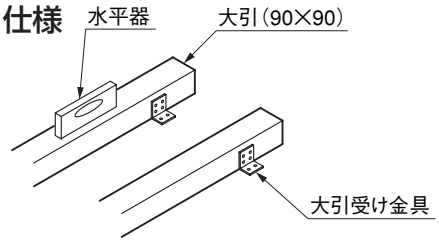
注 3　根太・大引（ウッドデッキ仕様）およびベース材（土間仕様）の水平

1 ウッドデッキ仕様

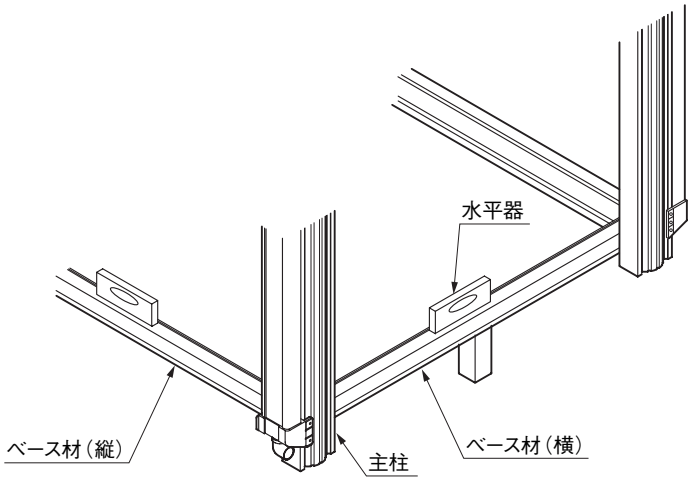
■束柱仕様



■大引仕様



2 土間仕様



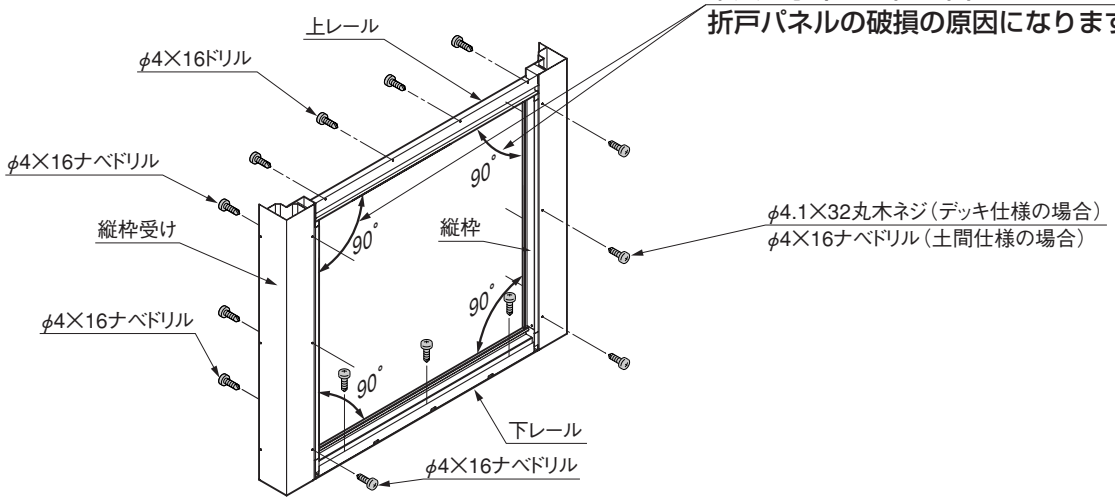
❶ ウッドデッキ仕様では根太もしくは大引、土間仕様ではベース材の水平が出るように施工してください。

＜注　意＞

- **水平が出ていないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。**
- **ウッドデッキ仕様の場合は、各種ウッドデッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　－デッキ編」を参照してください。**

注 4　縦枠の配置（間口寸法の確認）

確実に水平・垂直を出してください。
折戸パネルの破損の原因になります。



❶ 上下レールが間口の中心にくるように固定してください。

＜注　意＞

- **中心からずれて固定すると中間柱にパネルが当り、破損の原因になります。（2.5間、3.0間の場合）**

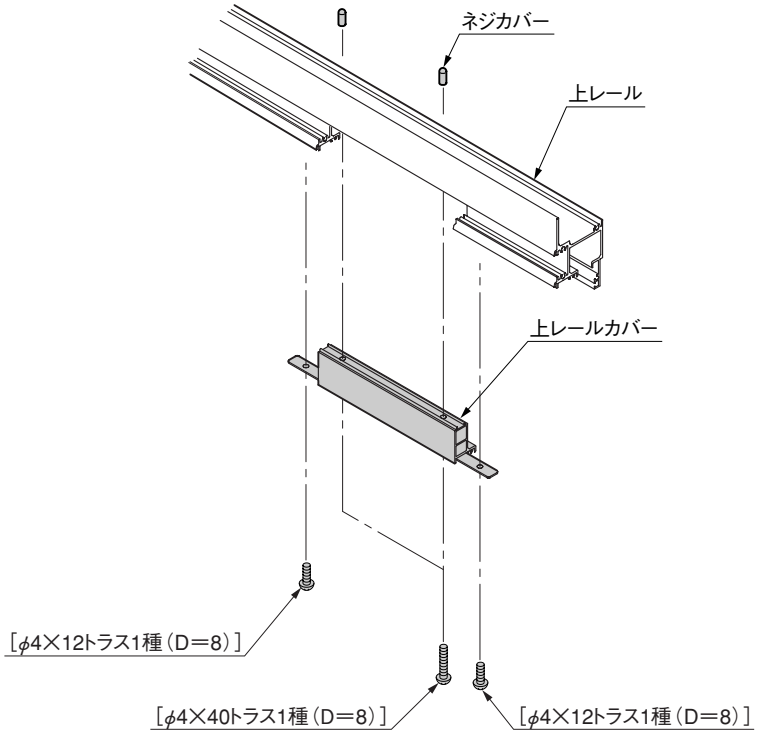
❷ 縦枠を垂直に固定してください。

＜注　意＞

- **傾いたまま固定するとパネルを閉めた時パネルと枠の間に隙間ができます。**

施工の前にご確認ください つづき

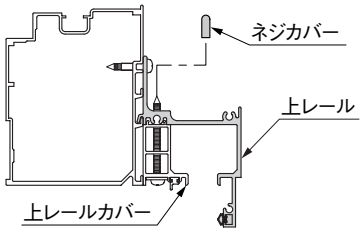
注 5 上レールカバーの取付け



❶ 上レールカバーを上レールの挿入口に入れレール内側の壁に段差が無い事を確認してから4ヶ所確実に固定してください。（A図参照）

<注 意>

- **レール内側に段差が生じた状態で上レールカバーを組付けると、パネルの開閉に支障をきたすおそれがあります。取付ける際は注意してください。**
- **ネジカバーを必ず付けてください。付けない場合、ケガをするおそれがあります。**
- **ネジカバーは桁垂木掛けセットに入っています。**

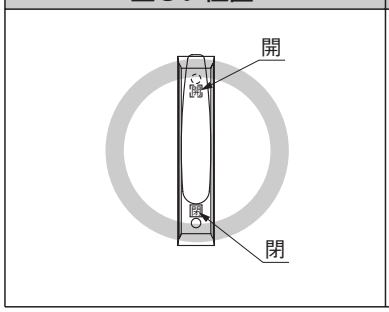
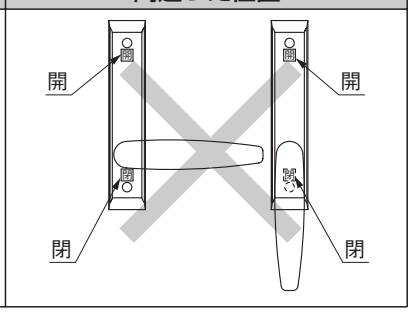


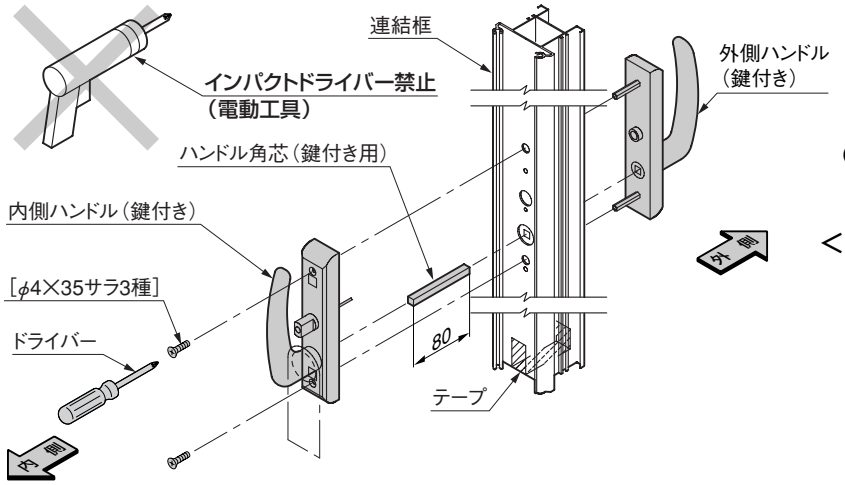
A図

図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

注 6 グレモン錠の取付け

A：ハンドルの取付時の位置

正しい位置	間違った位置
	



❶ 連結框の角穴にハンドル角芯を挿入しハンドルを組付けてください。

<注 意>

- **ハンドルの位置が上向き以外の状態で取付けるとハンドルが正しく動かずパネルの破損の原因になります。必ず正しい位置で取付けを行なってください。（A：ハンドルの取付け時の位置参照）**
- **錠の組付けにはインパクトドライバー（電動工具）は使用しないでください。必ず普通のドライバーを使用して組み付けてください。**

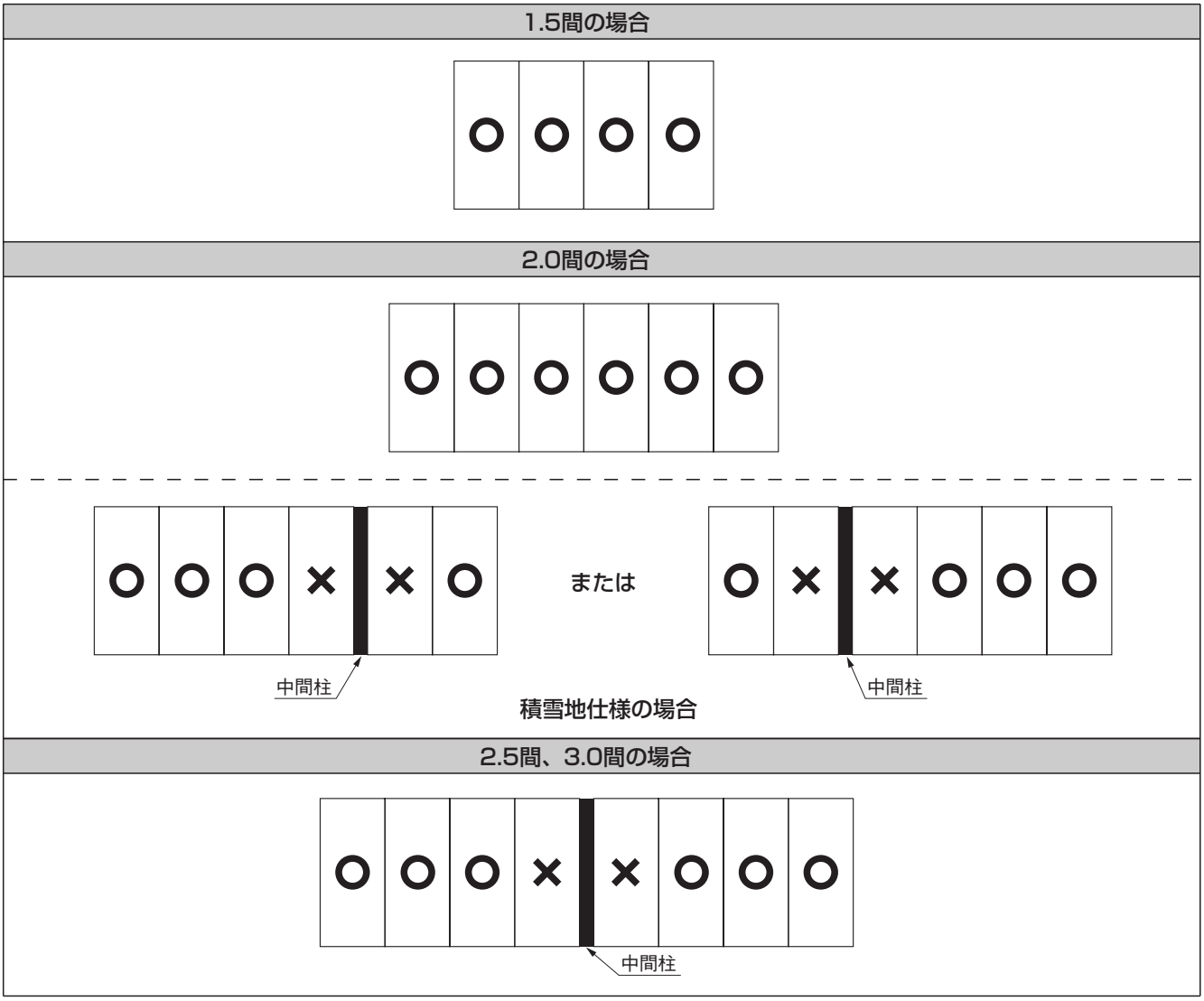
❷ 連結框下部のテープをはがし動作確認を行なってください。

<注 意>

- **パネル開閉時、ハンドル位置は必ず180度回した位置で開閉を行なってください。**
- **ハンドルが横を向いた状態で操作するとパネルを破損する原因になります。**

注 7 換気用パネルの取付け範囲

○：取付可　×：取付不可



<注　意>

- 間口面へ換気用パネルを取付ける場合は、取付け範囲に制限がありますので、上図を参照の上施工してください。
- 積雪地仕様に施工する場合、2.0間にも中間柱が取付きますので注意してパネルの吊り込みを行なってください。
- 取付位置を間違えると、パネルの破損の原因になりますので、中間柱に隣接する部分への換気用パネル取付けは行なわないでください。
- 側面部へ換気パネルを取付ける場合の制限はありません。

注 8 潤滑剤の使用について

- 潤滑剤を使用する場合は、必ずシリコン系を使用してください。
  シリコン系以外の潤滑剤を吹き付けるとビートが溶けるおそれがあります。
- 「桁垂木掛けセット」に同梱している潤滑剤は施主様のお手入れ用ですので、商品引渡し時に施主様にお渡しください。

2 暖蘭物語 セット部品梱包明細

1 主柱セット

名　　称	員 数
竪樋	2
主柱	2
樋受け	2
アンカー棒	2

2 中間柱セット

名　　称	員 数
中間柱	1
中間柱桁組付金具	1
アンカー棒	1

3 主柱固定ベースセット

名　　称	員 数
主柱固定ベース(右)	1
主柱固定ベース(左)	1
φ5×10 トラス3種	9
φ4.1×32 丸木ネジ	17
フィッシャープラグ S6	17

4 中間柱固定ベースセット

名　　称	員 数
中間柱固定ベース	1
φ5×10 トラス3種	5
φ4.1×32 丸木ネジ	9
フィッシャープラグ S6	9

5 桁垂木掛けセット

名　称	員　数			
	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁	1	1	1	1
垂木掛け	1	1	1	1
垂木掛け屋根材受け	4	5	6	8
垂木掛け後付けビート材	4	5	6	8
桁キャップB(右)	1	1	1	1
桁キャップB(左)	1	1	1	1
垂木掛けキャップ(右)	1	1	1	1
垂木掛けキャップ(左)	1	1	1	1
シーリング材	1	1	1	1
100°エルボ	2	2	2	2
丸樋	1	1	1	1
ストレートジョイント	2	2	2	2
接着剤	1	1	1	1
ストッパーフックASSY	6	6	6	6
パネルストッパー本体	6	6	6	6
本体取付用ターンナット M4用ターンナット	14	14	14	14
本体取付ネジ φ4×20トラス（D＝8）	14	14	14	14
ネジカバー	6	8	8	8
潤滑剤	1	1	1	1
取付説明書　総合編	1	1	1	1
取付説明書　デッキ編	1	1	1	1
取付説明書（コーキングのお願い）	1	1	1	1
取扱説明書	1	1	1	1

6 垂木セット

名　称	員　数			
	6尺2本入	6尺3本入	9尺2本入	9尺3本入
垂木	2	3	2	3
垂木カバー	2	3	2	3
中骨	4	6	6	9

7 積雪専用垂木セット

名　称	員　数			
	6尺2本入	6尺3本入	9尺2本入	9尺3本入
積雪専用垂木	2	3	2	3
垂木カバー	2	3	2	3
中骨	6	9	8	12

8 妻垂木セット

名　　称	員 数	
	6尺	9尺
妻垂木(右)	1	1
妻垂木(左)	1	1
妻垂木カバー(右)	1	1
妻垂木カバー(左)	1	1
中骨	2	3
妻梁妻垂木組付金具(右)	1	1
妻梁妻垂木組付金具(左)	1	1
M4×10 特サラ(D=6)	4	4

9 積雪専用妻垂木セット

名　　称	員 数	
	6尺	9尺
積雪専用妻垂木(右)	1	1
積雪専用妻垂木(左)	1	1
妻垂木カバー(右)	1	1
妻垂木カバー(左)	1	1
中骨	3	4
妻梁妻垂木組付金具(右)	1	1
妻梁妻垂木組付金具(左)	1	1
M4×10 特サラ(D=6)	4	4

10 妻梁幕板セット

名　　称	員 数
妻梁	2
上部方立(右)	1
上部方立(左)	1
幕板(右)	1
幕板(左)	1
妻垂木押え縁	2
上部方立用グレチャン	2
妻梁上部フィックスパッキン	2
φ5×12 特サラ(D=8)3種	18

11 妻梁上部フィックスパネルセット

名　　称	員 数
妻梁上部フィックスパネル	2

12 屋根材セット

名　　称	員　数	
	2枚入	3枚入
屋根材	2	3

E092_201002J

13 ネジセット

名　　称	員　数	
	ネジセット1	ネジセット2
φ4.1×32 丸木ネジ	34	38
φ4.5×63 丸木ネジ	18	22
φ4×12 トラス(D=8)3種	142	166
φ5×10 トラス3種	55	66
φ6×70 六角コーチスクリュー	8	10
φ4×12 六角フランジ付1種	24	30
φ4×16 ナベドリル	119	123
φ4×14 トラス(D=8)3種平座金(φ12)樹脂パッキン付	86	129

14 ベース材セット（縦）

名　　称	員　数	
	6　尺	9　尺
ベース材(縦)右	1	1
ベース材(縦)左	1	1
ベース材枠	2	2
ベース見切り材	2	2
束柱	2	4
ベース材(縦)取付金具	2	2
ベース材(縦)取付アングル	2	2
φ4.1×32 丸木ネジ	5	5
φ4×12 トラス(D=8)3種	18	18
φ4×16 ナベドリル	40	47
φ4×19 サラドリル	25	27
フィッシャープラグ S6	5	5

15 ベース材セット（横）

名　　称	員　　数			
	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ベース材(横)	1	1	1	1
ベース材枠	1	1	1	1
ベース見切り材	1	1	1	1
束柱	1	1	2	2

16 床部見切り材セット

名　　称	員　　数			
	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
床部見切り材(縦)	2	2	2	2
床部見切り材(横)	1	1	2	2
φ4×25 サラ(D=8)1種	31	31	31	31

17 縦枠セット

名　　称	員 数
縦枠受け(躯体側)右	1
縦枠受け(躯体側)左	1
縦枠受け(コーナー側)	2
縦枠 A	3
縦枠 B	3
縦枠固定金具(上部)A	2
縦枠固定金具(上部)B	2
縦枠固定金具(下部)	6

18 桁レールセット

名　　称	員　　数			
	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
上レール	1	1	1	1
上レールカバー	1	1	2	2
下レール	1	1	1	1
下レールカバー	1	1	1	1
下部ストッパー	ー	1	1	1
φ4×12 トラス(D=8)1種	2	4	4	4
φ4×40 トラス(D=8)1種	2	4	4	4
φ4×25 ナベドリル	ー	2	2	2
φ4.1×32 丸木ネジ	ー	2	2	2

19 妻梁レールセット

名　　称	員 数
上レール右	1
上レール左	1
上レールカバー	2
下レール右	1
下レール左	1
下レールカバー右	1
下レールカバー左	1
φ4×12 トラス(D=8)1種	4
φ4×40 トラス(D=8)1種	4

20 ハンドルセット

名　　称	員　数	
	鍵付き	鍵無し
内側ハンドル(鍵付き)	1	ー
外側ハンドル(鍵付き)	1	ー
内側ハンドル(鍵無し)	ー	1
外部化粧座	ー	1
ハンドル角芯(鍵付き用)	1	ー
ハンドル角芯(鍵無し用)	ー	1
鍵	3	ー
φ4×35 サラ3種	2	2

21 パネルセット

名　　称	員　数	
	右	左
パネル右	1	ー
パネル左	ー	1
下ローラー右	1	ー
下ローラー左	ー	1
パネル取扱い注意書	1	1
φ5×10 トラス3種	3	3

22 調整フィックスパネルセット

名　　称	員 数
調整フィックスパネル	2
調整枠隙間塞ぎ材	2

■梱包明細書　つづき

23 側面フィックス上枠セット

名　　称	員 数	
	6尺	9尺
側面用フィックス上レール	1	1
側面用フィックス上レールカバー	1	1
バインドドリルネジ　φ4×14	12	18

24 側面用フィックスパネルセット

名　　称	員 数
側面用フィックスパネル	1

25 側面用調整フィックスパネルセット

名　　称	員 数
側面用調整フィックスパネル	1
側面用縦枠1	1
側面用縦枠2	1
側面用縦枠3	1
トラスタッピンネジ　φ4×12	10
バインドドリルネジ　φ4×14	3

エクシオール　暖蘭物語　INDEX

1　施工前の重要確認項目 …… 3

2　セット部品梱包明細表 …… 8

3　基本寸法図 …… 13
- 3 - 1　1.5間　6尺 …… 13
- 3 - 2　2.0間　6尺 …… 14
- 3 - 3　2.5間　6尺 …… 15
- 3 - 4　3.0間　6尺 …… 16
- 3 - 5　1.5間　9尺 …… 17
- 3 - 6　2.0間　9尺 …… 18
- 3 - 7　2.5間　9尺 …… 19
- 3 - 8　3.0間　9尺 …… 20

4　本体の施工方法（ウッドデッキ仕様） …… 21
- 4 - 1　垂木掛け・上部方立の取付け …… 22
- 4 - 2　柱の建込み …… 23
- 4 - 3　妻梁・桁の取付け …… 24
- 4 - 4　垂木・妻垂木・中骨の取付け …… 25
- 4 - 5　積雪地仕様・中間柱、垂木、妻垂木の取付け …… 26
- 4 - 6　竪樋・樋受けの取付け …… 28
- 4 - 7　妻梁上部フィックスパネルの取付け …… 29
- 4 - 8　屋根材の取付け …… 30
- 4 - 9　幕板の取付け …… 31

5　本体の施工方法（土間仕様） …… 32
- 5 - 1　柱位置出し …… 33
- 5 - 2　ベース材の取付け …… 34

6　上下レールの施工方法 …… 35
- 6 - 1　縦枠受けの取付け …… 36
- 6 - 2　下レールの取付け …… 38
- 6 - 3　縦枠の取付け …… 39
- 6 - 4　上レールの取付け …… 40
- 6 - 5　縦枠・上下レールの固定 …… 41
- 6 - 6　エクシオール内面仕上げ …… 42

７　パネルの施工方法 …… 43
７-１　パネルの納まり …… 44
７-２　パネルの吊り込み …… 45
７-３　上レールカバーの取付け …… 45
７-４　ハンドルの取付け …… 46
７-５　下ローラーの取付け …… 47
７-６　パネルの連結 …… 48
７-７　ＦＩＸパネルの取付け …… 49
７-８　ロープ式パネルストッパーの取付け …… 50
７-９　ターンナットの使用方法 …… 51

８　側面用フィックスパネルの取付け …… 52
８-１　側面用フィックスパネルの納まり …… 53
８-２　側面用フィックス縦枠の取付け …… 53
８-３　側面用フィックスパネルの取付け …… 54
８-４　縦枠2および側面用フィックス上レールカバーの取付け …… 54

９　形材一覧表 …… 55

10　取付け寸法図 …… 57

11　出幅断面納まり図 …… 58

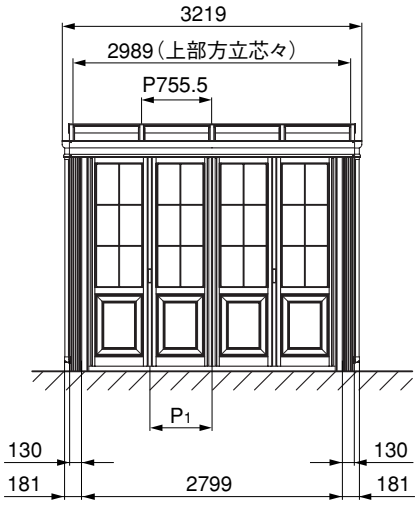
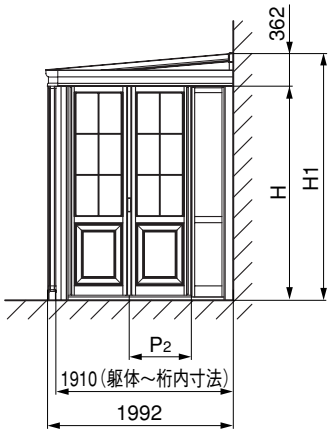
12　間口断面納まり図 …… 60

13　チェックリスト …… 62

3 暖蘭物語 基本寸法図

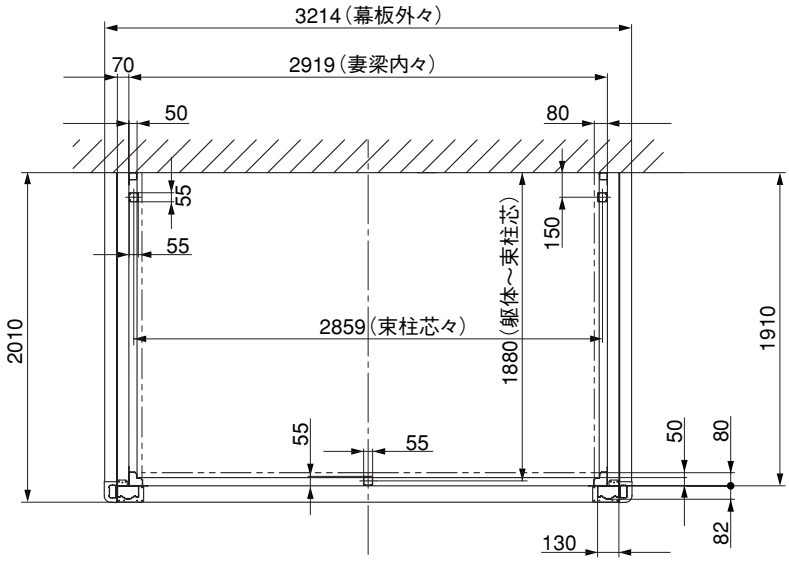
3-1 1.5間　6尺

1 基本図

	正面図	右側面図
立 面 図 H:2500 (H1=2860) H:2300 (H1=2660) H:2100 (H1=2460)		

	パネル寸法	呼 称
P_1	668.5	A
P_2	668.5	A

2 土間仕様基礎伏図

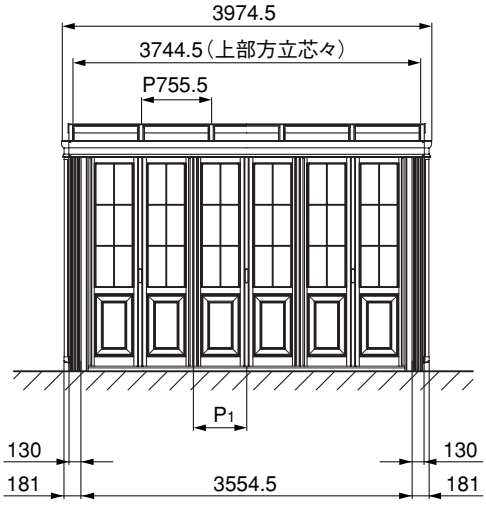
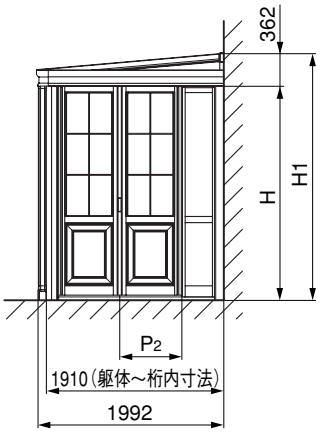


<注　意>

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

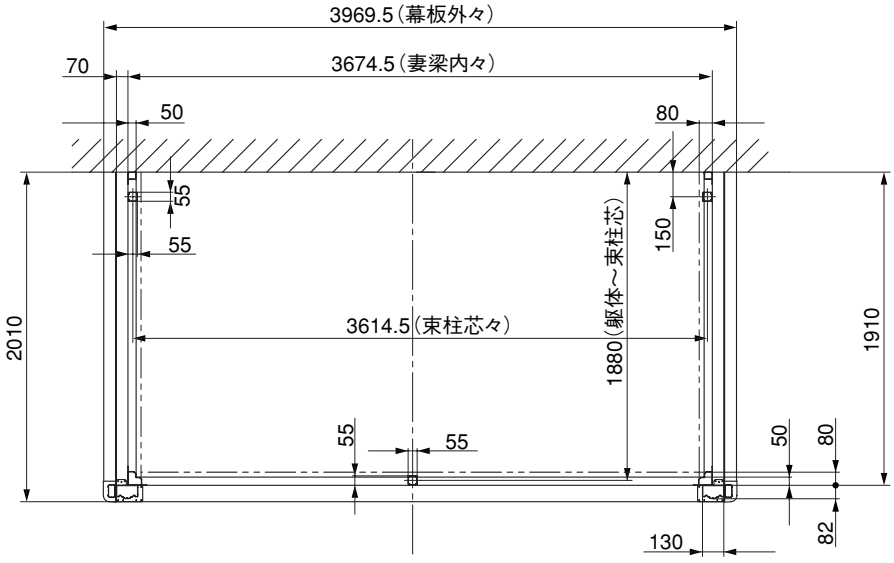
3-2 2.0間　6尺

1 基本図

	正面図	右側面図
立 面 図 H:2500 (H1=2860) H:2300 (H1=2660) H:2100 (H1=2460)		

	パネル寸法	呼 称
P_1	571.5	B
P_2	668.5	A

2 土間仕様基礎伏図

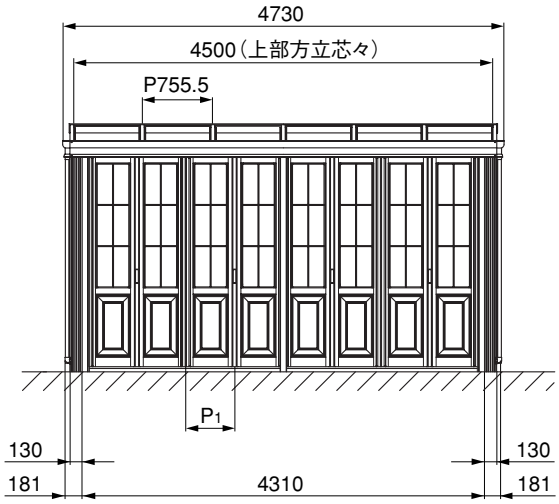
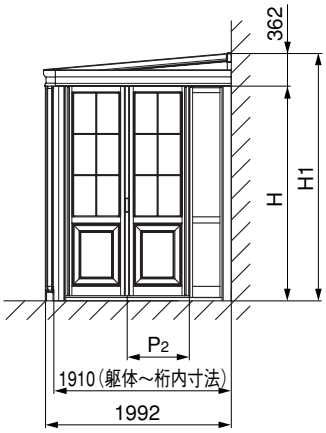


<注　意>

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

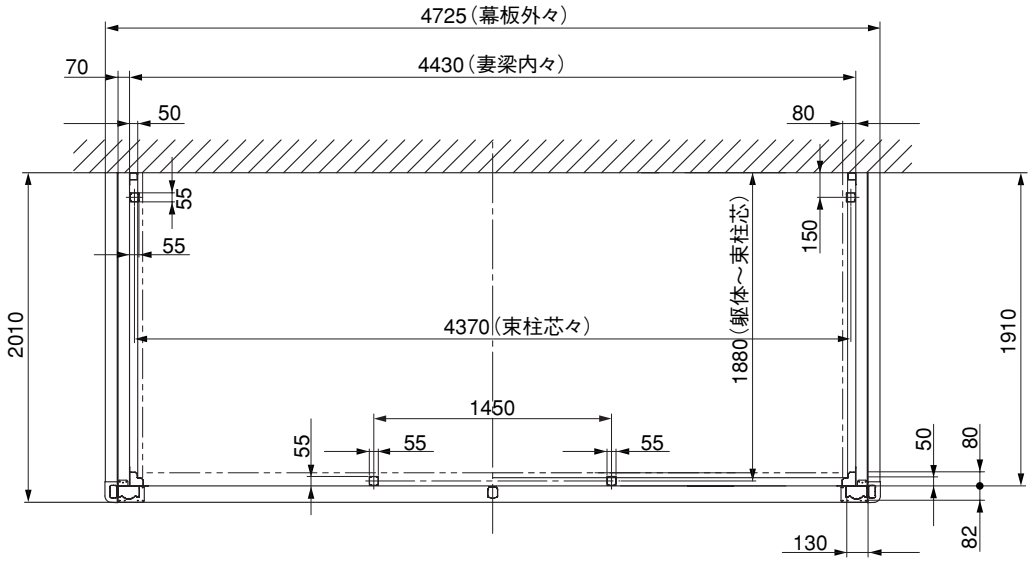
3-3 2.5間　6尺

1 基本図

	正面図	右側面図
立 面 図 H:2500 (H1=2860) H:2300 (H1=2660) H:2100 (H1=2460)		

	パネル寸法	呼 称
P_1	523	C
P_2	668.5	A

2 土間仕様基礎伏図

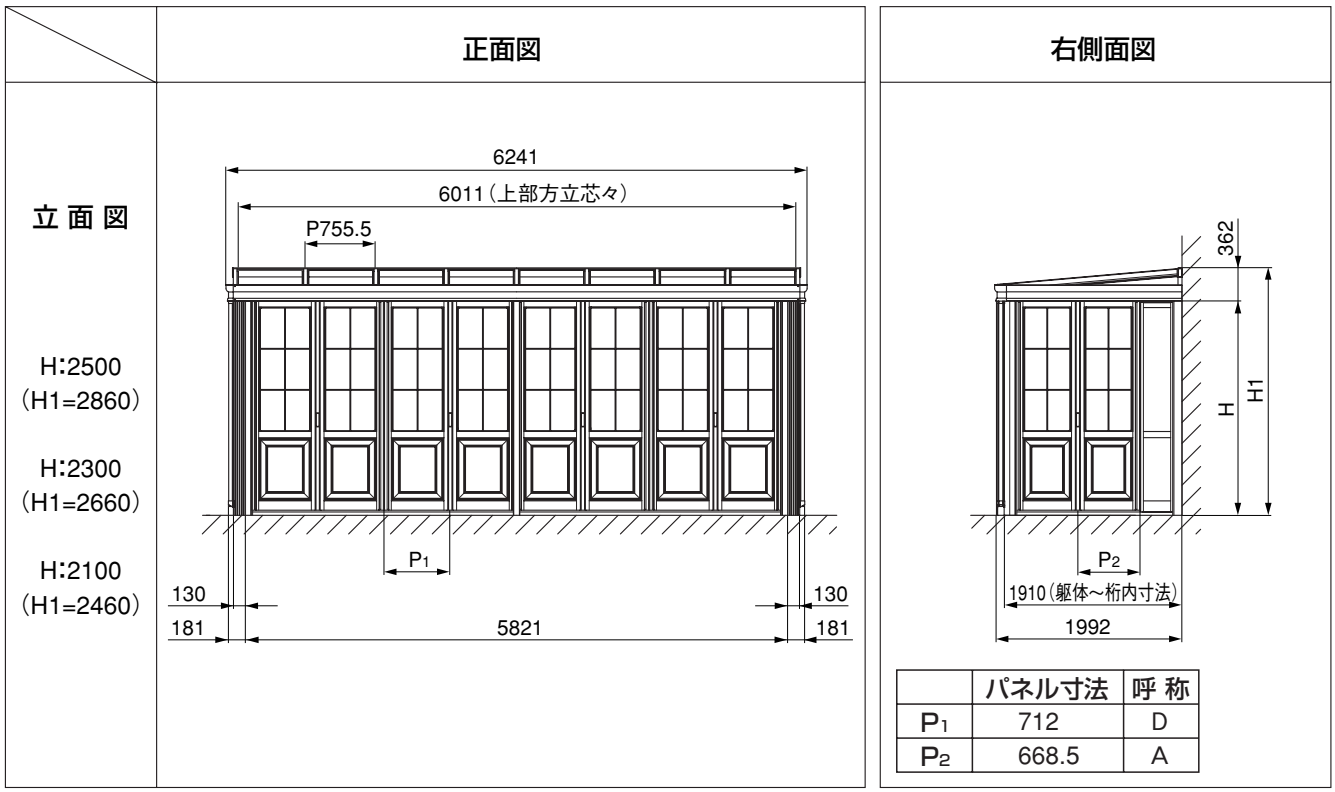


<注　意>

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

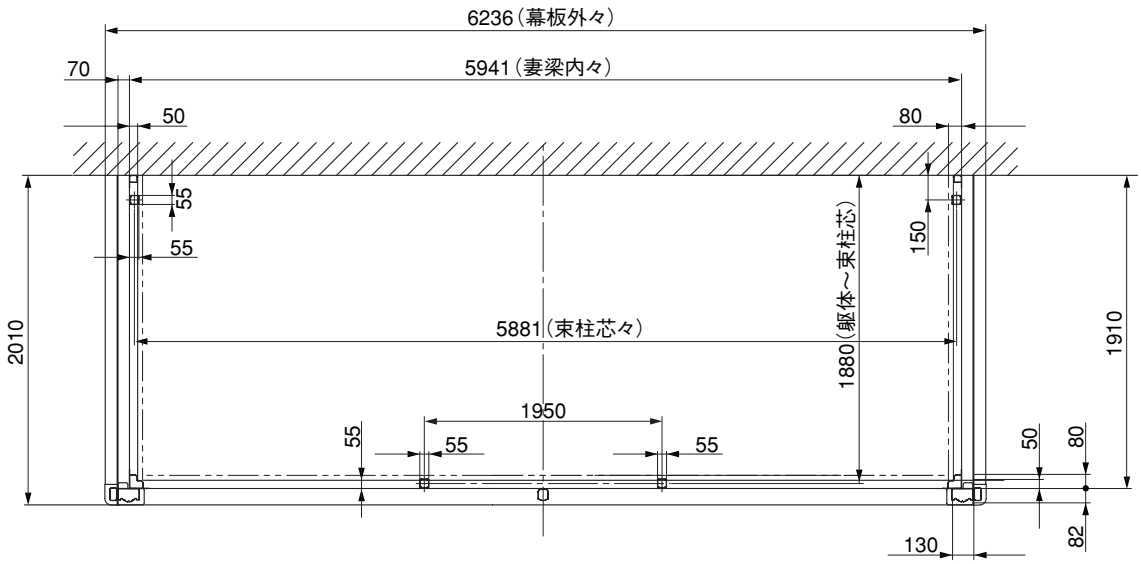
3-4 3.0間　6尺

1 基本図



	パネル寸法	呼 称
P_1	712	D
P_2	668.5	A

2 土間仕様基礎伏図



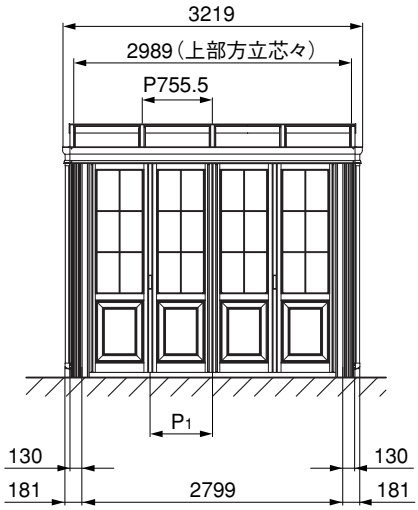
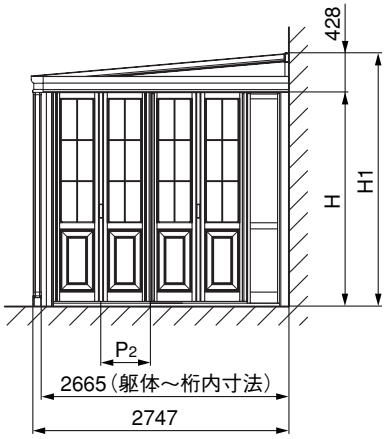
＜注　意＞

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　－デッキ編」を参照してください。

3 暖蘭物語 基本寸法図

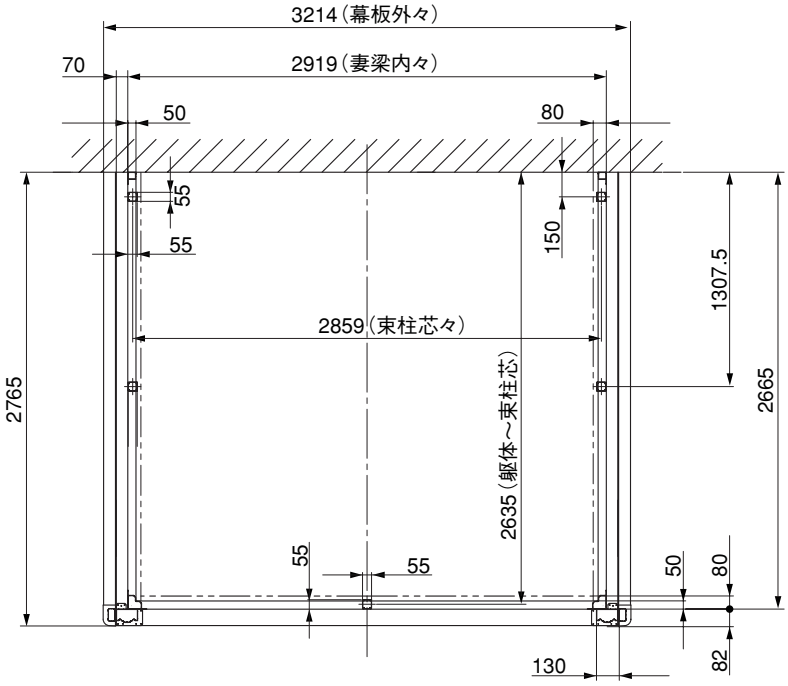
3-5 1.5間　9尺

1 基本図

	正面図	右側面図
立 面 図 H:2500 (H1=2926) H:2300 (H1=2726) H:2100 (H1=2526)		

	パネル寸法	呼 称
P_1	668.5	A
P_2	523	C

2 土間仕様基礎伏図

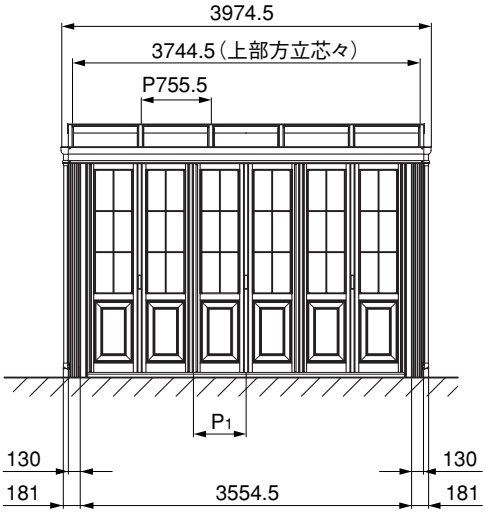
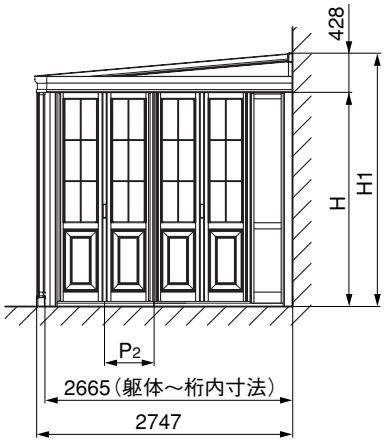


<注　意>

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

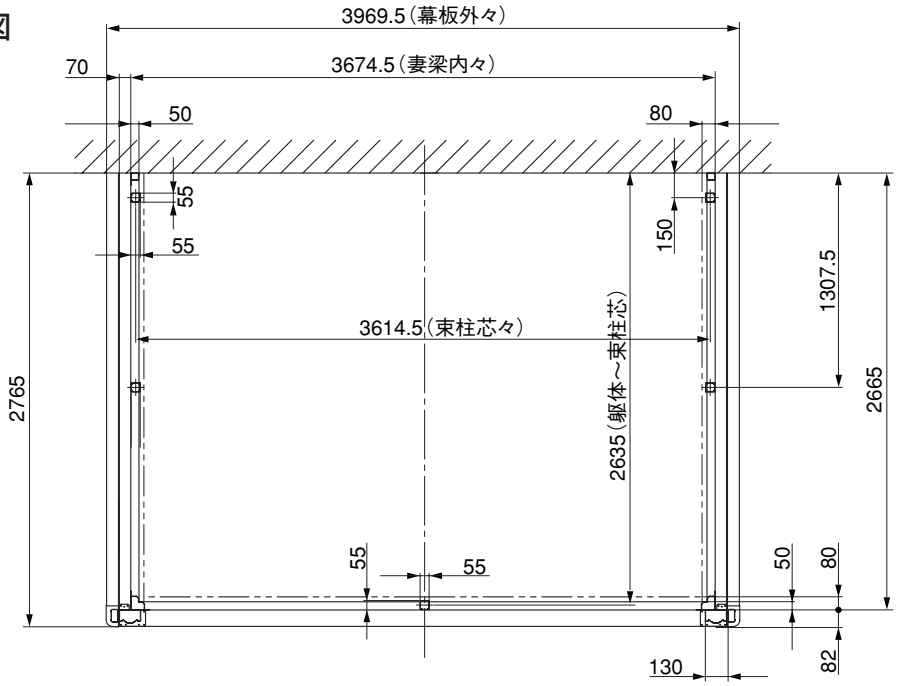
3-6 2.0間　9尺

1 基本図

	正面図	右側面図
立 面 図 H:2500 (H1=2926) H:2300 (H1=2726) H:2100 (H1=2526)		

	パネル寸法	呼 称
P_1	571.5	B
P_2	523	C

2 土間仕様基礎伏図

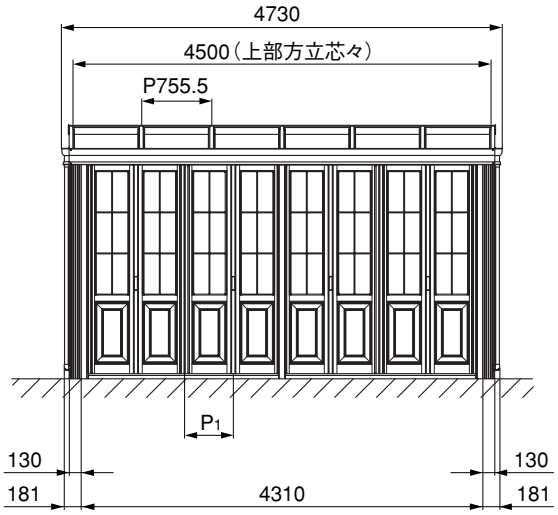
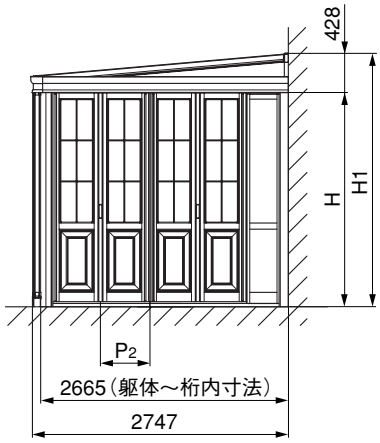


<注　意>

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

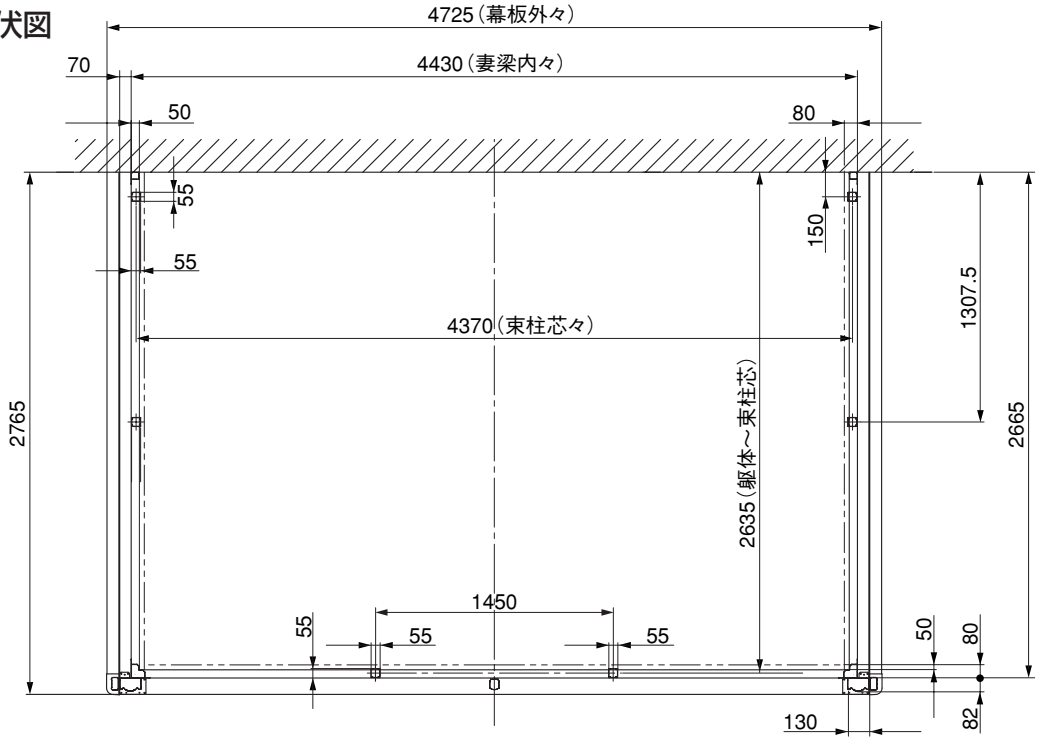
3-7 2.5間　9尺

1 基本図

	正面図	右側面図
立 面 図 H:2500 (H1=2926) H:2300 (H1=2726) H:2100 (H1=2526)		

	パネル寸法	呼 称
P_1	523	C
P_2	523	C

2 土間仕様基礎伏図

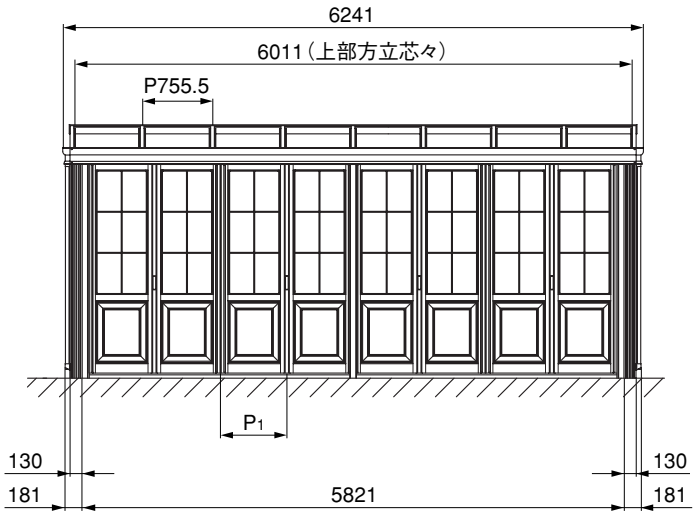
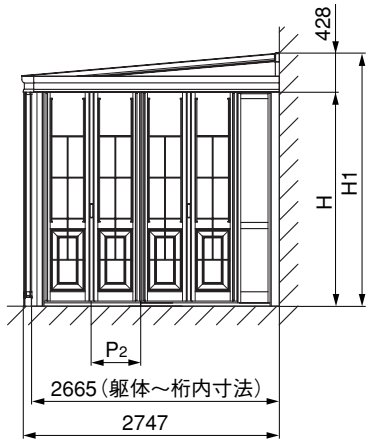


＜注　意＞

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

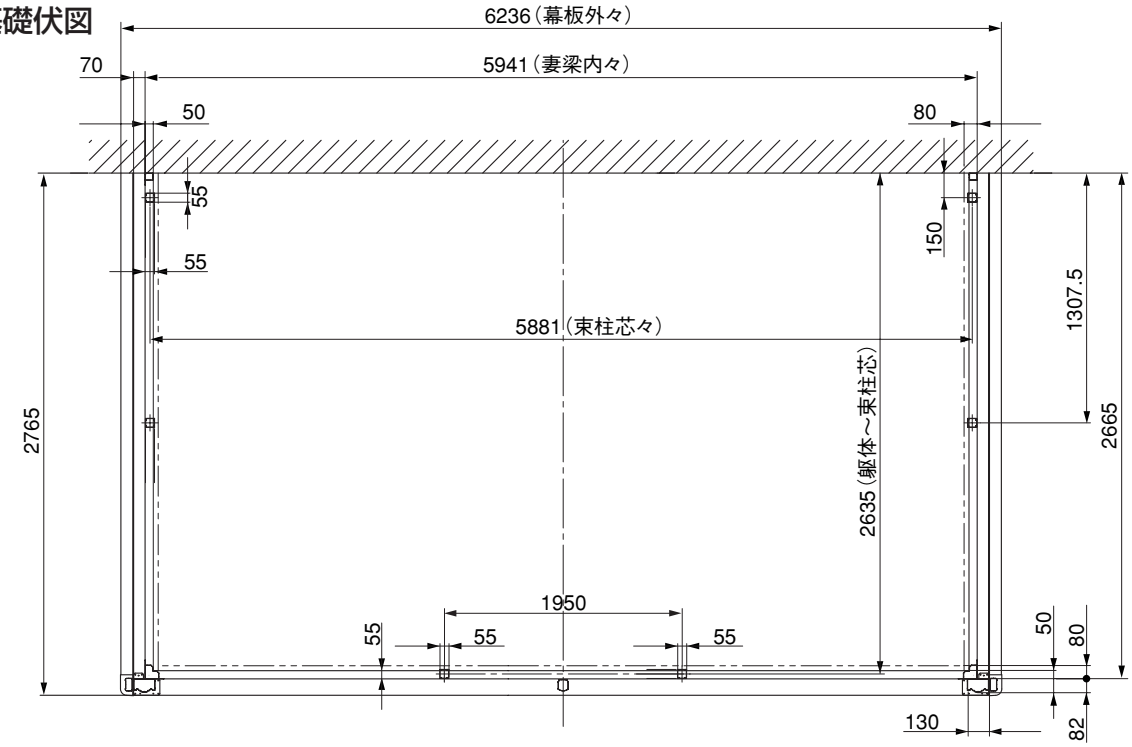
3-8 3.0間　9尺

1 基本図

	正面図	右側面図
立 面 図 H:2500 (H1=2926) H:2300 (H1=2726) H:2100 (H1=2526)		

	パネル寸法	呼 称
P_1	712	D
P_2	523	C

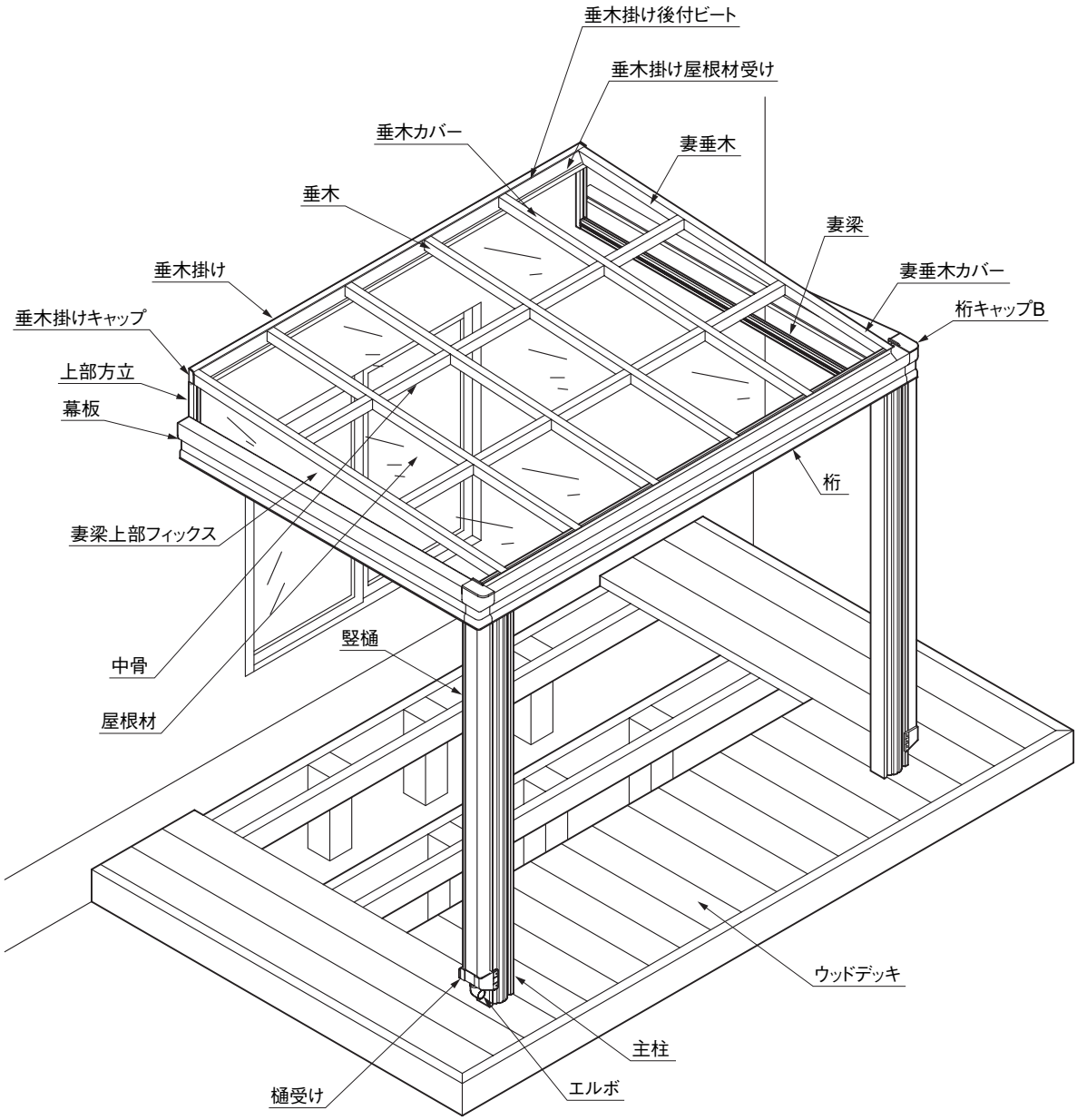
2 土間仕様基礎伏図



＜注　意＞

- ウッドデッキ仕様の基礎伏図は各種デッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール　暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

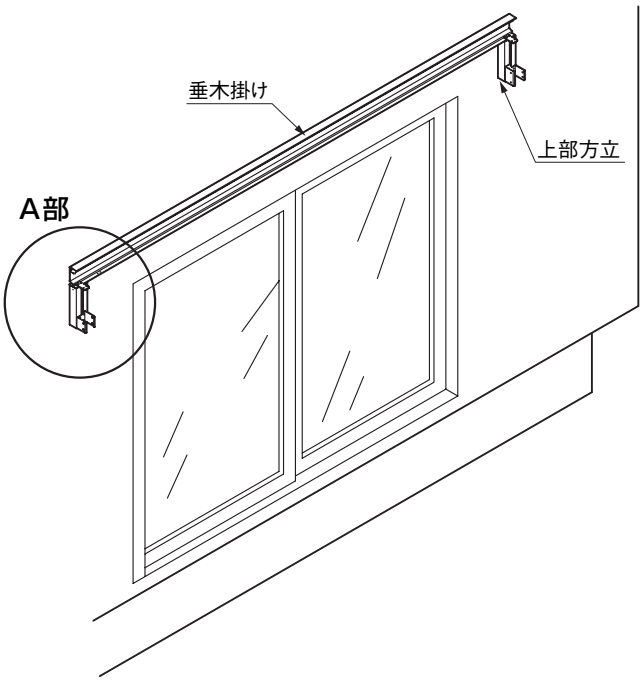
4 暖蘭物語 本体の施工方法（ウッドデッキ仕様）



<注 意>

- ウッドデッキ仕様の床施工は、各種ウッドデッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 暖蘭物語 ーデッキ編」を参照してください。

4-1 垂木掛け・上部方立ての取付け

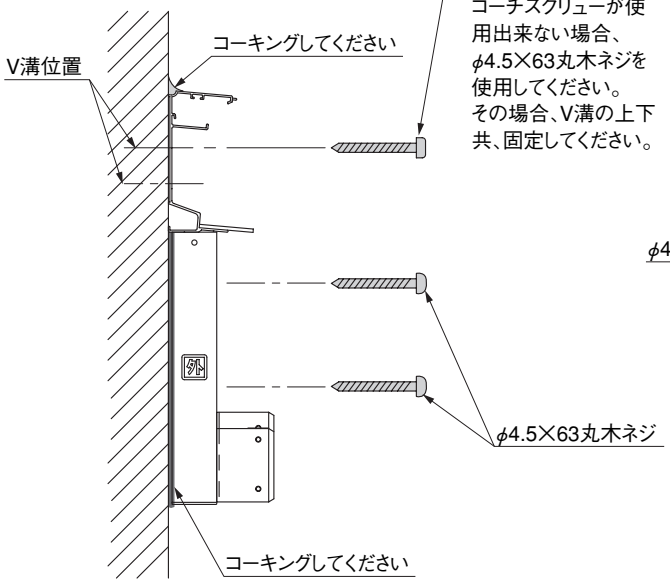


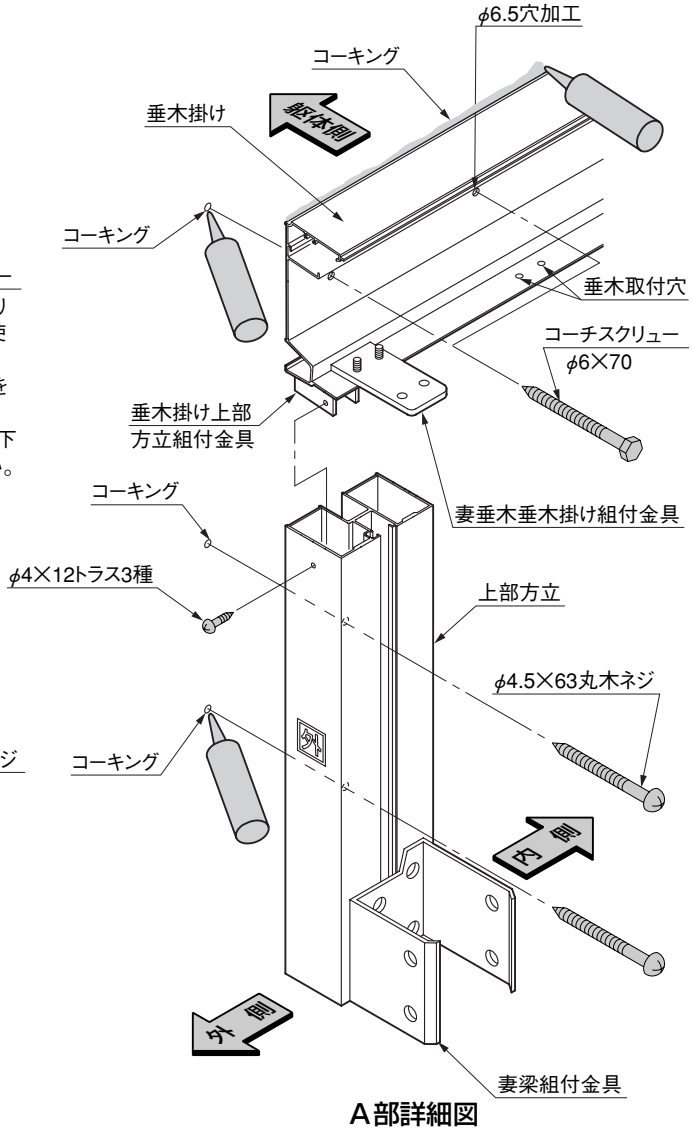
❶ P 57「取付寸法図」を参照して垂木掛けを各サイズごとに位置出しをし、躯体の構造部材のある箇所に垂木掛け中央のV溝部にφ6.5穴をあけコーチスクリューにて固定してください。

❷ 垂木掛け上部方立組付金具に上部方立を組付けた後、躯体に取付けてください。

＜注 意＞

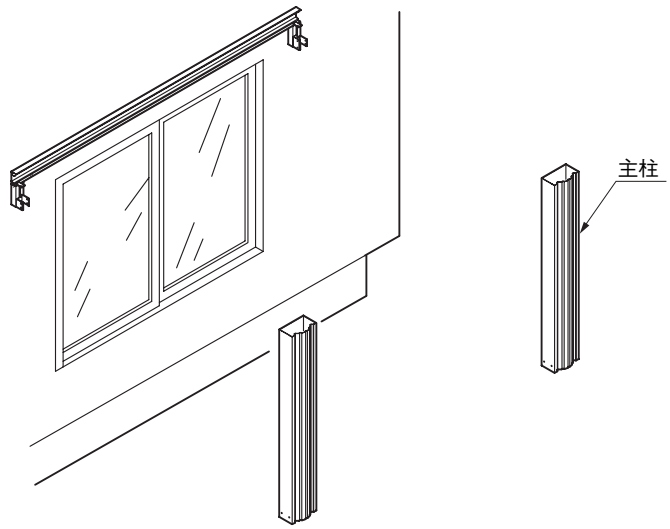
- 垂木掛けは必ず躯体の柱、間柱などの構造材に取付けてください。
- 上部方立の「内」「外」に注意してください。
- 垂木掛・上部方立の「水平」「垂直」に注意してください。
- 躯体と垂木掛のスキ間にコーキングをしてください。
- 躯体の下穴は、雨もりの原因となるおそれがありますので、コーキングで充てんしてください。





A部詳細図

4-2 柱の建込み

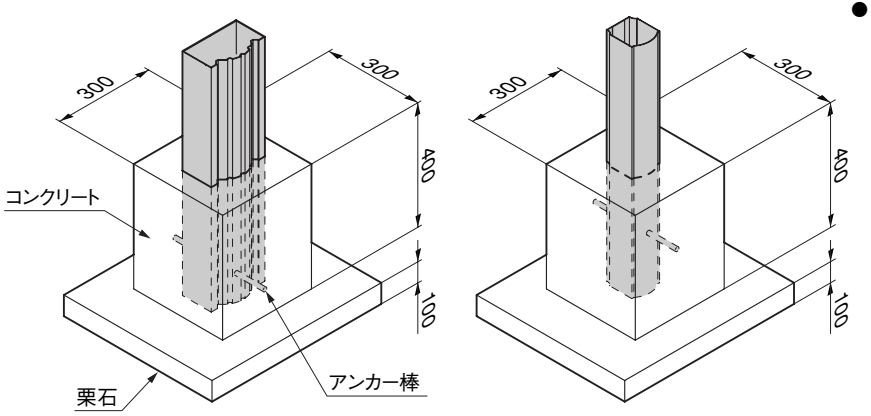


❶ 柱位置を出し、約300mm四方深さ500mmの穴を掘り、柱を建て込んでください。

＜注 意＞

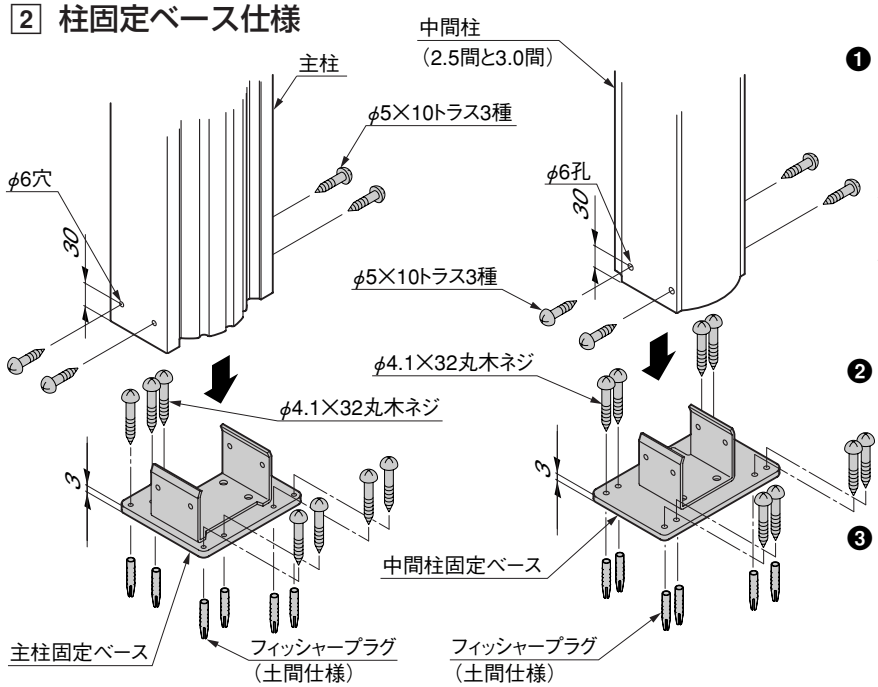
- 柱および中間柱の基礎部は転圧後必ず栗石を敷き、柱内の水抜きができるようにしてください。
- モルタルには急結材は絶対に使用しないでください。アルミが腐食する原因となります。また、海砂もアルミが腐食する原因となりますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
- 地盤のやわらかい場所への施工は、柱および中間柱の埋込み深さ、基礎の大きさを十分考慮してください。地盤の影響により沈み込みや倒れが発生するおそれがあります。
- 寒冷地では凍結深度を考慮し、柱および中間柱の埋込み深さおよび基礎の大きさを十分考慮して施工してください。この作業が十分でないと凍上により柱および中間柱が浮き上がるおそれがあります。

1 柱埋込み仕様



主柱の埋込み　　中間柱の埋込み

2 柱固定ベース仕様



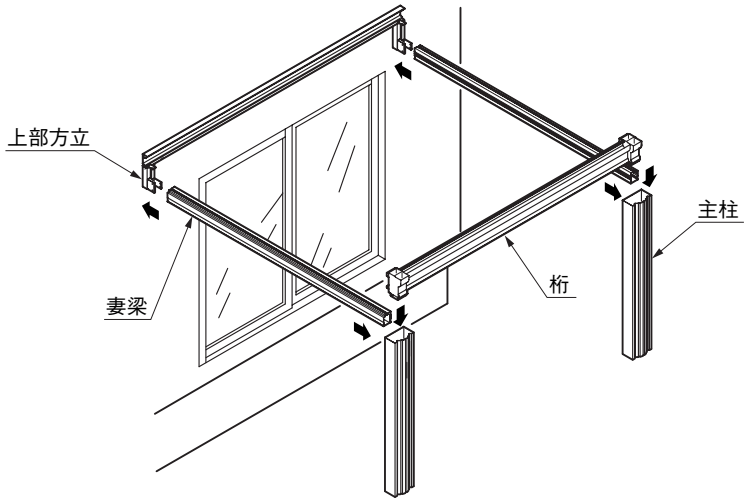
❶ P 57～61を参照して、柱と中間柱（2.5間と3間の場合のみ）を下式に従い、切断してください。

柱寸法＝桁下～柱固定面までの高さ－3mm
例）桁下～柱固定面までの高さ2300の場合
2300－3＝2297mm

❷ 左図のように、切断した柱にφ6の穴加工をV溝の位置にしてください。

❸ 土間に直接固定する場合、床にφ6の下穴をあけ、フィッシャープラグと丸木ネジ（φ4.1×32）で固定してください。

4-3 妻梁・桁の取付け



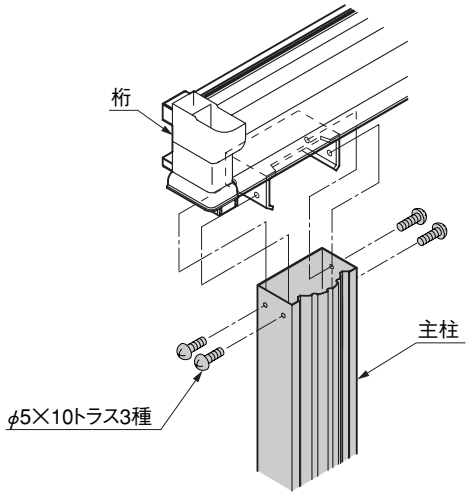
❶ 柱と桁を組付け後、妻梁を上部方立および桁へ同時に取付けてください。

❷ 中間柱（間口2.5間以上）を取付ける場合は、中間柱桁取付金具を取付けてから、中間柱を建込んでください。

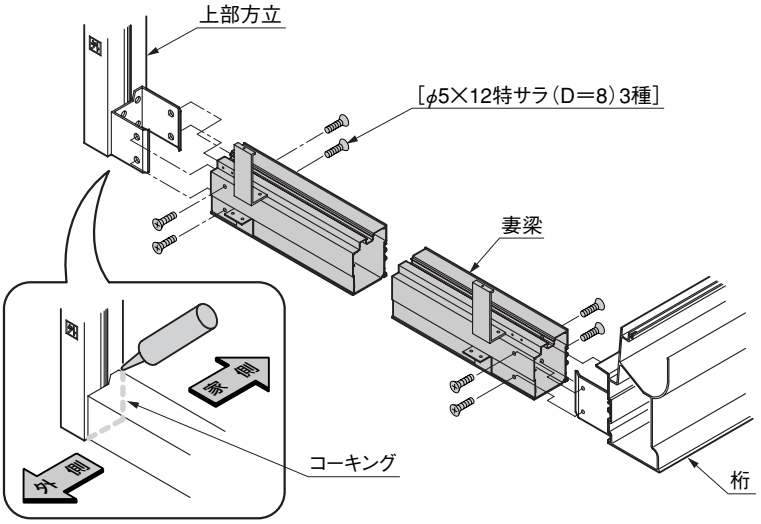
<注 意>

- 妻梁と上部方立のジョイント部にはコーキングを施してください。
- 妻梁の「内」「外」に注意してください。
  妻梁、桁、柱の「水平」「垂直」に注意してください。「水平」「垂直」が出ていないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

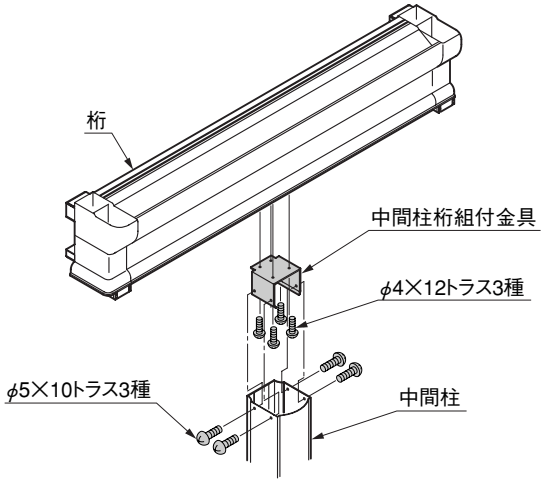
1 柱・桁の組付け



2 妻梁の組付け

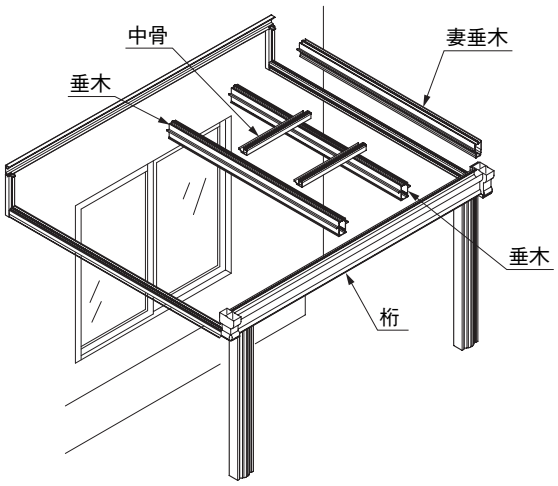


3 中間柱と桁の組付け（間口2.5間以上の場合）



図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

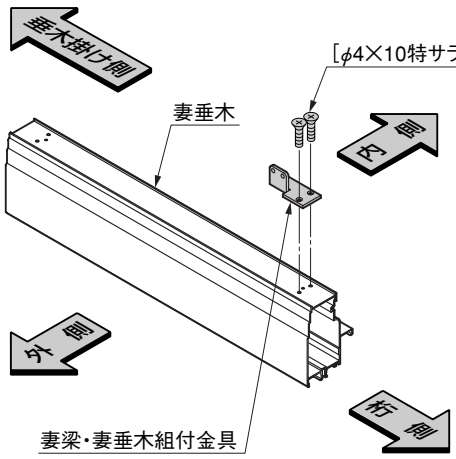
4-4 垂木・妻垂木・中骨の取付け



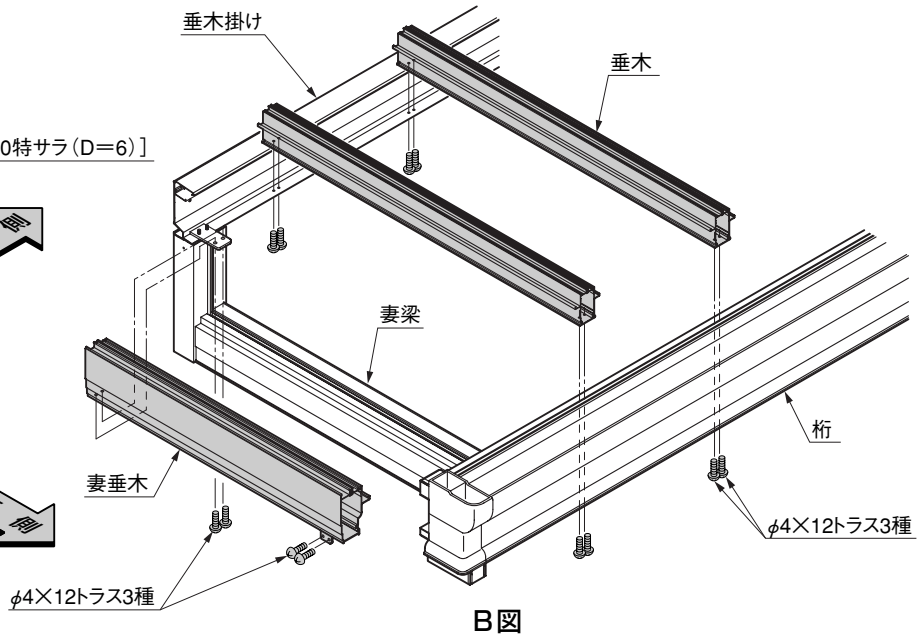
❶ A図のように妻梁・妻垂木組付金具を妻垂木に取付けてください。

❷ B図のように垂木・妻垂木を桁および垂木掛けに取付けてください。

1 垂木・妻垂木の取付け



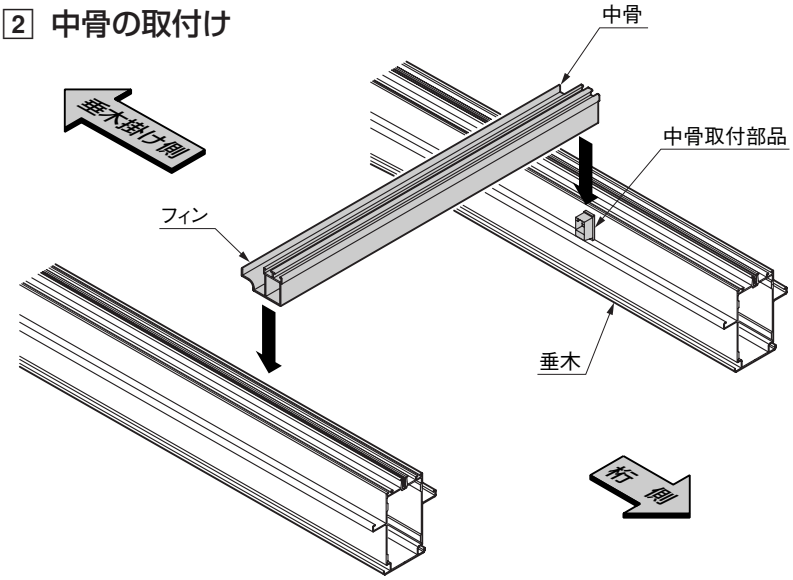
A図



B図

図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

2 中骨の取付け

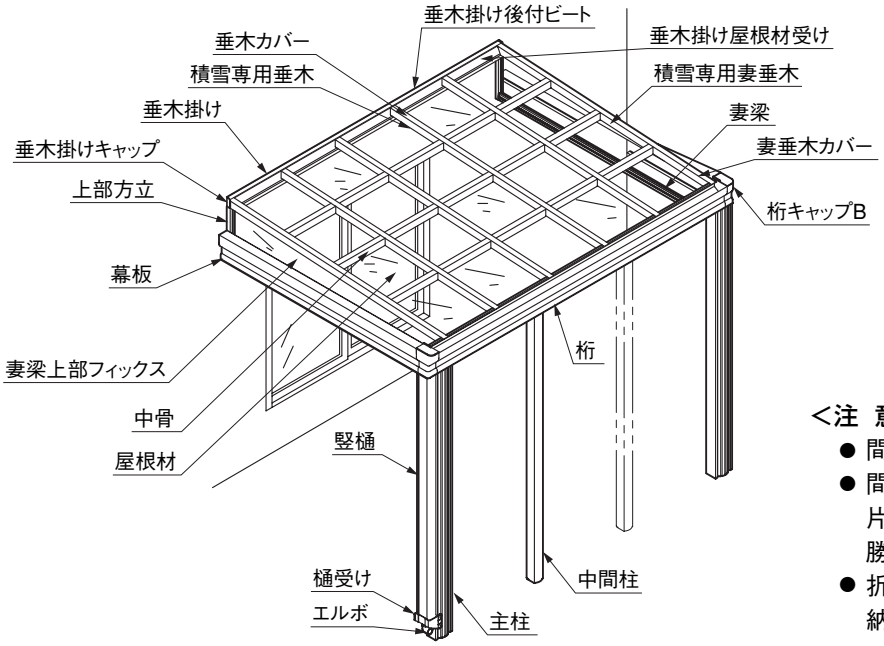


❶ 左図のように垂木の中骨取付部品に中骨を上から押し込んでください。

<注　意>

● このとき、中骨のフィンのつく側が垂木掛け側となりますので注意してください。

4-5 積雪地仕様・中間柱、垂木、妻垂木の取付け

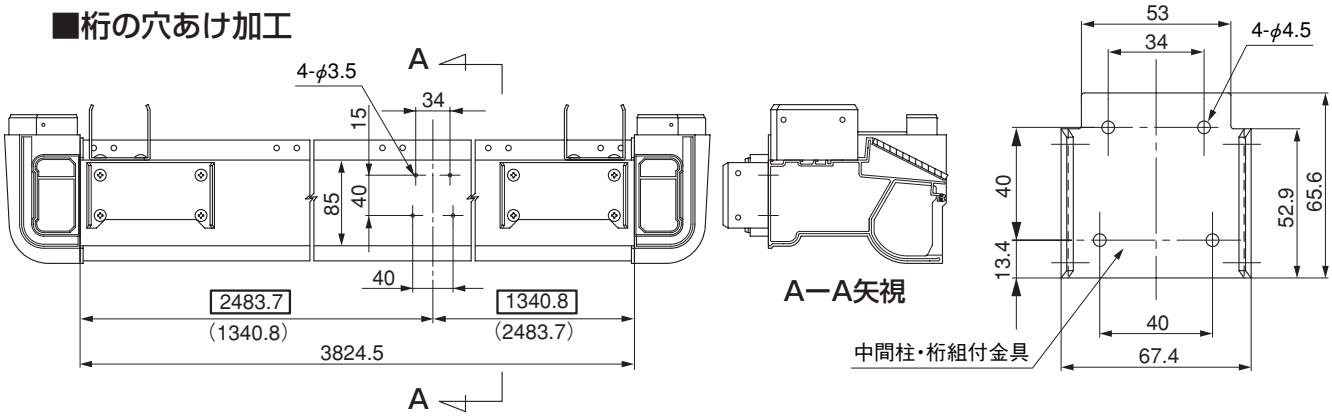


<注 意>

- 間口2間以上で中間柱を取付けてください。
- 間口2間の中間柱の位置は左右どちらかに片寄った位置になります。施主様の使い勝手を確認して取付けてください。
- 折戸パネルは中間柱を境に左右に分割収納になります。

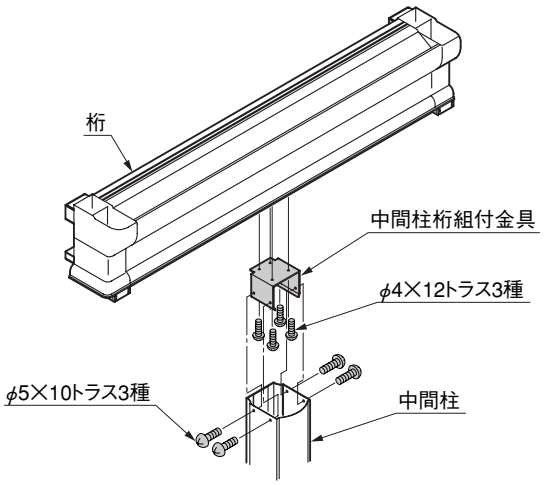
1 中間柱の取付け

■桁の穴あけ加工



❶ 間口2間の桁の底面に上図の寸法を参照し、V溝部に中間柱、桁組付金具取付用の穴（φ3.5、4ヶ所）をあけて、中間柱桁組付金具を取付けてください。

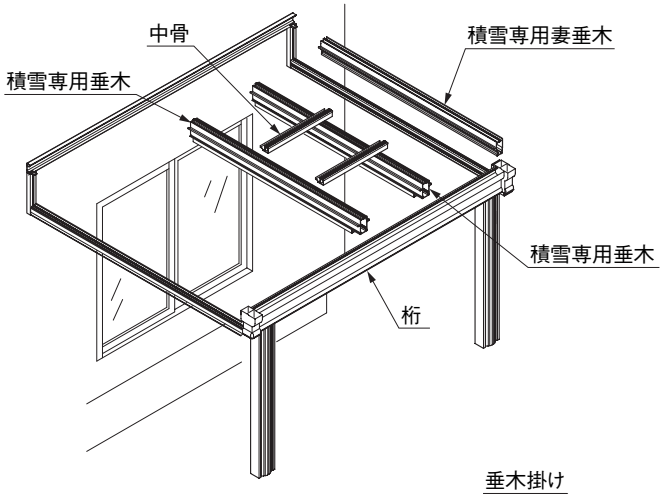
■中間柱と桁の組付け



<注 意>

- 1.5間サイズには中間柱は使用しません。2.5間、3間サイズは工場出荷時に穴加工済みです。
- 「1340.8」、「2483.7」寸法は正確に出してください。折戸パネルの開閉に支障をきたし、パネルの破損につながります。

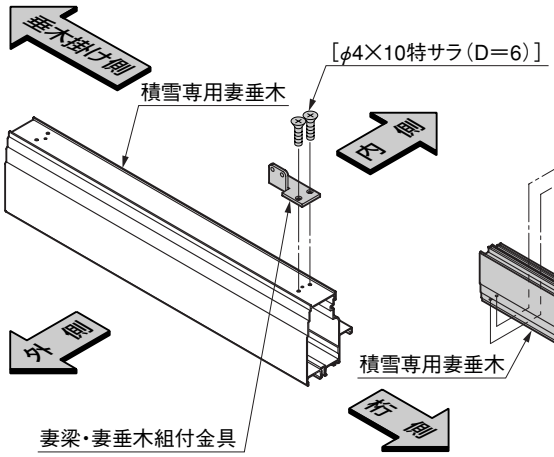
2 積雪専用垂木・妻垂木・中骨の取付け



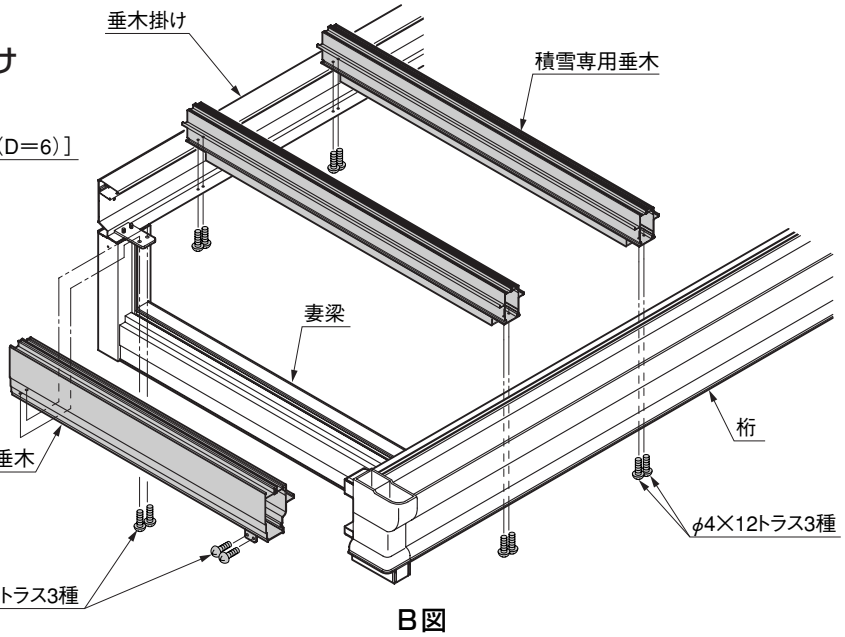
❶ A図のように妻梁・妻垂木組付金具を積雪専用妻垂木に取付けてください。

❷ B図のように積雪専用垂木・積雪専用妻垂木を桁および垂木掛けに取付けてください。

■積雪専用垂木・妻垂木の取付け



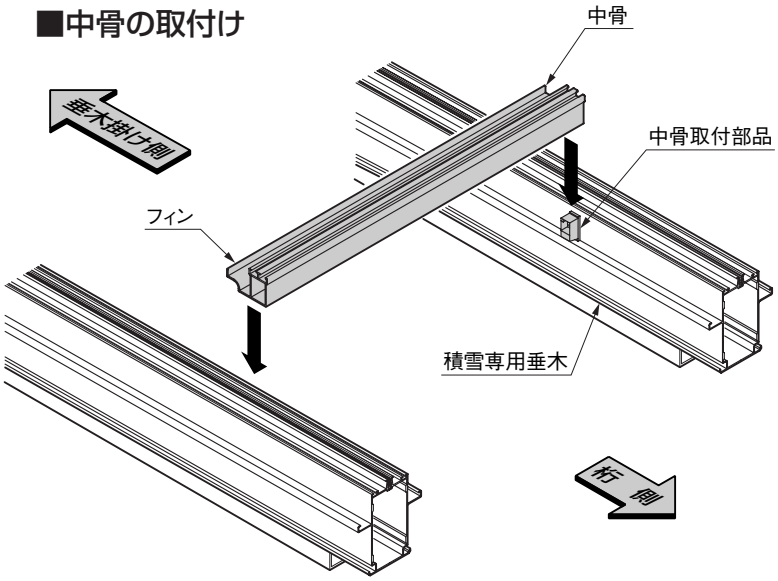
A図



B図

図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

■中骨の取付け

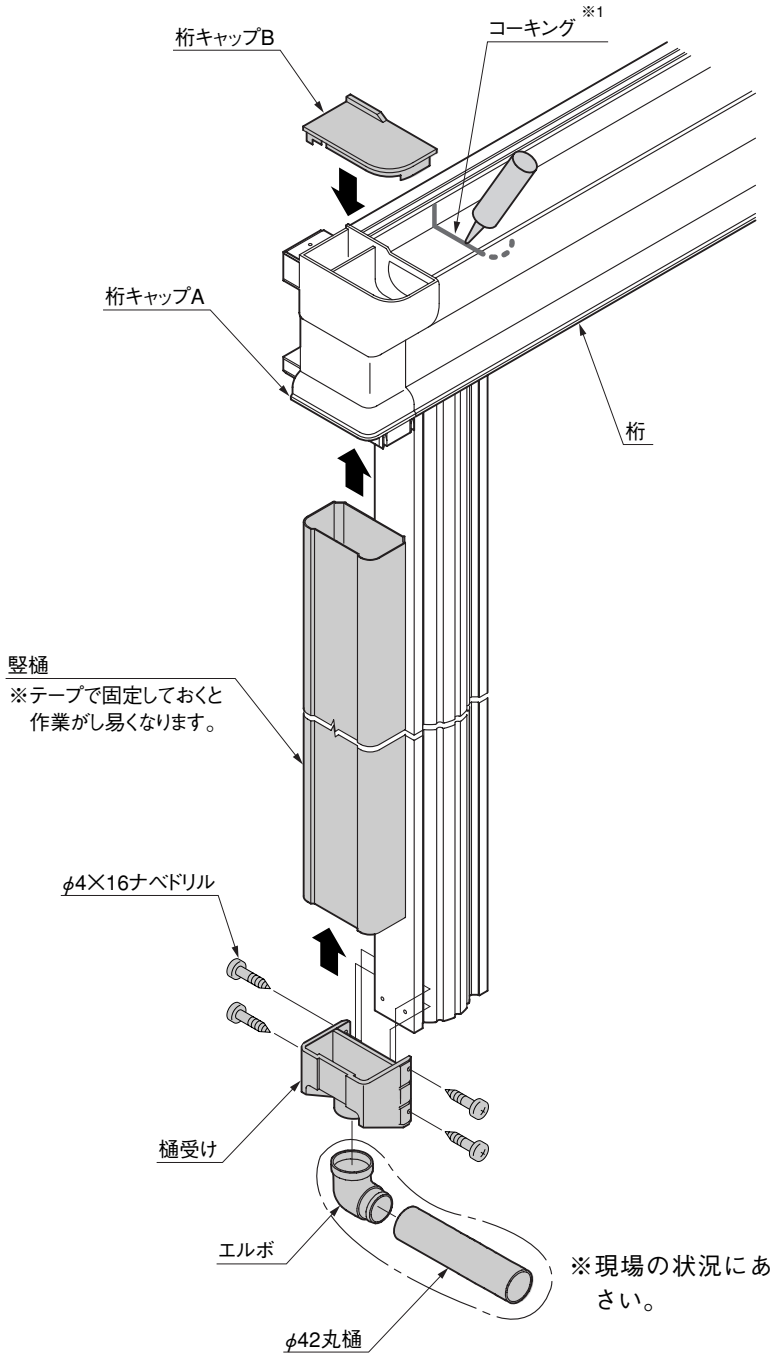


❶ 左図のように垂木の中骨取付部品に中骨を上から押し込んでください。

<注 意>

- このとき、中骨のフィンのつく側が垂木掛け側となりますので注意してください。
- 中骨の本数は標準仕様より1本多くなります。

4-6 竪樋・樋受けの取付け



❶ 竪樋を下表に従い、切断してください。

パネル高 H	竪樋切断寸法
H＝2100	1985
H＝2300	2185
H＝2500	切断なし（2385）

❷ 竪樋を桁キャップＡに挿入し、樋受けではさみ込むようにして、固定してください。この時、竪樋をテープで固定しておくと作業がしやすくなります。

❸ 桁キャップＢを桁キャップＡにはめ込んでください。

桁キャップと桁雨樋部との接合部にコーキングを施してください。（※1）

※現場の状況にあわせて取付けてください。

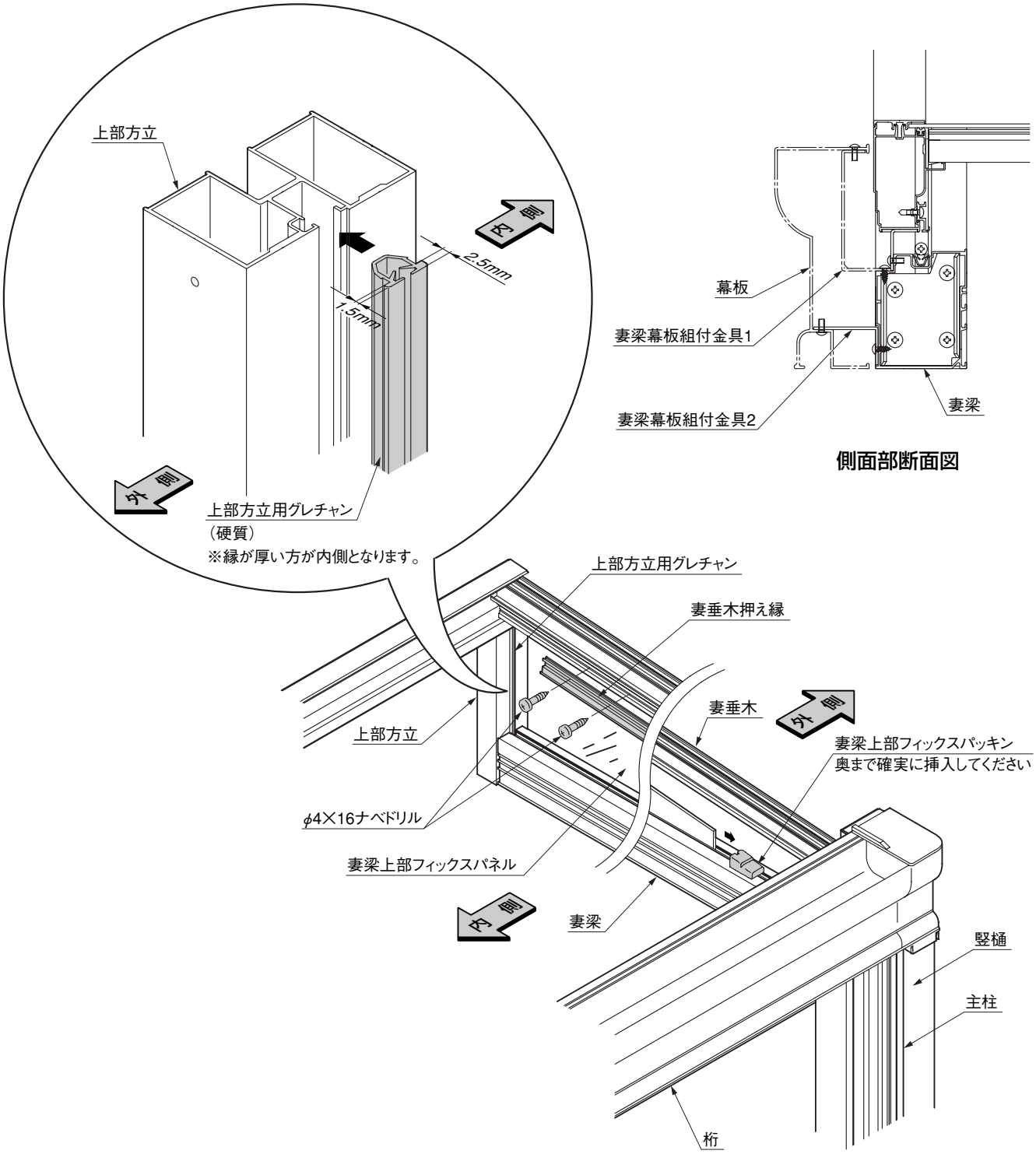
4-7 妻梁上部フィックスパネルの取付け

❶ 上部方立にグレチャンを挿入し、妻垂木先端下側に妻梁上部フィックスパッキンを確実に挿入してください。

❷ 妻梁上部フィックスパネル（アクリル板）をセットし、妻垂木押え縁をネジ止めしてください。

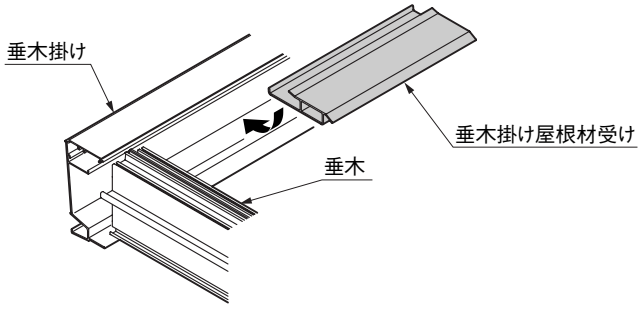
<注 意>

- 上部方立用グレチャンは内、外側方向性があるので取付けに注意してください。
- 妻梁上部フィックスパッキンの溝に妻梁上部フィックスパネルが納まるように挿入してください。



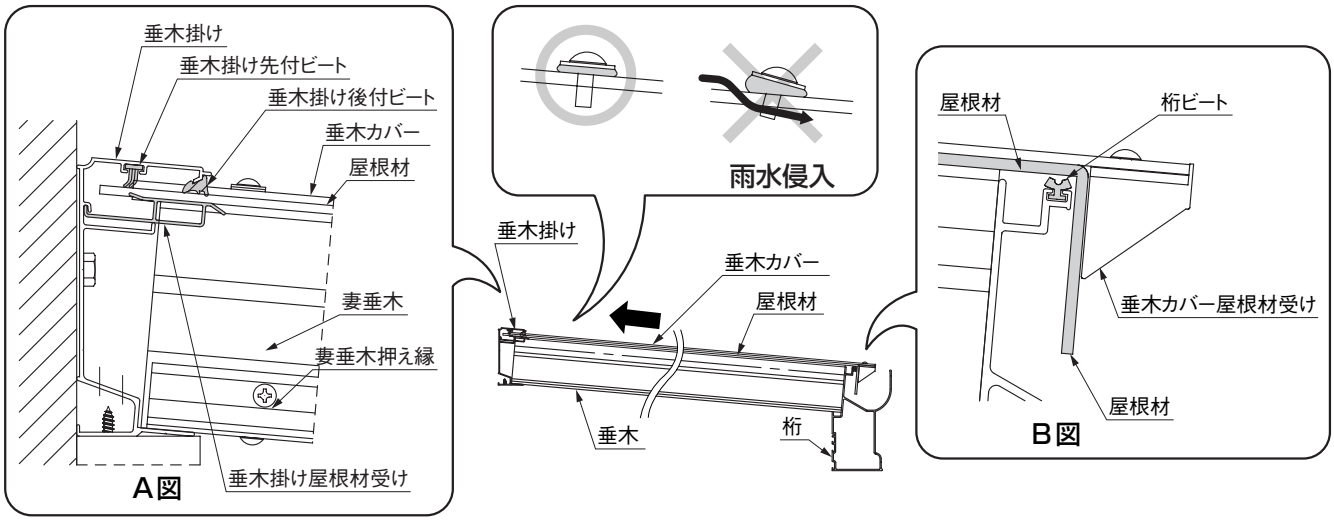
4-8 屋根材の取付け

1 垂木掛け屋根材受けの取付け



❶ 垂木掛け屋根材受けを垂木掛けに確実に挿入してください。
（A図参照）

2 垂木カバーの取付け



❶ 垂木掛けの溝に屋根材を差込み、屋根材先端が桁ビートに突き当たるまで押し込んでください。（B図参照）
❷ 垂木カバーを垂木掛けに差込み、垂木カバー屋根材受けが屋根材に突き当たるまで押し込んでください。その後、垂木掛け側から順にネジ止めしてください。

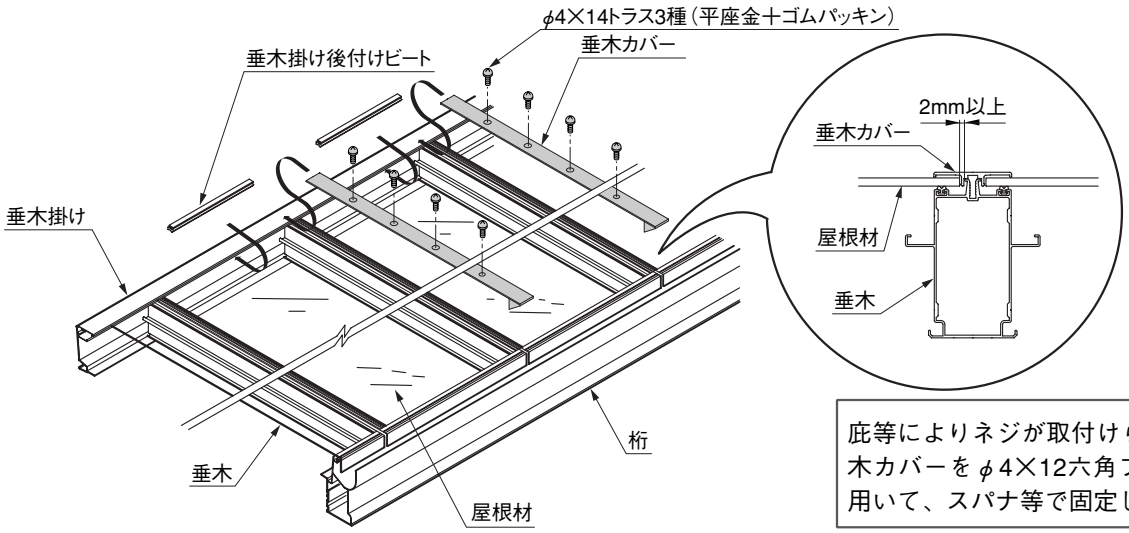
＜注 意＞

● ネジ止めは垂木、妻垂木に対して垂直にかつ、ゴムパッキンが十分につぶれるまでねじ込んでください。不十分だと雨もれの原因になります。

❸ 垂木掛け後付ビートを垂木掛けと屋根材の間に押し込んでください。（A図参照）

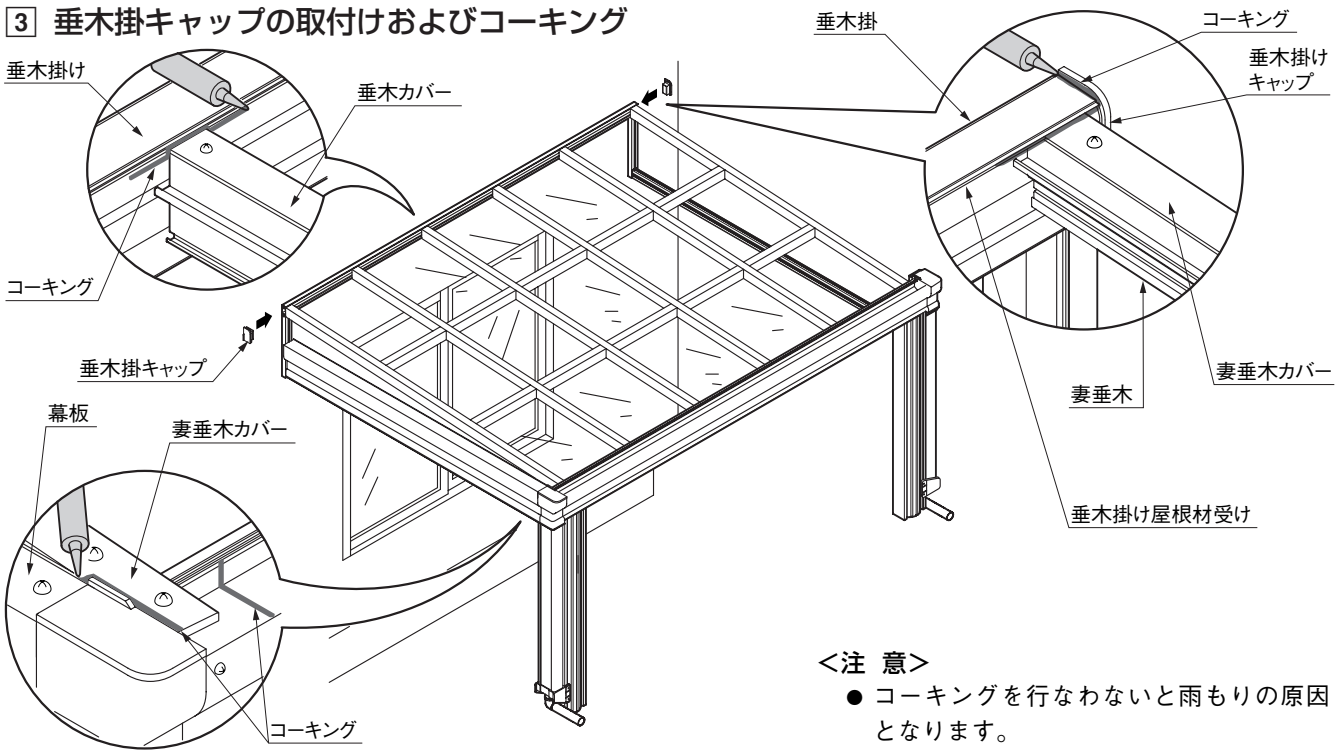
＜注 意＞

● この作業が確実に行なわれないと、雨もりが発生するおそれがあります。



庇等によりネジが取付けられない場合、垂木カバーをφ4×12六角フランジ付ネジを用いて、スパナ等で固定してください。

3 垂木掛キャップの取付けおよびコーキング

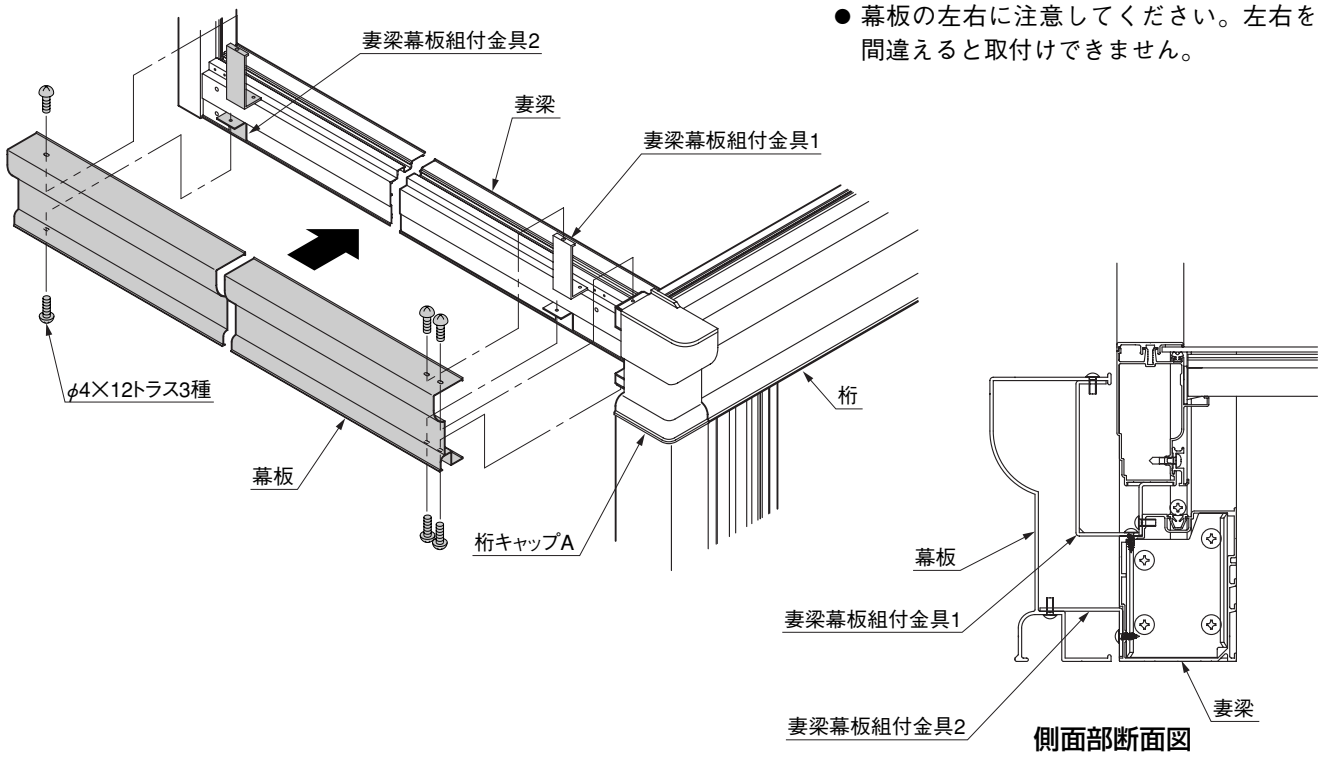


<注 意>
● コーキングを行なわないと雨もりの原因となります。

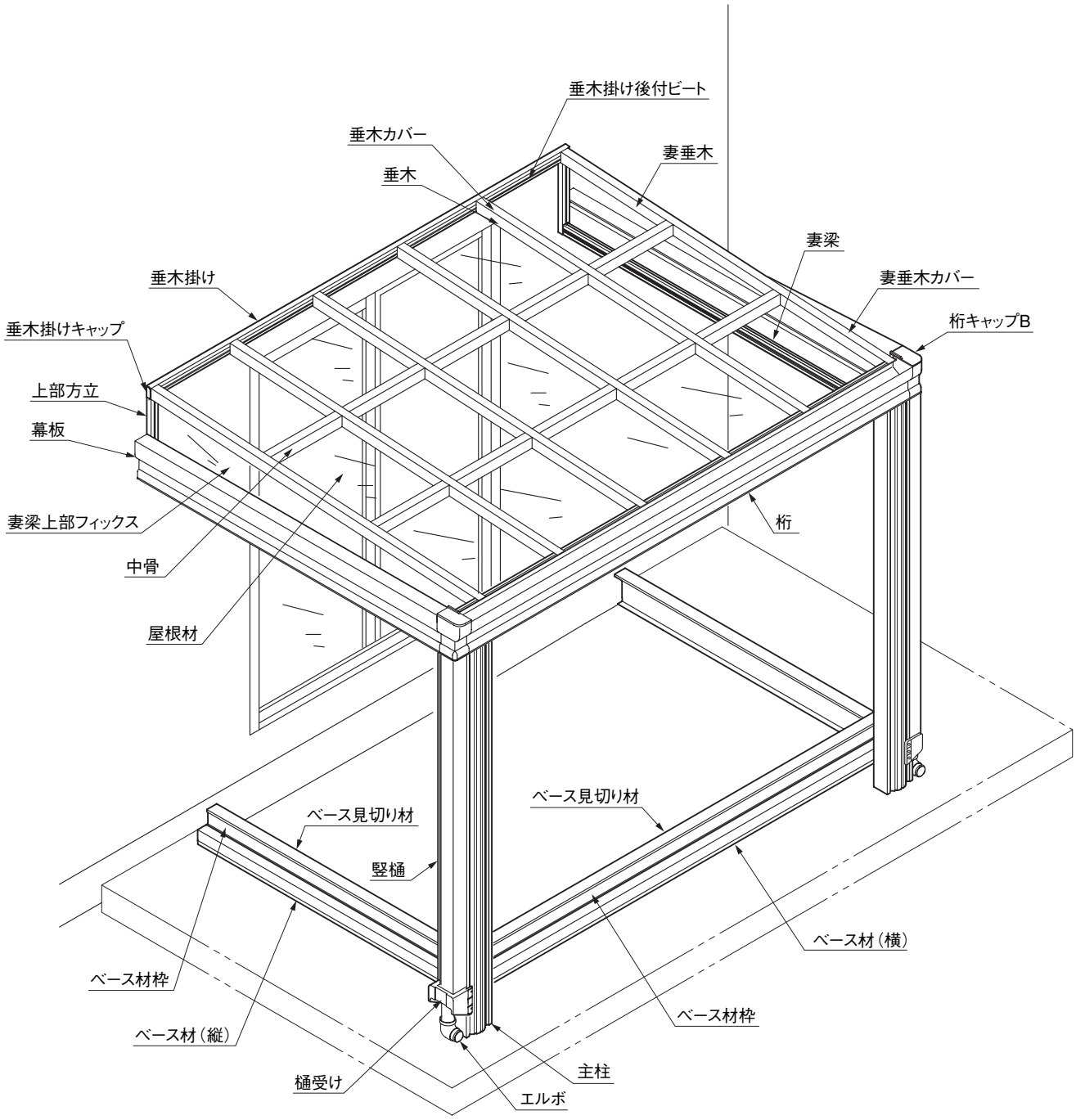
4-9 幕板の取付け

❶ 幕板を下図の位置に取付け、妻梁幕板組付金具に固定してください。

<注 意>
● 幕板の左右に注意してください。左右を間違えると取付けできません。

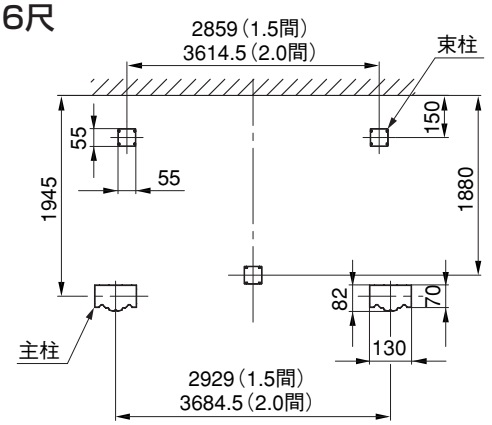


5 暖蘭物語 本体の施工方法（土間仕様）

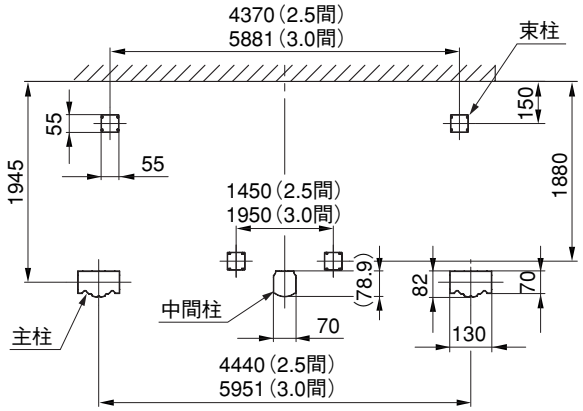


5-1 柱位置出し

1 6尺

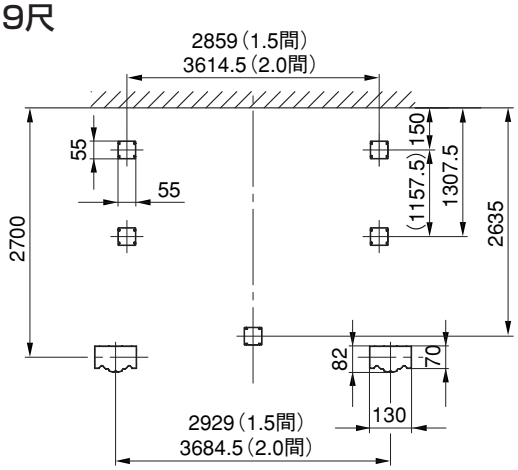


1.5間・2.0間

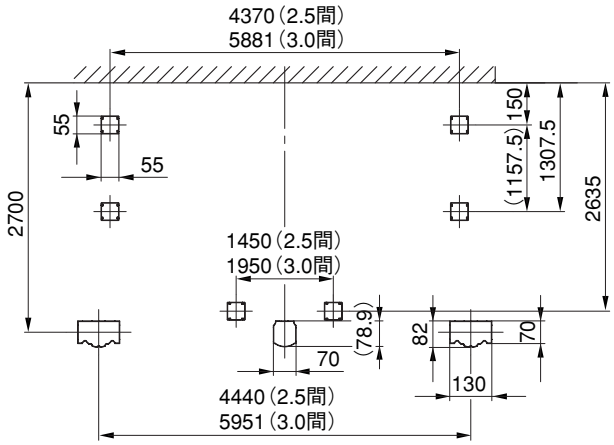


2.5間・3.0間

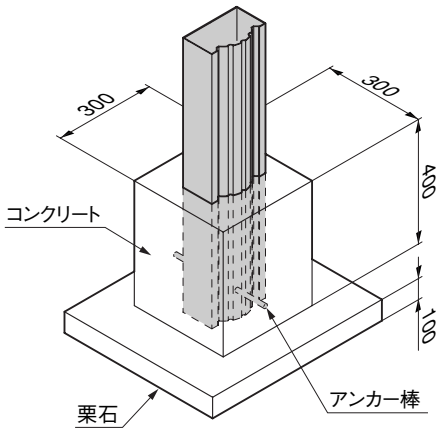
2 9尺



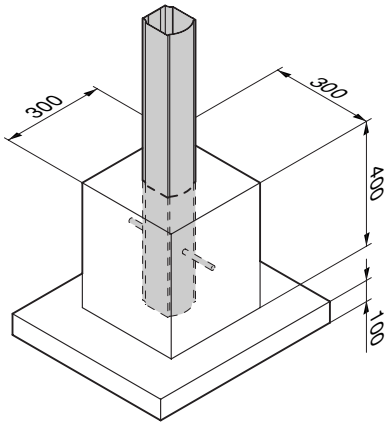
1.5間・2.0間



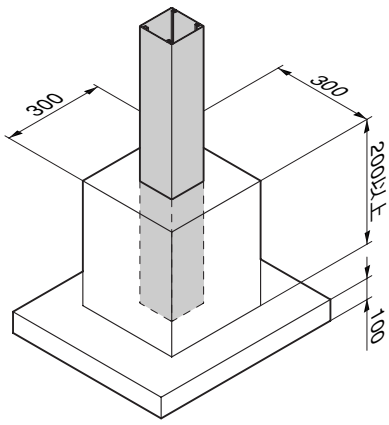
2.5間・3.0間



主柱



中間柱



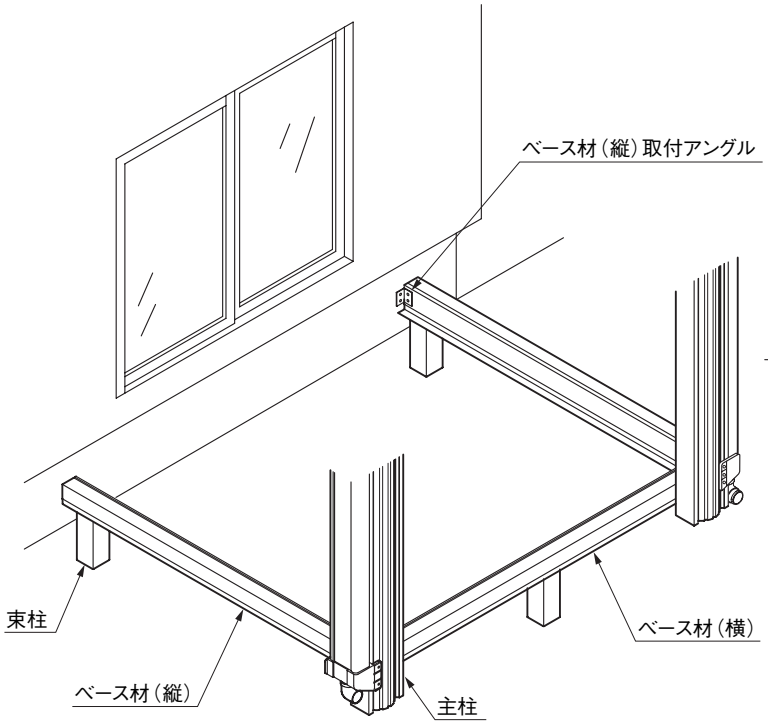
束柱

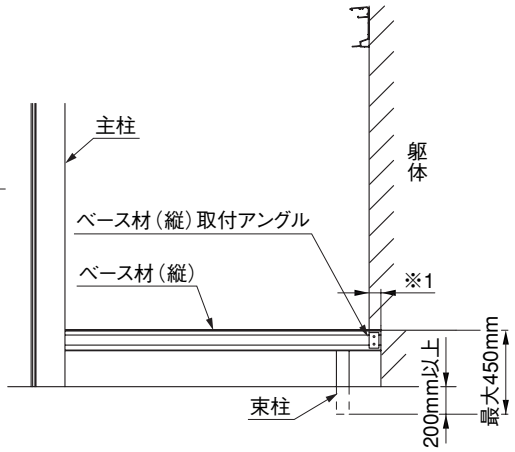
<注 意>

- 柱および中間柱の基礎部は転圧後必ず栗石を敷き、柱内の水抜きができるようにしてください。
- モルタルには急結材は絶対に使用しないでください。アルミが腐食する原因となります。また、海砂もアルミが腐食する原因となりますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
- 地盤のやわらかい場所への施工は、柱および中間柱の埋込み深さ、基礎の大きさを十分考慮してください。地盤の影響により沈み込みや倒れが発生するおそれがあります。
- 寒冷地では凍結深度を考慮し、柱および中間柱の埋込み深さおよび基礎の大きさを十分考慮して施工してください。この作業が十分でないと凍上により柱および中間柱が浮き上がるおそれがあります。

5-2 ベース材の取付け

「4 本体の施工」終了後に行なってください。





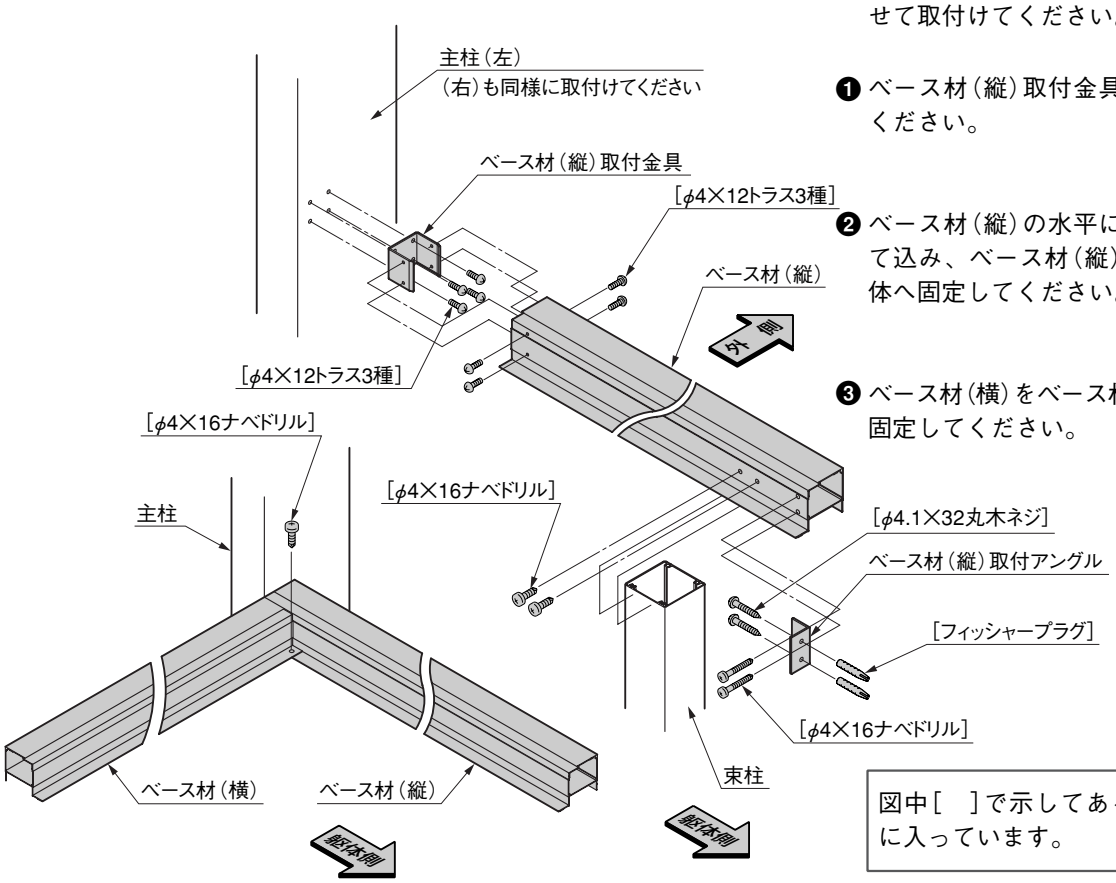
※1 寸法（テラス取付け面～ベース材（縦）固定面）までが

50mm以下の場合

- ベース材（縦）を必要な分だけカットしてください。

50mm以上の場合

- 間にスペーサーになるようなものをかませて取付けてください。



❶ ベース材（縦）取付金具を主柱に取付けてください。

❷ ベース材（縦）の水平に注意して束柱を建て込み、ベース材（縦）取付アングルで躯体へ固定してください。

❸ ベース材（横）をベース材（縦）の内々に納め、固定してください。

図中［　］で示してあるネジは梱包の中に入っています。

「6 上下レールの施工」を行なってください。

6 暖蘭物語 上下レールの施工方法

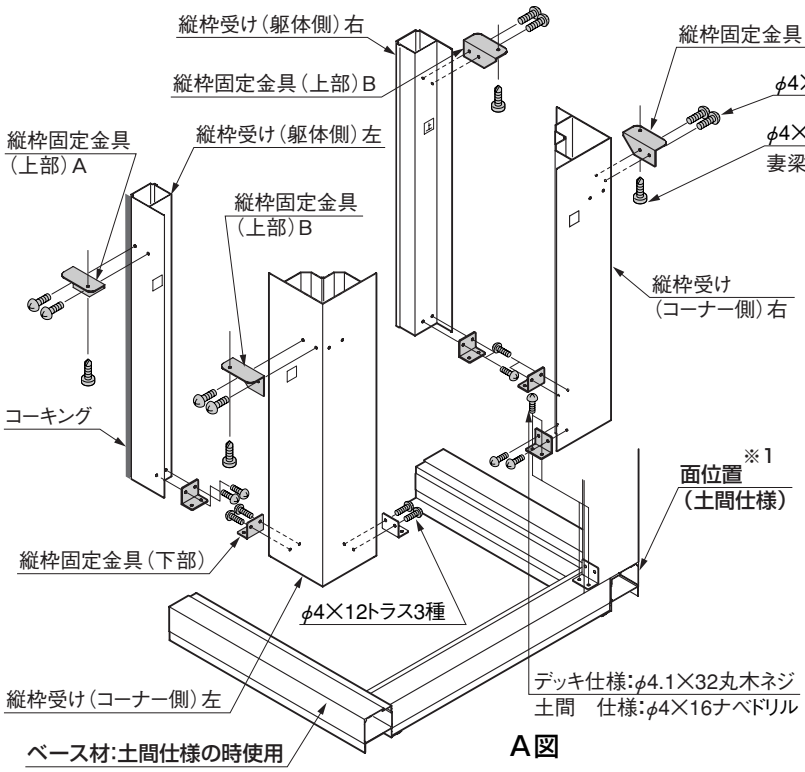
縦枠受け（躯体側）右
上レール右
縦枠受け（コーナー側）右
縦枠受け（躯体側）左
縦枠B
縦枠A
上レール左
下レールカバー右
縦枠A
下レール右
上レール
縦枠B
縦枠A
縦枠B
下レールカバー左
下レールカバー
下レール左
下レール
縦枠受け（コーナー側）左

側面用フィックス上レール

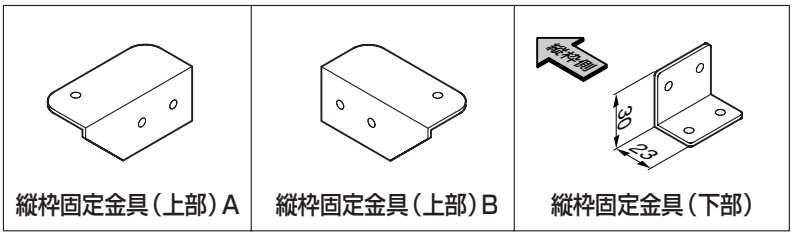
側面フィックスを取付ける場合

2.5間・3.0間の場合
（2.0間積雪仕様の場合）

6-1 縦枠受けの取付け



A図



B図

❶ 縦枠受けに固定金具を取付けてください。

＜注　意＞

- 取付ネジはφ4×12トラス3種を使用してください。
- 縦枠固定金具（上部）はAとBがありますのでA図を参照の上取付けてください。
- 縦枠固定金具（下部）は長い方の辺（30mm）を縦枠側に取付けてください。（B図参照）

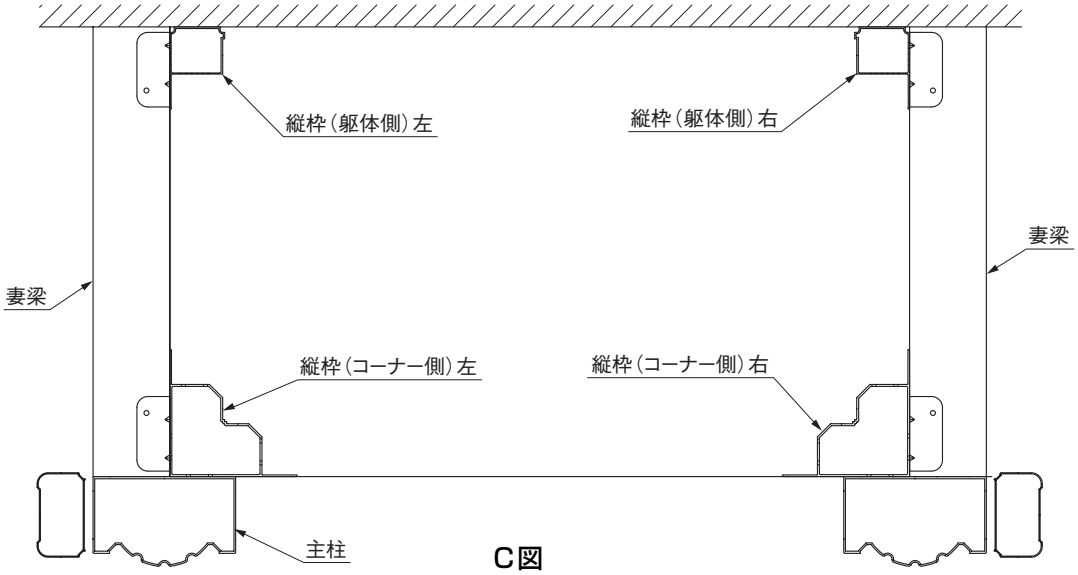
❷ 縦枠受け（躯体側）左右を躯体と妻梁の角に合わせて垂直に取付けてください。（C図参照）
躯体と縦枠受け（躯体側）の隙間にコーキングをしてください。

❸ 縦枠受け（コーナー側）左右を主柱と妻梁の角に合わせて垂直に取付けてください。（C図参照）

＜注　意＞

- **土間仕様の場合ベース材と縦枠受け（コーナー側）の外面が同じになるように取付けてください。（※1）**
- 縦枠固定金具（上部）は妻梁下面にφ4×16ナベドリルで取付けてください。
- 縦枠固定金具（下部）は床面に下記ネジで取付けてください。

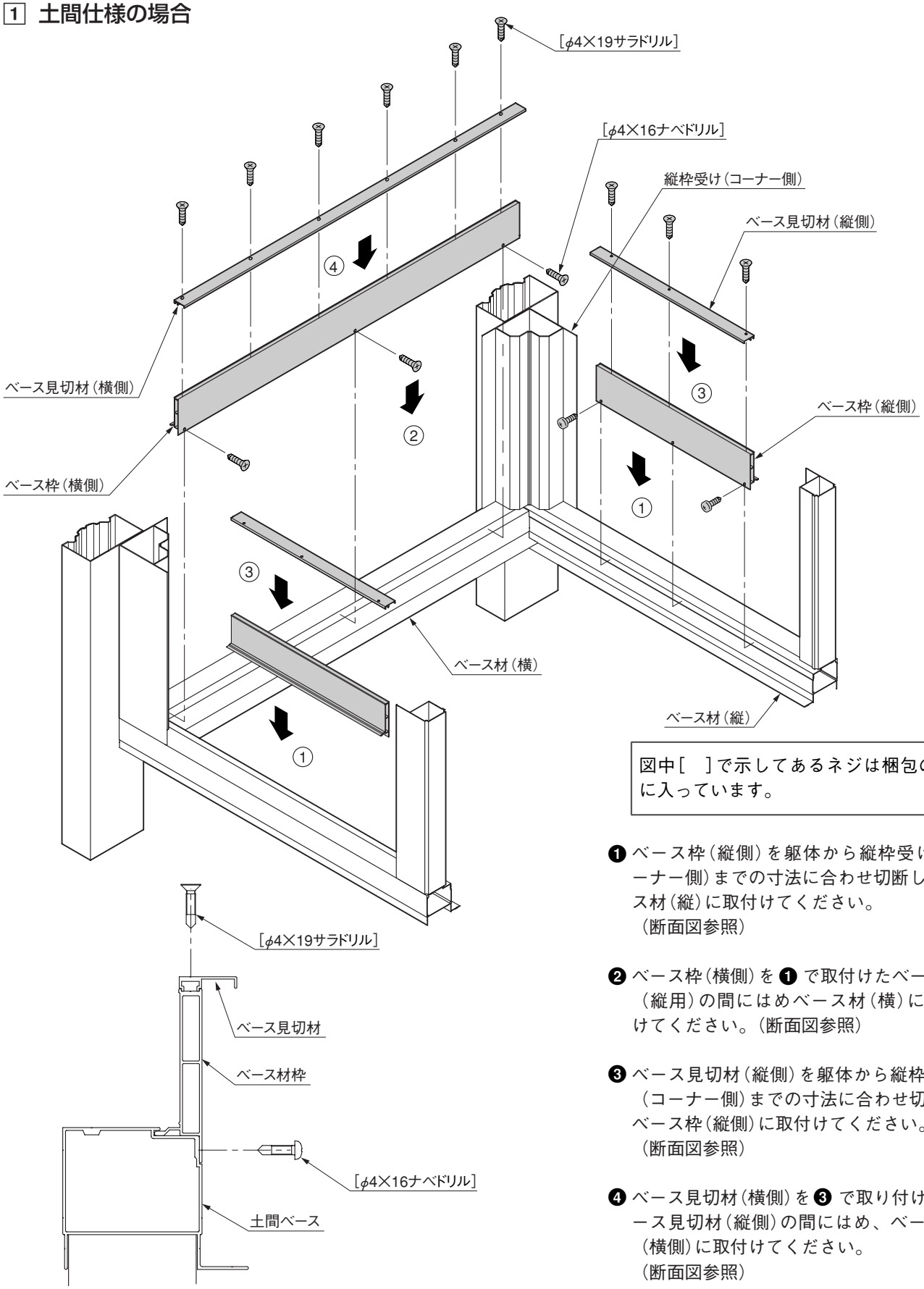
床の仕様	使用するネジ
デッキ仕様	φ4.1×32丸木ネジ
土間仕様	φ4×16ナベドリル



C図

6-1 つづき

1 土間仕様の場合



図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

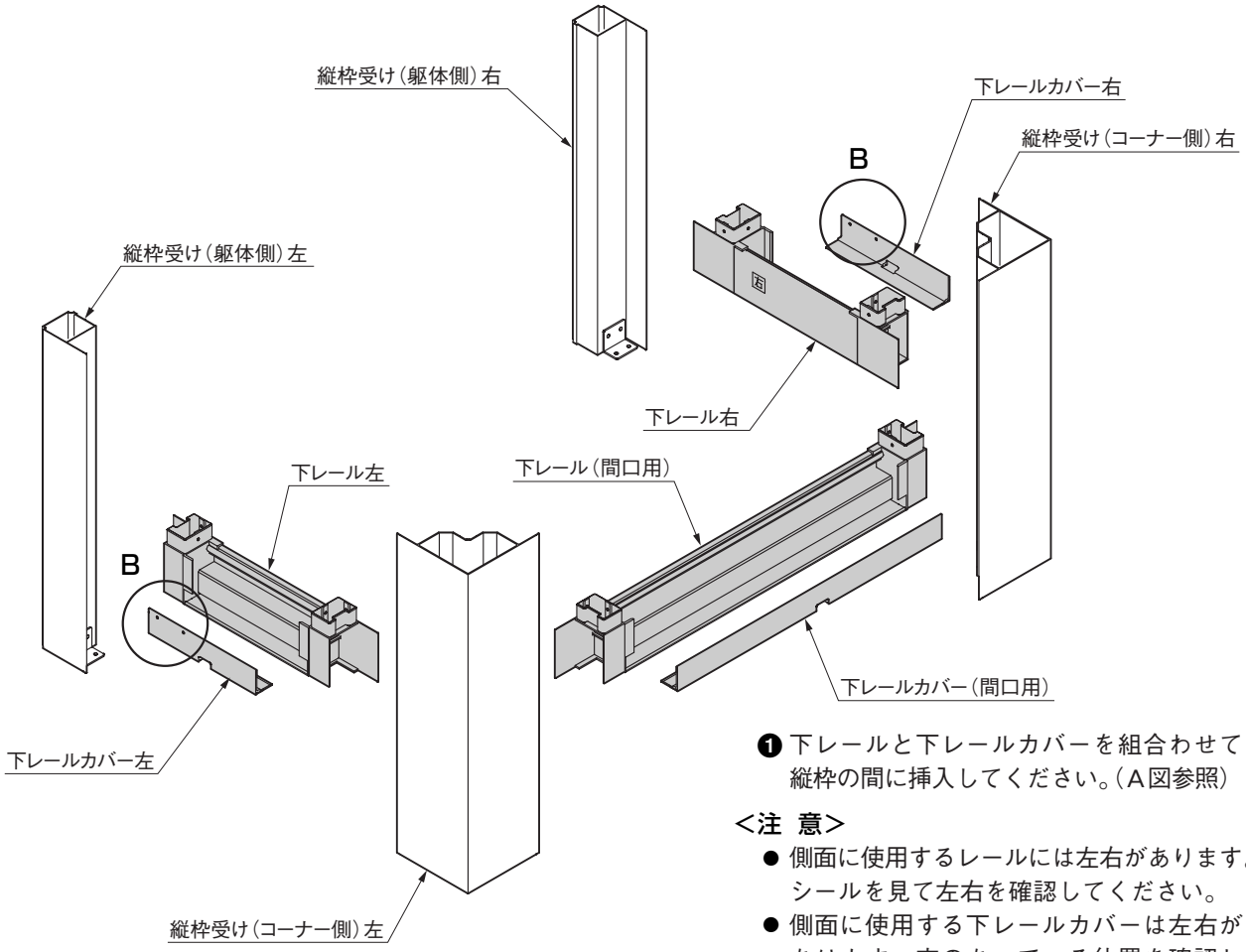
❶ ベース枠（縦側）を躯体から縦枠受け（コーナー側）までの寸法に合わせ切断しベース材（縦）に取付けてください。
（断面図参照）

❷ ベース枠（横側）を ❶ で取付けたベース枠（縦用）の間にはめベース材（横）に取付けてください。（断面図参照）

❸ ベース見切材（縦側）を躯体から縦枠受け（コーナー側）までの寸法に合わせ切断し、ベース枠（縦側）に取付けてください。
（断面図参照）

❹ ベース見切材（横側）を ❸ で取り付けたベース見切材（縦側）の間にはめ、ベース枠（横側）に取付けてください。
（断面図参照）

6-2 下レールの取付け

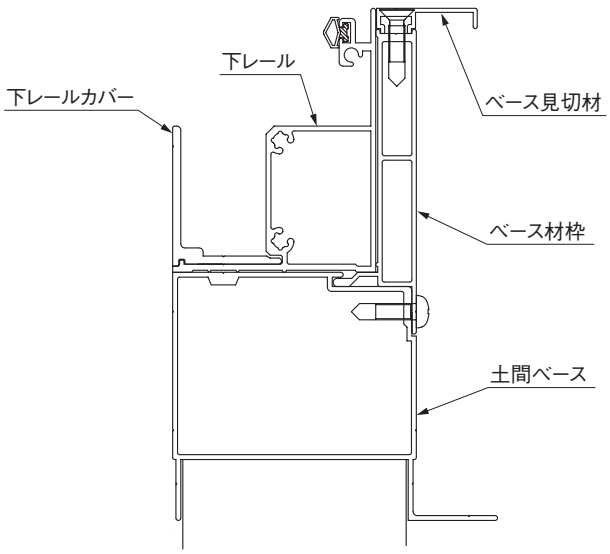
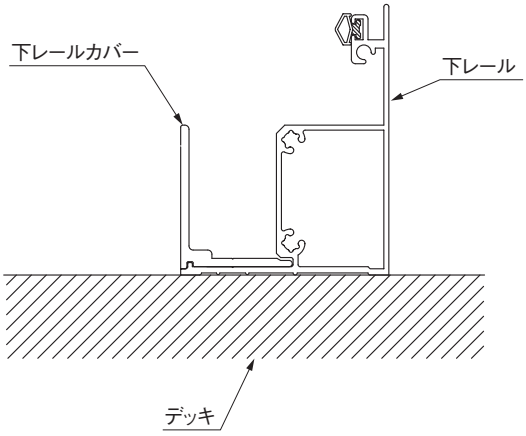


❶ 下レールと下レールカバーを組合わせて縦枠の間に挿入してください。（A図参照）

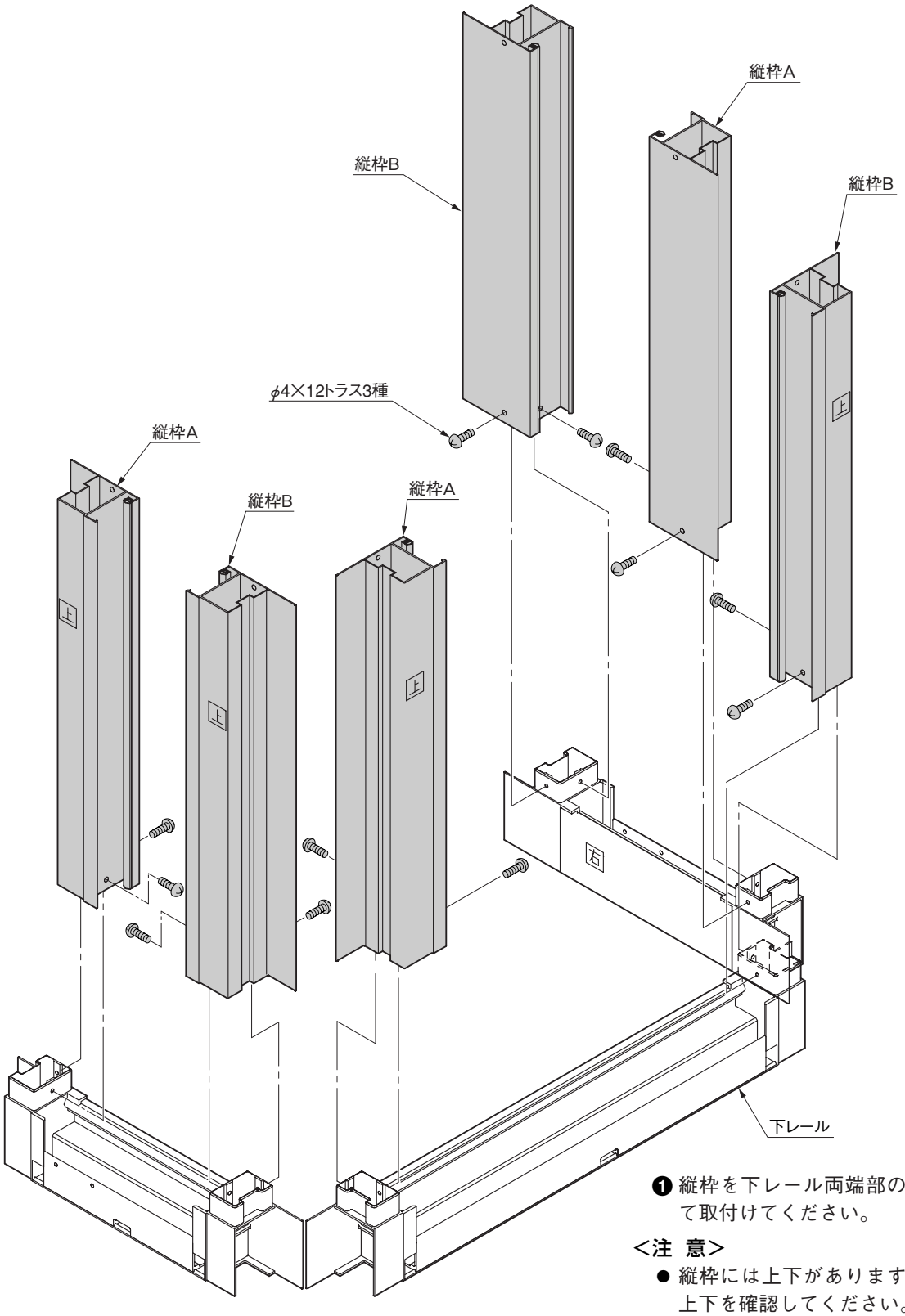
＜注 意＞

- 側面に使用するレールには左右があります。シールを見て左右を確認してください。
- 側面に使用する下レールカバーは左右があります。穴のあいている位置を確認してください。（B部参照）
- 下レールは固定しないでください。下レールは縦枠、上レールを組付けた後、枠の垂直を見て固定します。

A図

土間仕様	デッキ仕様
	

6-3 縦枠の取付け



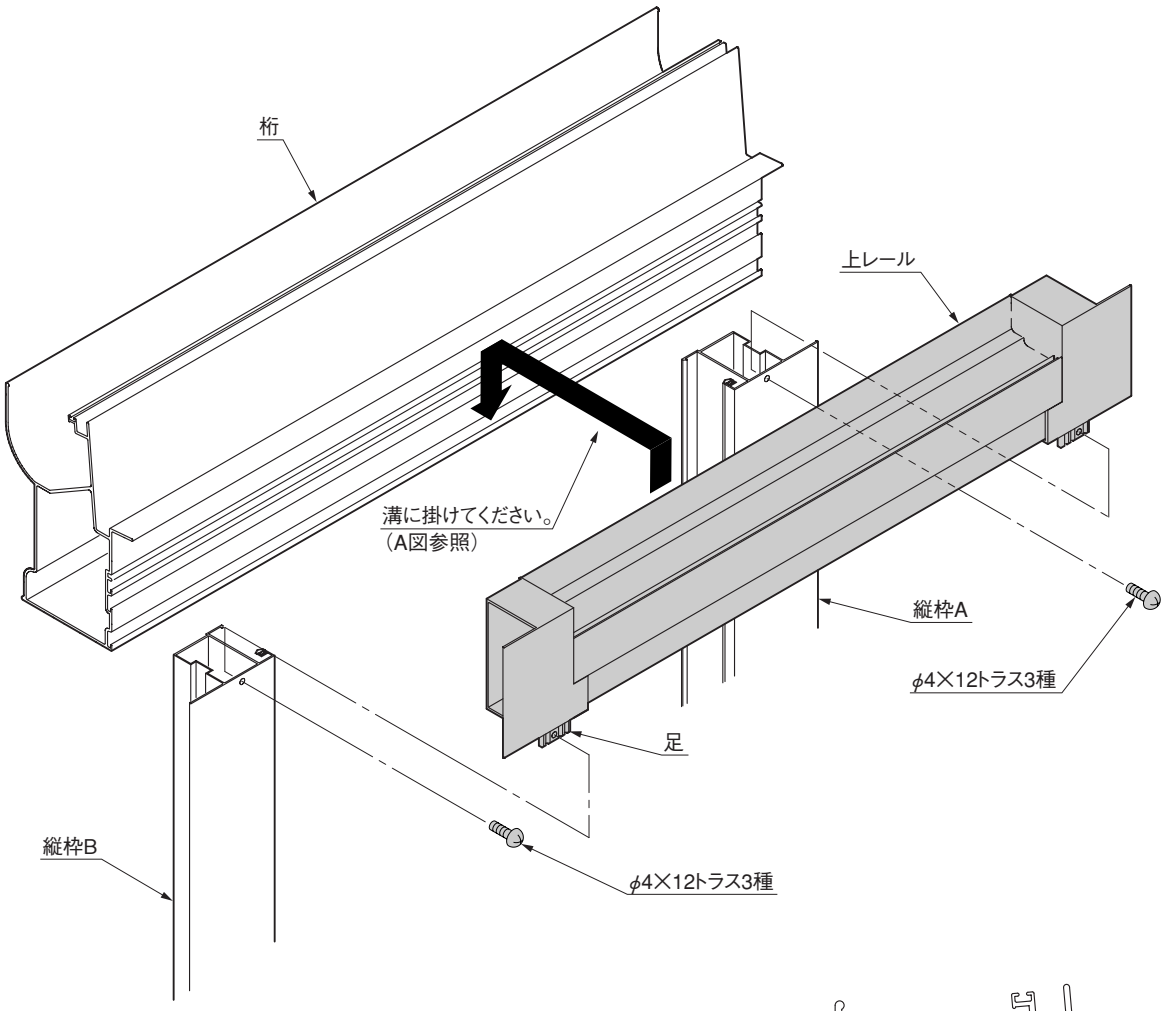
A図

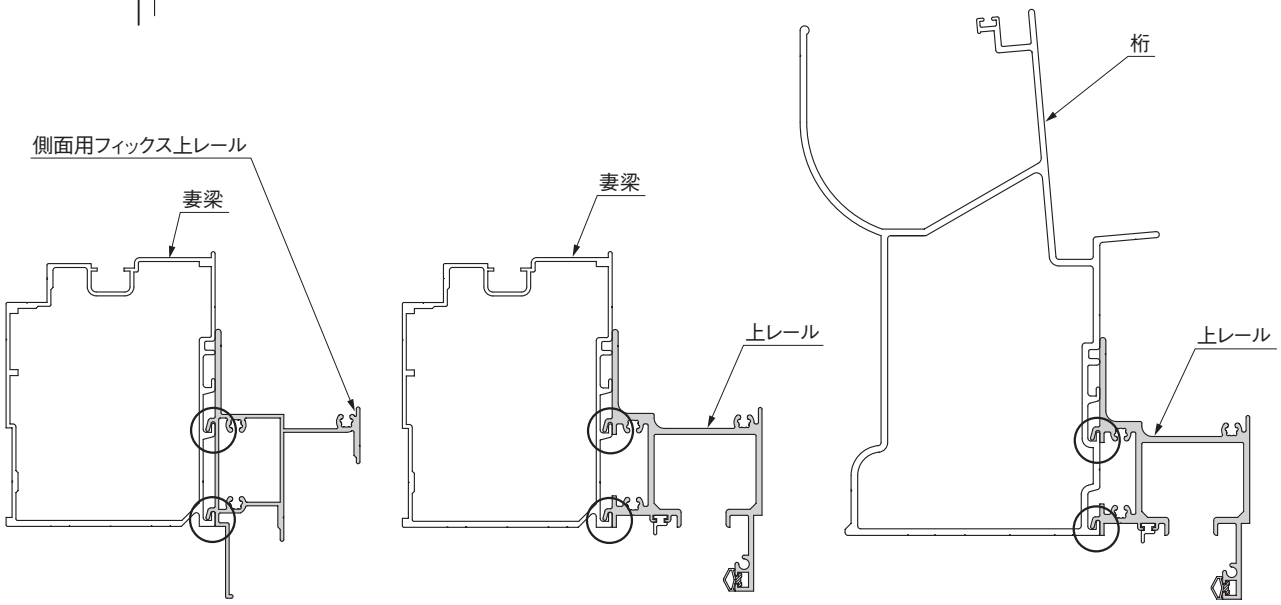
❶ 縦枠を下レール両端部の樹脂部に合わせて取付けてください。

<注 意>

- 縦枠には上下があります。シールを見て上下を確認してください。
- 縦枠にはA、Bがあります。A図を参照の上組付けてください。
- 縦枠は固定しないでください。縦枠は上レールを組付けた後、枠の垂直を見て固定します。

6-4 上レールの取付け





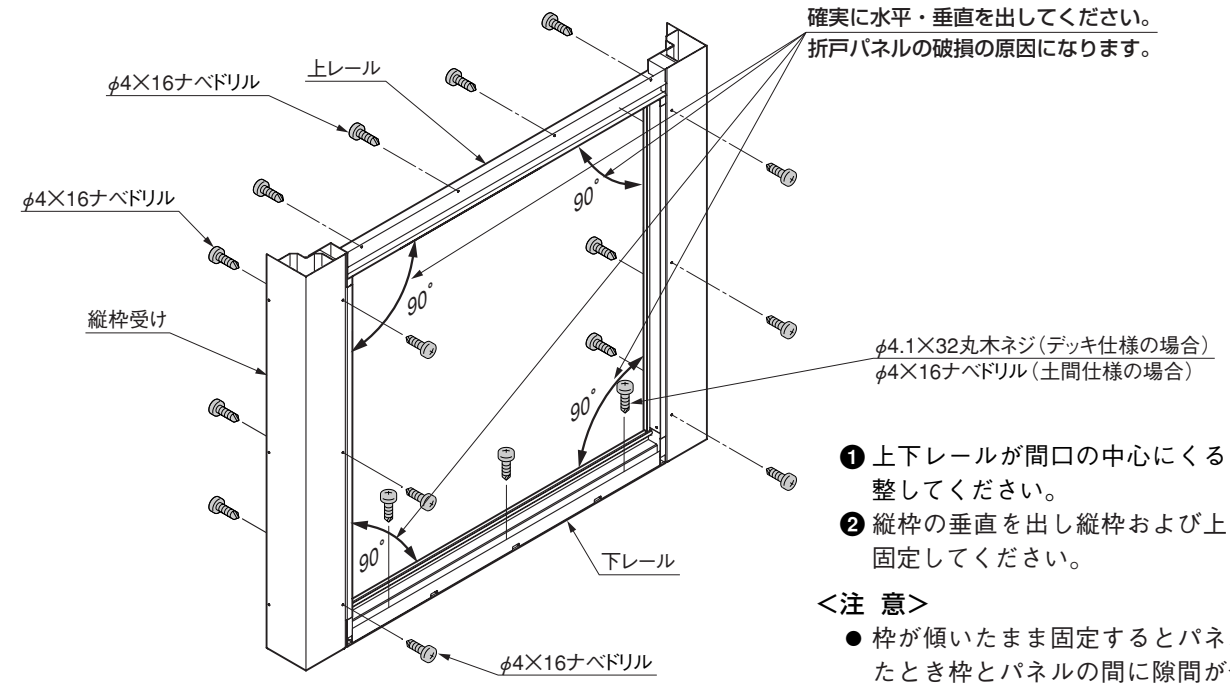
A図

❶ 上レールを桁および妻梁の溝にはめ、上レール両端の足の部分を縦枠内に差込んで組付けてください。

<注 意>

● 上レールが桁および妻梁の溝にしっかりとはまっていないとパネル吊り込み時にレールが外れます。（A図○印部参照）

6-5 縦枠・上下レールの固定



❶ 上下レールが間口の中心にくるように調整してください。

❷ 縦枠の垂直を出し縦枠および上レールを固定してください。

＜注　意＞

- 枠が傾いたまま固定するとパネルを閉めたとき枠とパネルの間に隙間が発生し、折戸パネル破損の原因になります。

❸ 下レールを固定してください。

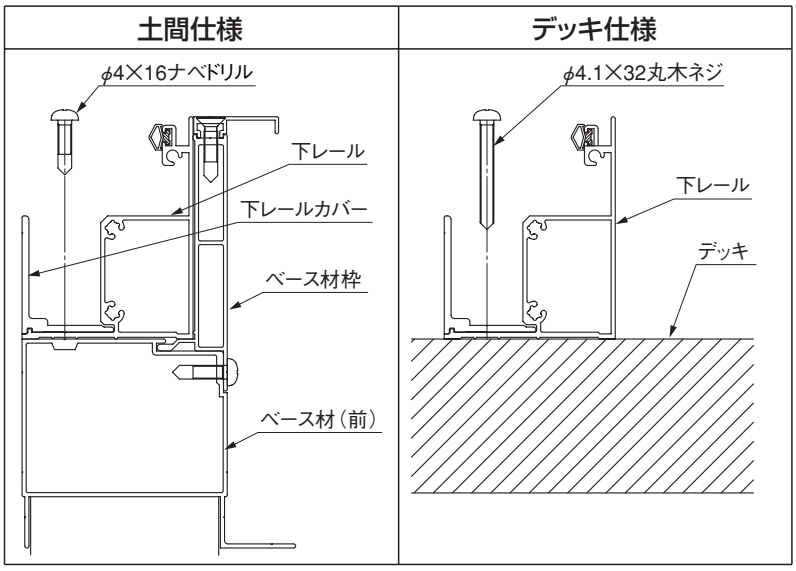
＜注　意＞

- 床の仕様により固定ネジが変わりますので注意してください。
- 2.5間、3.0間の下レールは間口の中心からずれて取付けると中間柱にパネルが当り破損の原因になります。

❹ 2.5間および3.0間の場合は下レールの中心に下部ストッパーを取付けてください。

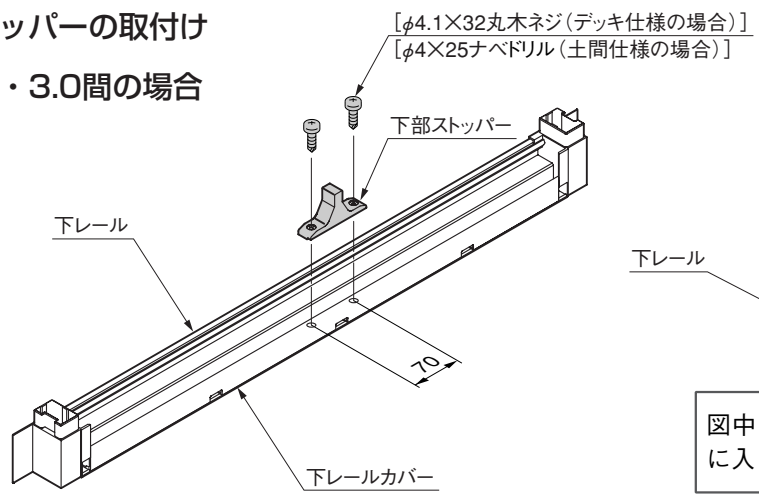
❺ 積雪仕様の場合は2.0間から下部ストッパーを組付けてください。

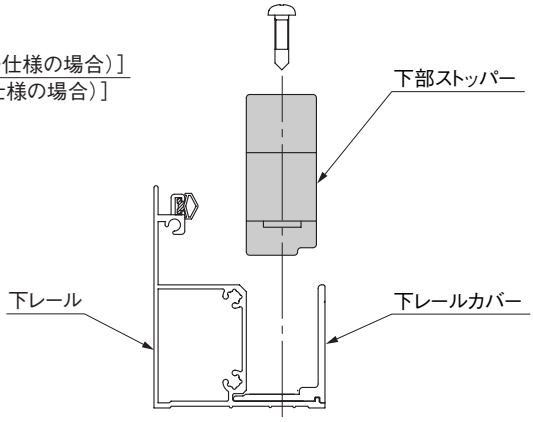
❻ ❶～❸の手順で側面の縦枠・上下レールを固定してください。



1 下部ストッパーの取付け

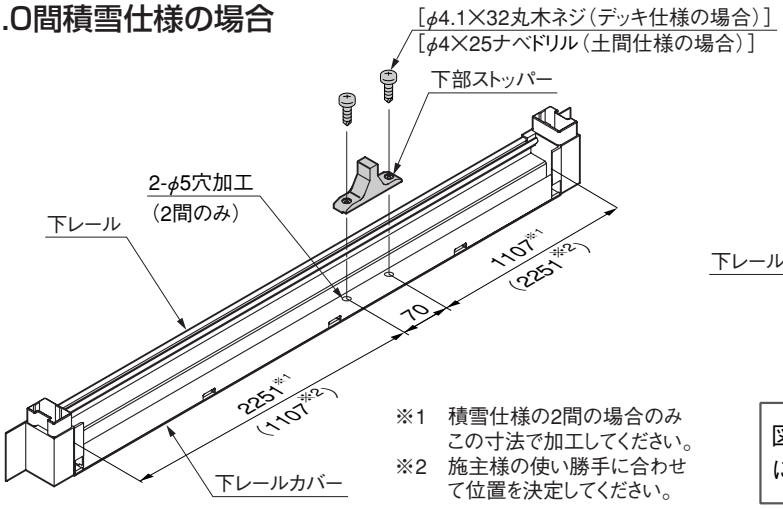
■2.5間・3.0間の場合



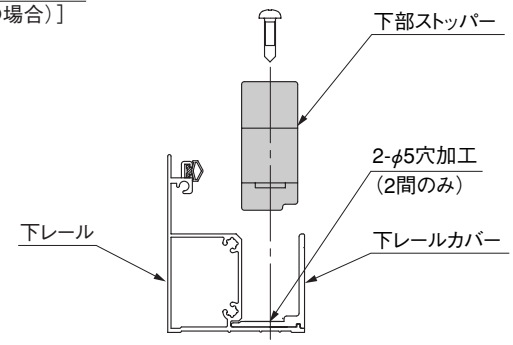


図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

■2.0間積雪仕様の場合



※1　積雪仕様の2間の場合のみこの寸法で加工してください。
※2　施主様の使い勝手に合わせて位置を決定してください。



図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

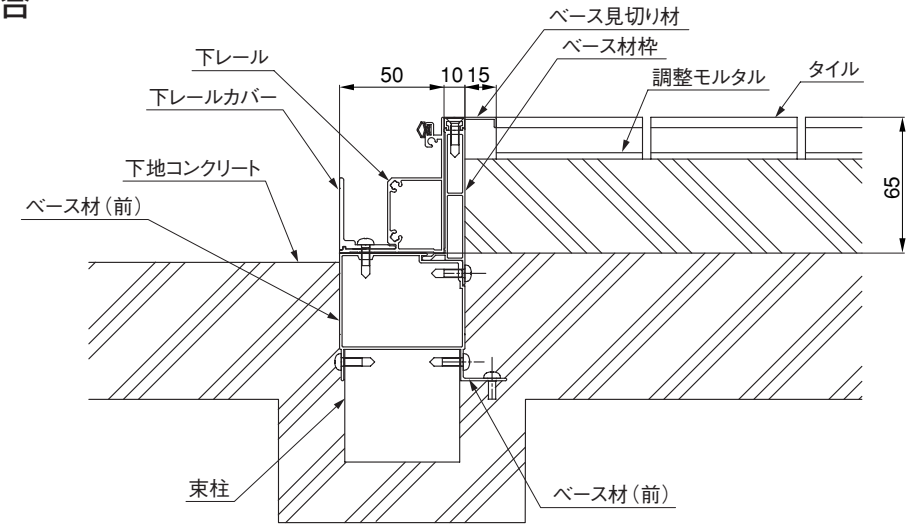
<注 意>
- 下部ストッパーは積雪仕様の時のみ使用します。

6-6 エクシオール内面仕上げ

1 ウッドデッキ仕様の場合

<注 意>
- ウッドデッキ仕様でのエクシオール内面仕上げは、各種ウッドデッキ材質に合わせたそれぞれの「エクシオール 暖蘭物語　ーデッキ編」を参照してください。

2 土間仕様の場合

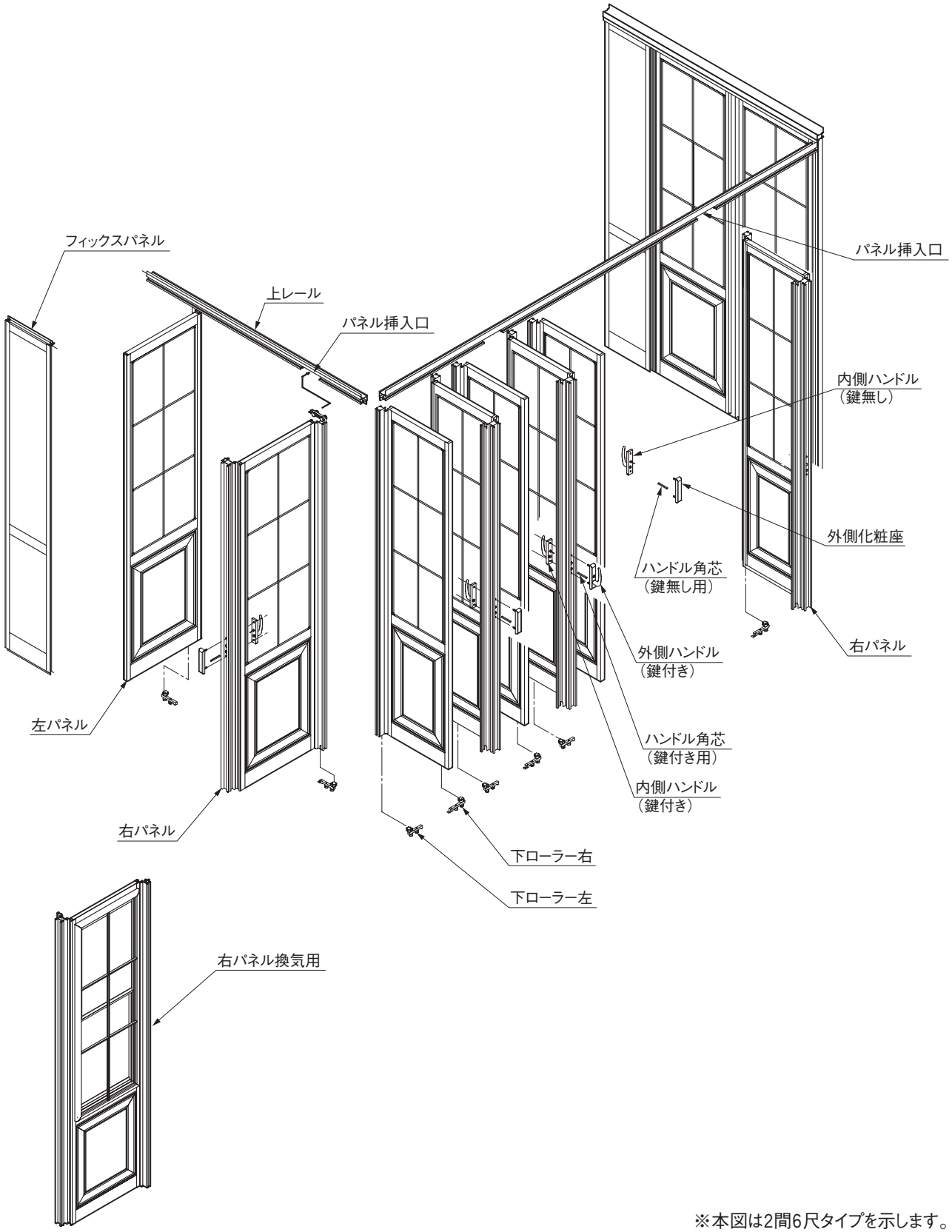


ベース材の取付け後に行なってください。

❶ エクシオール外は、レールの下面で下地コンクリートを仕上げてください。
❷ エクシオール内は仕上がり面がベース見切り材の上面と合うように調整してください。

<注 意>
- レール内面に調整モルタルを打つ場合、モルタルの硬化膨張により、レールが外に強く押し出され、位置ずれや倒れが生じる可能性がありますので各部材の取付けをしっかりと行なってください。
- 仕上げ後、レール等に付着したモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。

7 暖蘭物語 パネルの施工方法



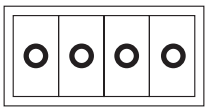
※本図は2間6尺タイプを示します。

7-1 パネルの納まり

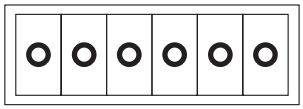
表1　　○：換気用パネル取付可　×：換気用パネル取付不可

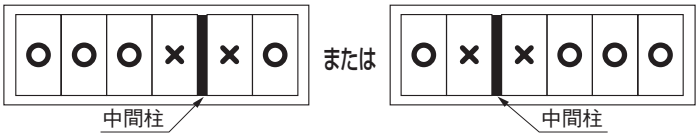
換気用パネルの納まり

1.5間の場合



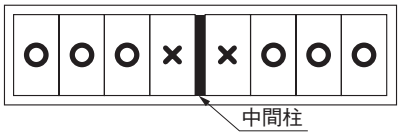
2.0間の場合





積雪仕様の場合

2.5間、3.0間の場合



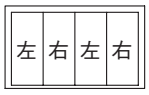
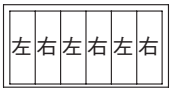
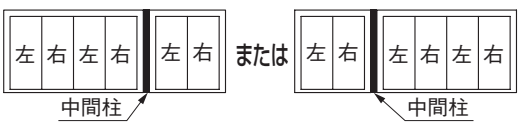
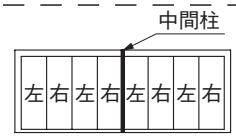
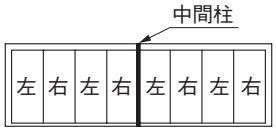
❶ 間口面へ換気用パネルを取付ける場合は、取付け範囲に制限がありますので、表1を参照の上施工してください。

<注　意>

- 積雪地仕様に施工する場合、2.0間にも中間柱が取付きますので注意してパネルの吊り込みを行なってください。
- 取付位置を間違えると、パネルの破損の原因になりますので、中間柱に隣接する部分への換気用パネル取付けは行なわないでください。
- 側面部へ換気パネルを取付ける場合の制限はありません。

表2

パネル納まり詳細

間口パネル納まり	側面パネル納まり
 1.5間:パネルA	右側面6尺:パネルA
 2.0間:パネルB	左側面6尺:パネルA
 2.0間（積雪仕様）:パネルB	
 2.5間:パネルC	右側面9尺:パネルC
 3.0間:パネルD	左側面9尺:パネルC

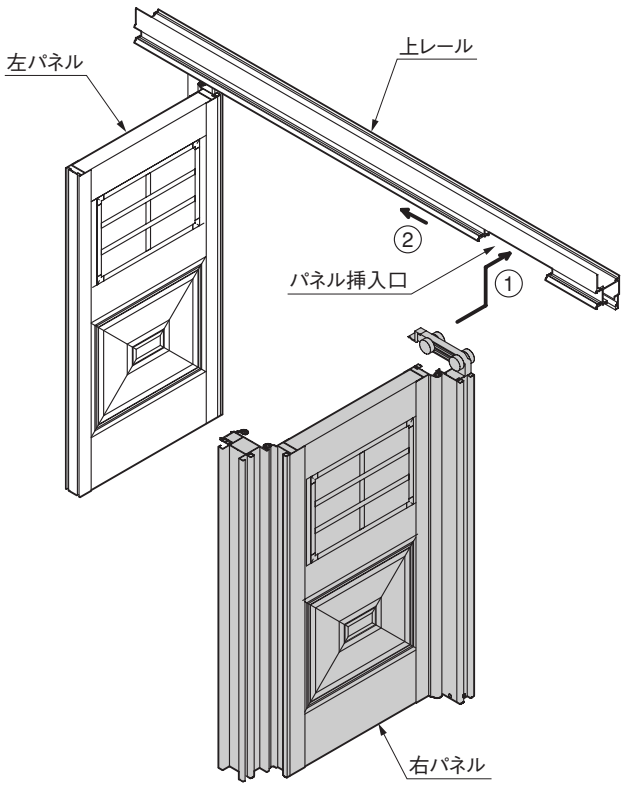
❷ パネルの種類および挿入する順番がありますので確認してください。（表2参照）

<注　意>

- 2.0間（積雪仕様）、2.5間および3.0間は中間柱を境に挿入口が左右に分かれます。
- 2.0間（標準仕様）は挿入口が2ケ所ありますがどちらを使用しても可です。
- 積雪仕様の場合には2.0間から中間柱が入ります。
- パネルサイズおよび挿入順序を間違えると組付かなくなります。

※2.5間・3.0間は中間柱を境に左右に分かれます。

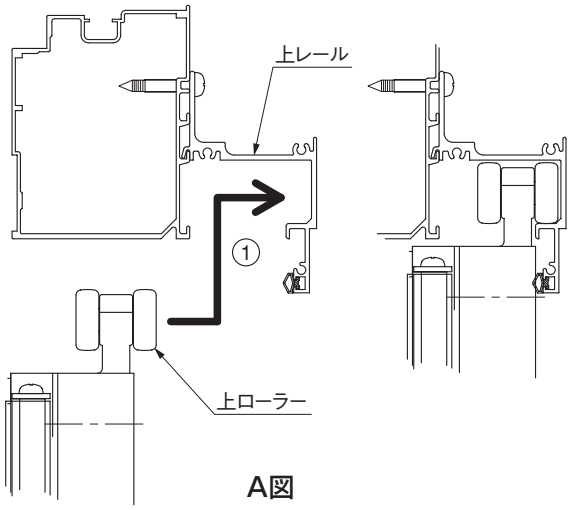
7-2 パネルの吊込み



❶ 挿入口にパネルの上ローラー部を入れ奥の受けにローラーを乗せ横にスライドさせてください。（A図参照）

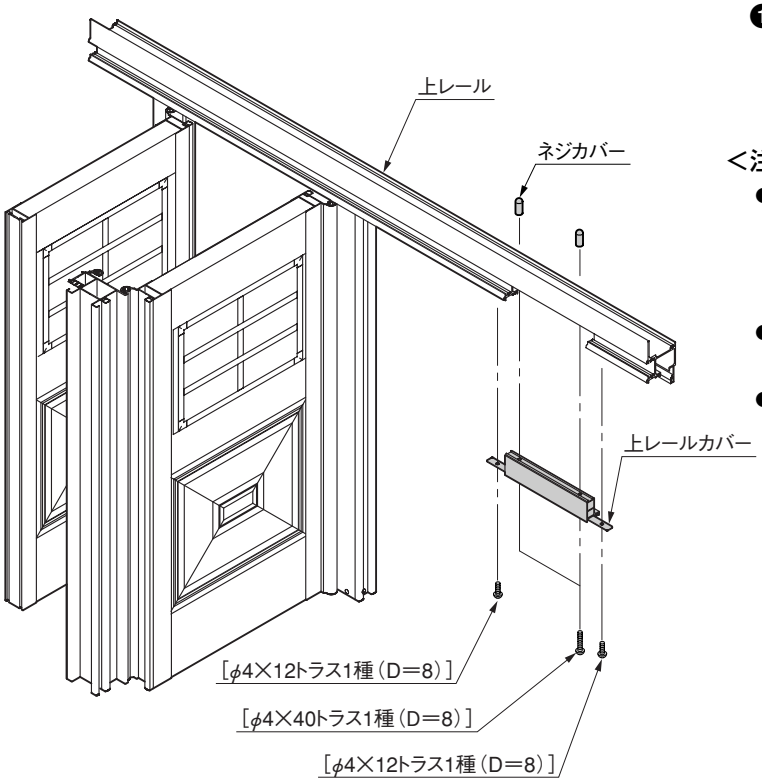
<注 意>

- 上ローラーがレールに確実に乗った状態でスライドさせてください。レールに乗ってない状態でスライドさせるとローラーの破損の原因になります。



A図

7-3 上レールカバーの取付け

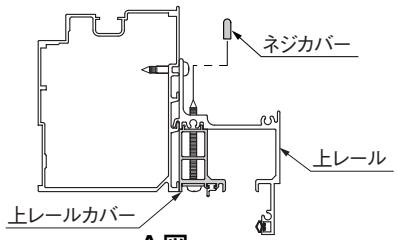


❶ 上レールカバーを上レールの挿入口に入れレール内側の壁に段差が無い事を確認してから4ヶ所確実に固定してください。（A図参照）

<注 意>

- レール内側に段差が生じた状態で上レールカバーを組付けると、パネルの開閉に支障をきたすおそれがあります。取付ける際は注意してください。
- ネジカバーを必ず付けてください。付けない場合、ケガをするおそれがあります。
- ネジカバーは桁垂木掛けセットに入っています。

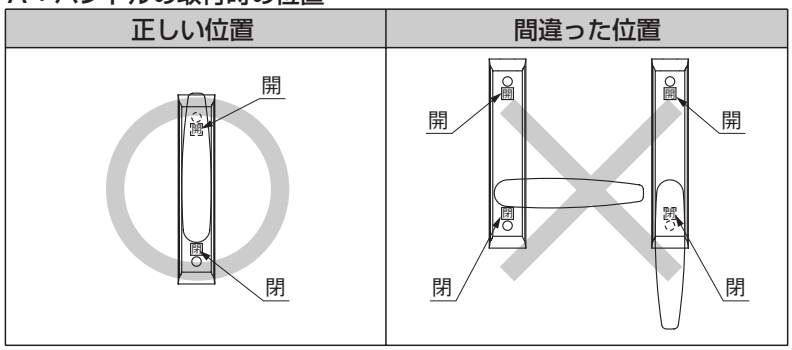
図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。



A図

7-4 ハンドルの取付け

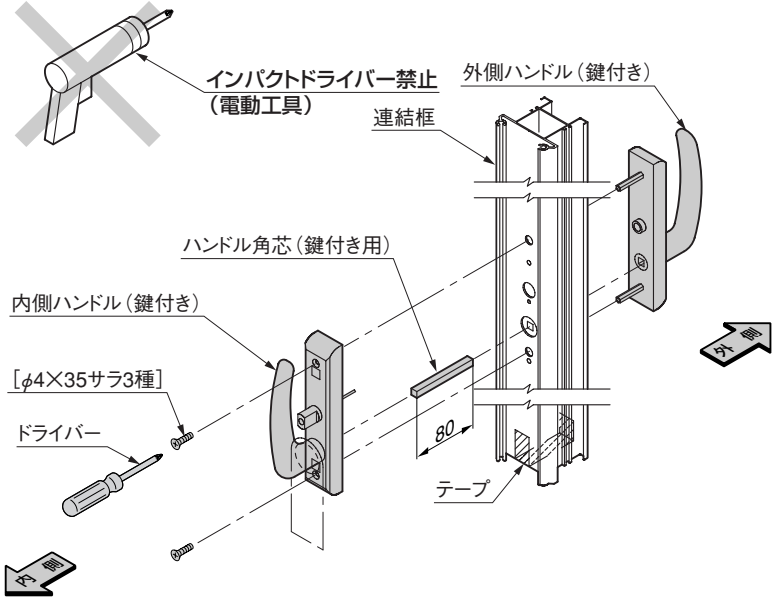
A：ハンドルの取付時の位置



<注 意>

- **ハンドル（鍵付き）と（鍵無し）はどのパネルにも取付けられます。ハンドル（鍵付き）の取付け場所を1ヶ所決めてから残りのハンドルを取付けてください。**
- 錠の組付けにはインパクトドライバー（電動工具）は使用しないでください。必ず普通のドライバーを使用して組み付けてください。

1 ハンドル（鍵付き）



❶ 連結框の角穴にハンドル角芯を挿入しハンドルを組付けてください。

<注 意>

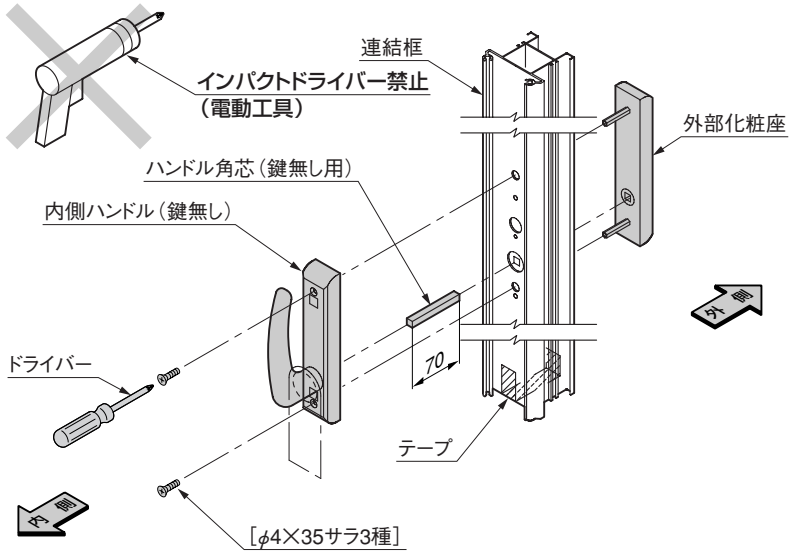
- ハンドルの位置が上向きでない状態で取付けるとハンドルが正しく動かずパネルの破損の原因になります。必ず正しい位置で取付けを行なってください。
  （A：ハンドルの取付け時の位置参照）

❷ 連結框下部のテープをはがし動作確認を行なってください。

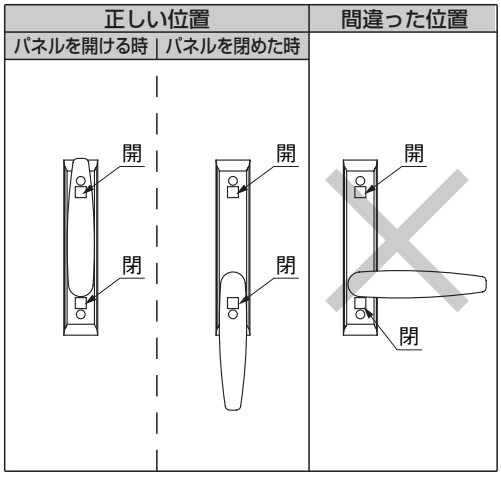
<注 意>

- パネル開閉時、ハンドル位置は必ず180度回した位置で開閉を行なってください。
  （B：パネル開閉時のハンドル位置参照）
- ハンドルが横を向いた状態で操作するとパネルを破損する原因になります。

2 ハンドル（鍵無し）

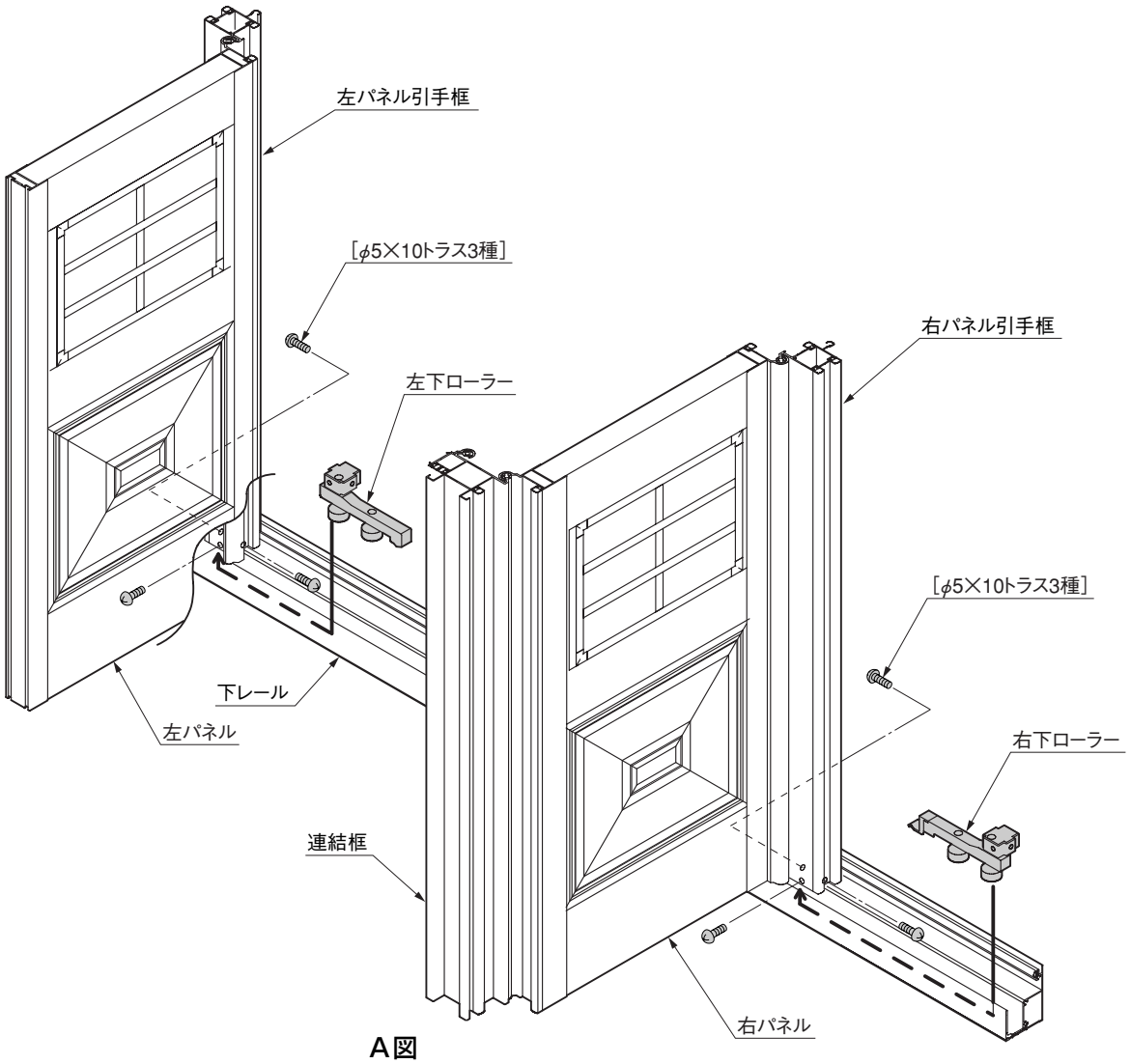


B：パネル開閉時のハンドル位置

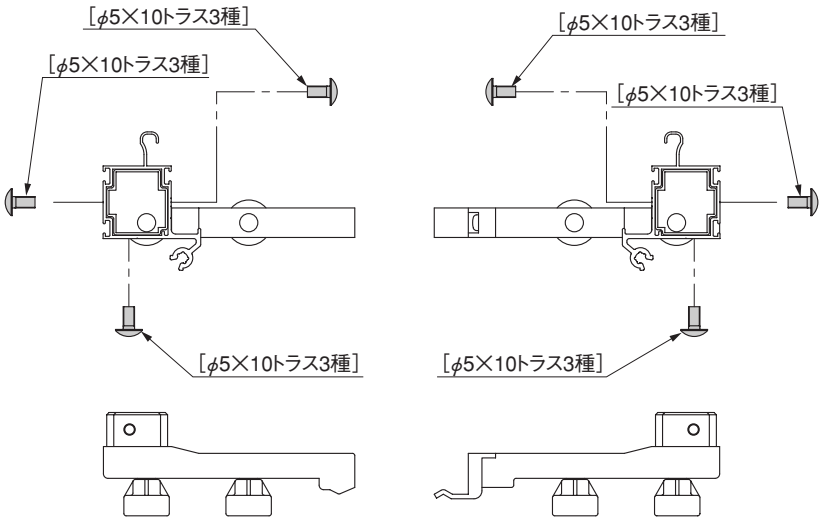


図中［　］で示してあるネジは梱包の中に入っています。

7-5 下ローラーの取付け



A図



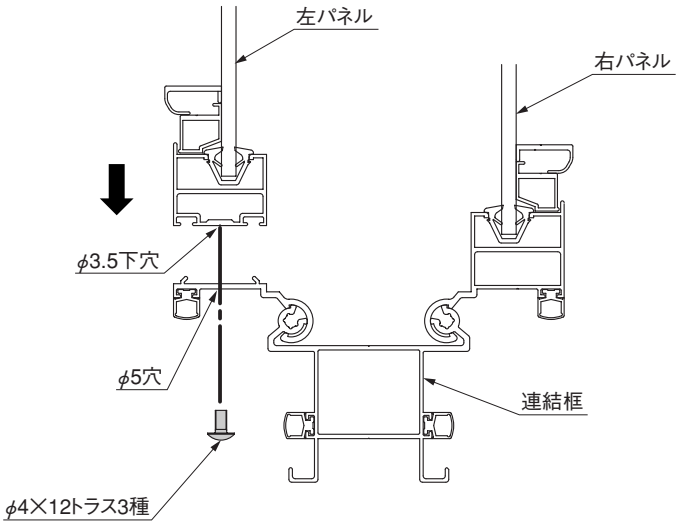
左下ローラー　　右下ローラー

❶ 下レールの溝に下ローラーを入れ、スライドさせ、パネルの引手框に挿入してください。（A図参照）

❷ 下ローラーを框に固定してください。（3ヶ所）

図中[　]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

7-6 パネルの連結



❶ 右パネル連結框の連結部と左パネルの連結部を組合わせ、穴位置があった所で固定してください。

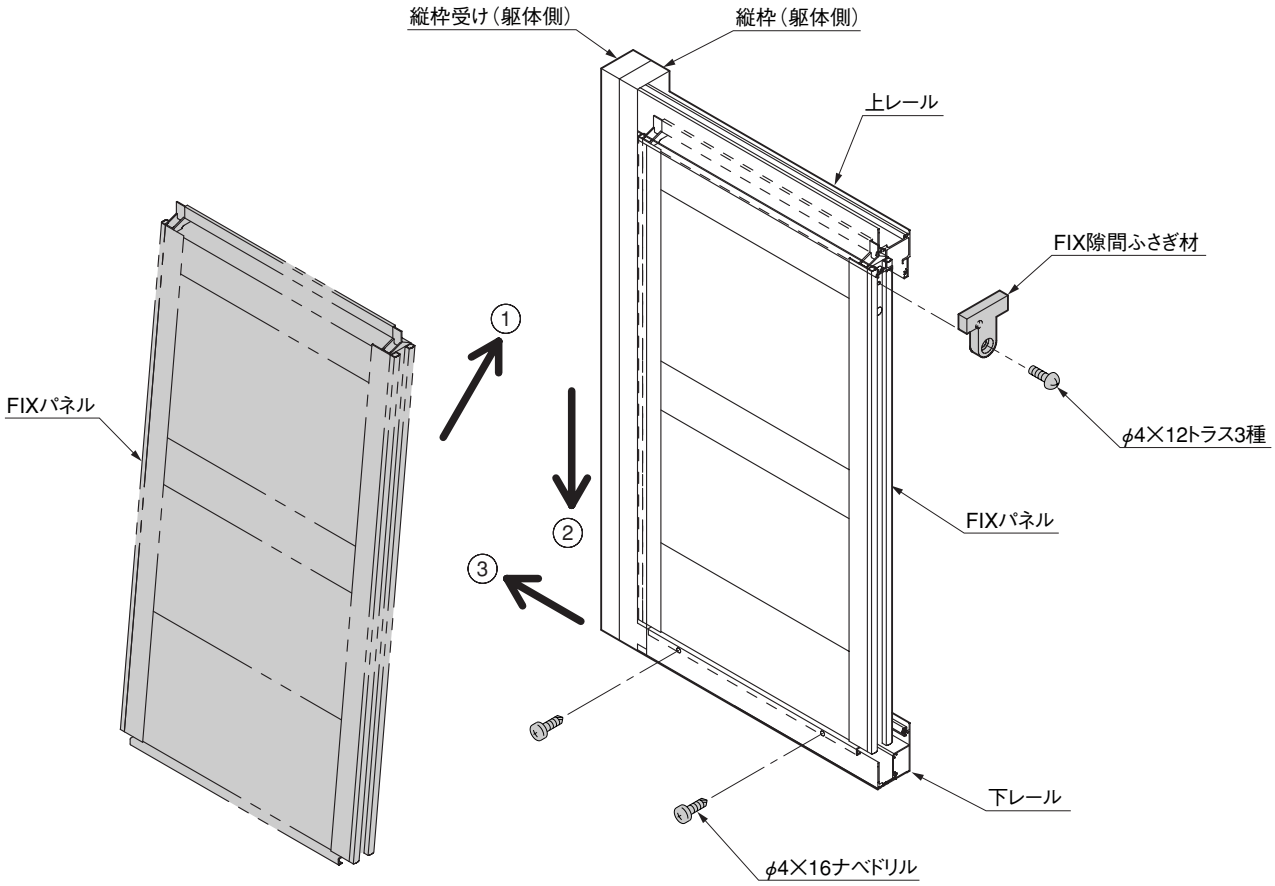
<注 意>

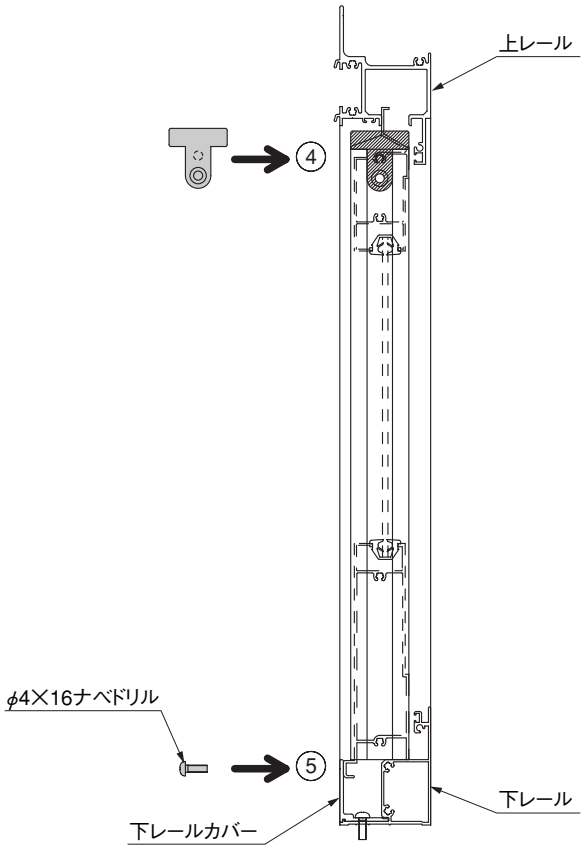
- 左右のパネルをネジれて組付けると開閉時にパネルがはずれ、破損の原因になります。

❷ 組付け後、パネルを開閉させ、ゆるみがないか確認してください。

右パネル引手框
右パネル
左パネル引手框
φ4×12トラス3種
下レール
左パネル
連結框

7-7 FIXパネルの取付け



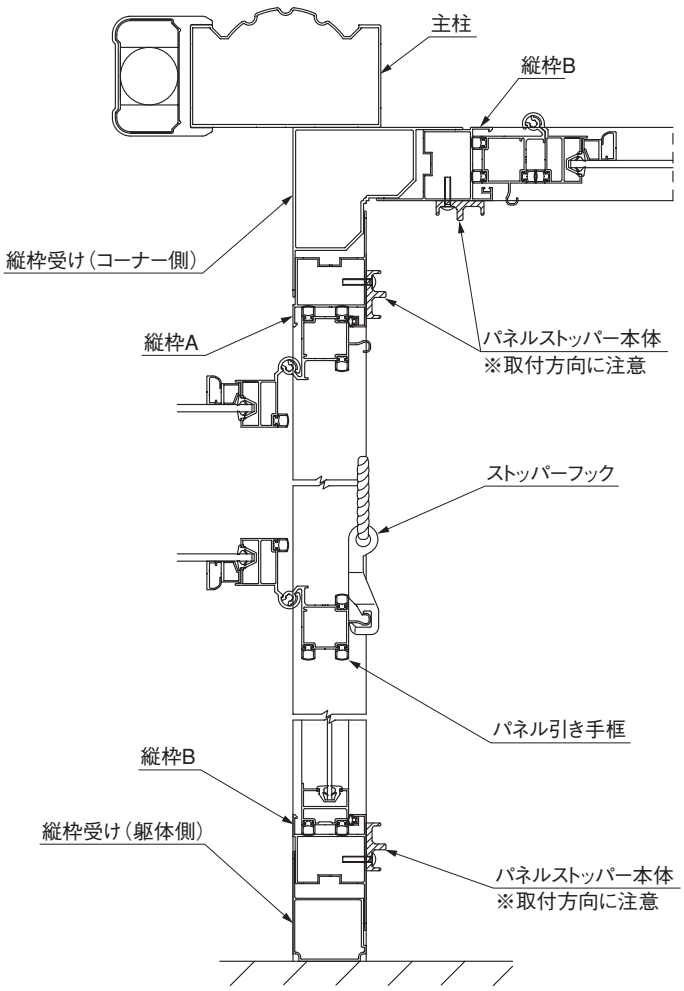


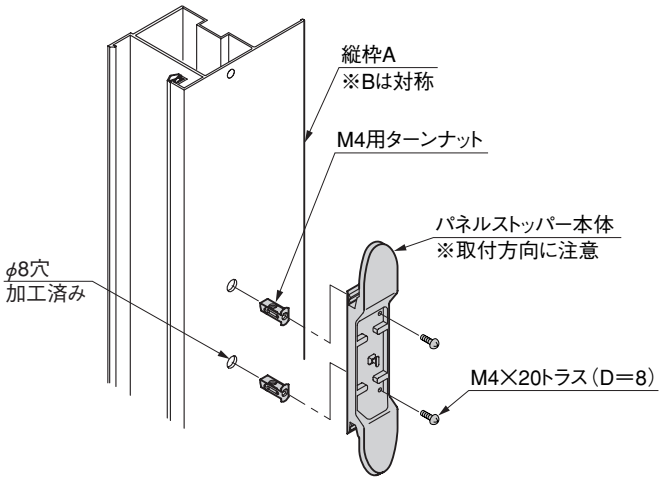
❶ FIXパネルを上レール側から挿入し、持ち上げたまま立て、下レールに落し込んでください。（①→②）

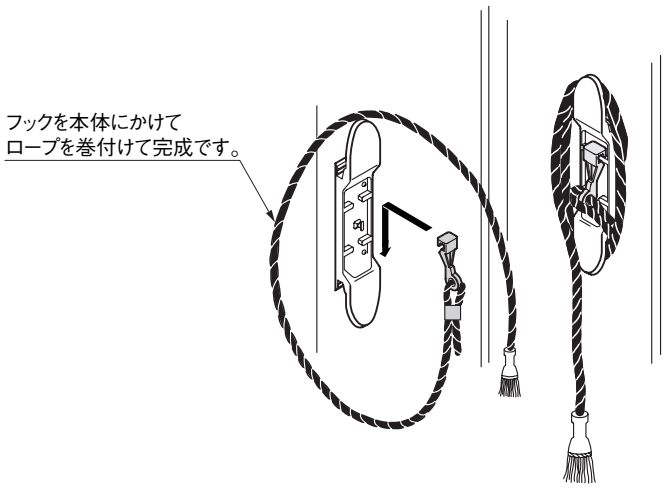
❷ FIXを縦枠（躯体側）に押し込んでFIXすき間ふさぎ材を上部に取付けてください。（③、④）

❸ 下レールの下穴からFIXを固定してください。（⑤）

7-8 ロープ式パネルストッパーの取付け



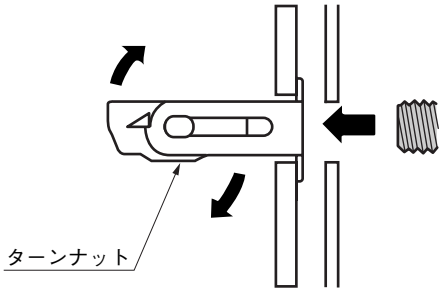




❶ ターンナットを縦枠に取付けてください。（ターンナット取付方法は51ページを参照してください。）
❷ パネルストッパー本体を縦枠にM4×20トラス（D＝8）で取付けてください。
❸ フックを本体にかけてロープを巻付けてください。

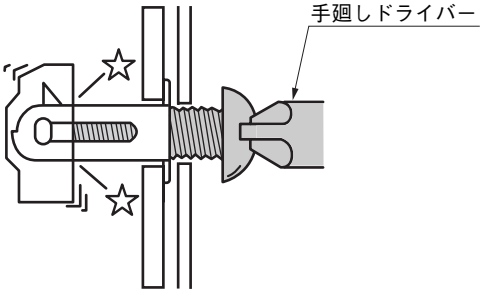
＜注 意＞
- パネルストッパー本体の取付方向に注意してください。
- パネルストッパー本体は桁側2ケ所、妻梁側2×2ケ所計6ケ所取付けてください。

7-9 ターンナットの使用方法



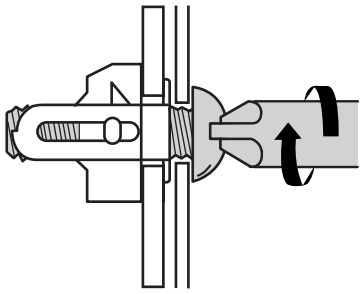
ネジを軽く押す

❶ターンナットを下穴に挿入した後、部品を当てがい、ネジを指で差込んでください。ネジをを軽く押すとナットが回転します。



ネジを一旦逆転→正転

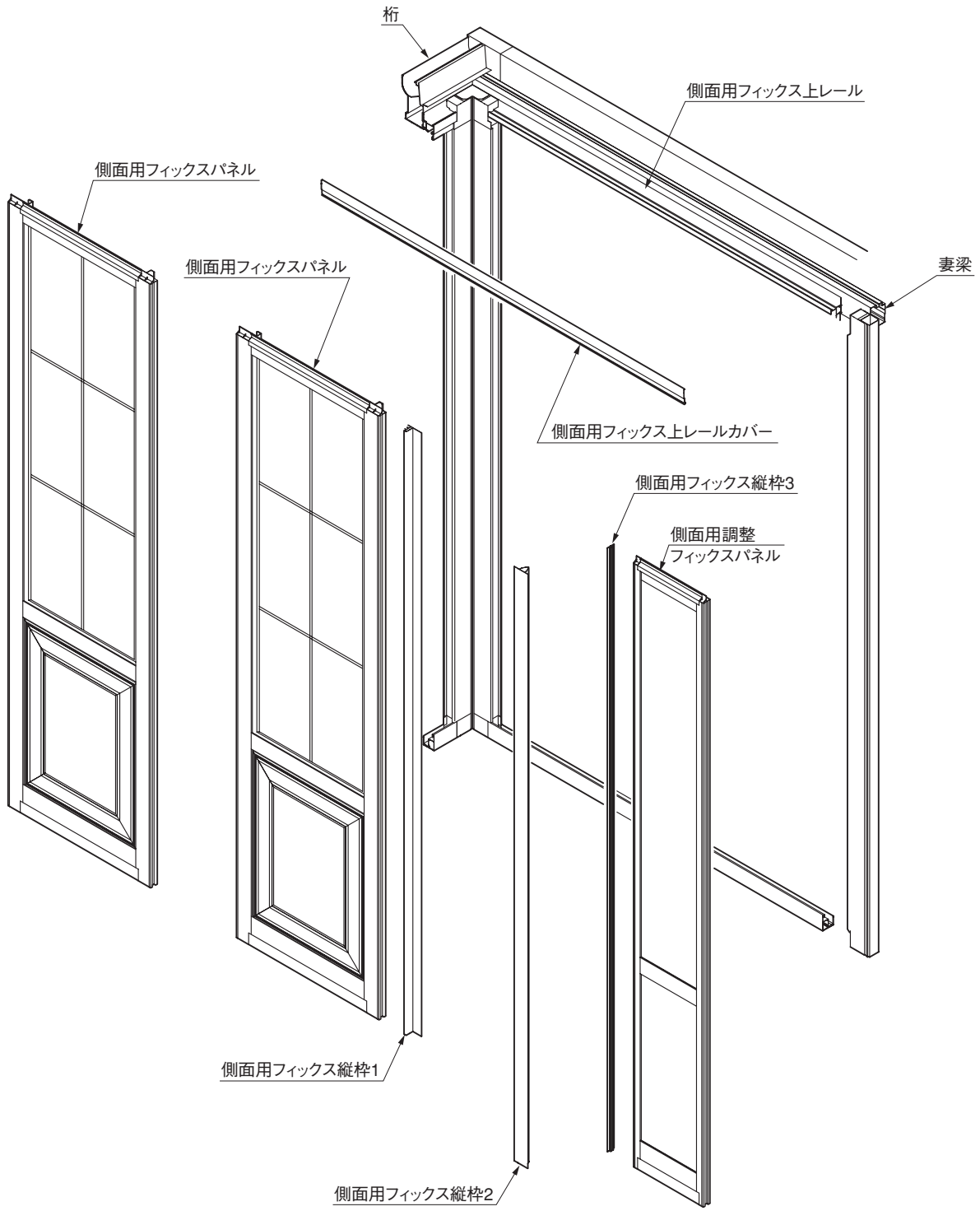
❷手廻しドライバーでネジを押しながら1～2回逆転（左廻）し、そのまますぐに2～3回正転（右廻）して、ネジを軽くネジ込んでください。



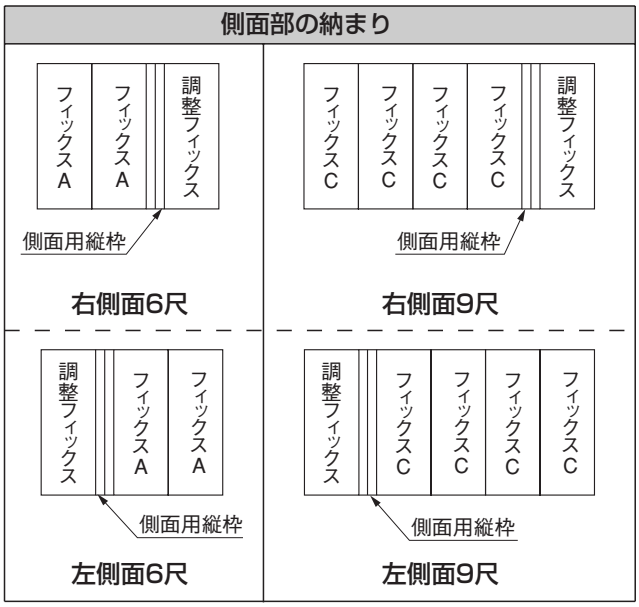
つづけて締めつけ、完了

❸そのまま続けて締めつけください。

8 暖蘭物語 側面用フィックスパネルの施工方法



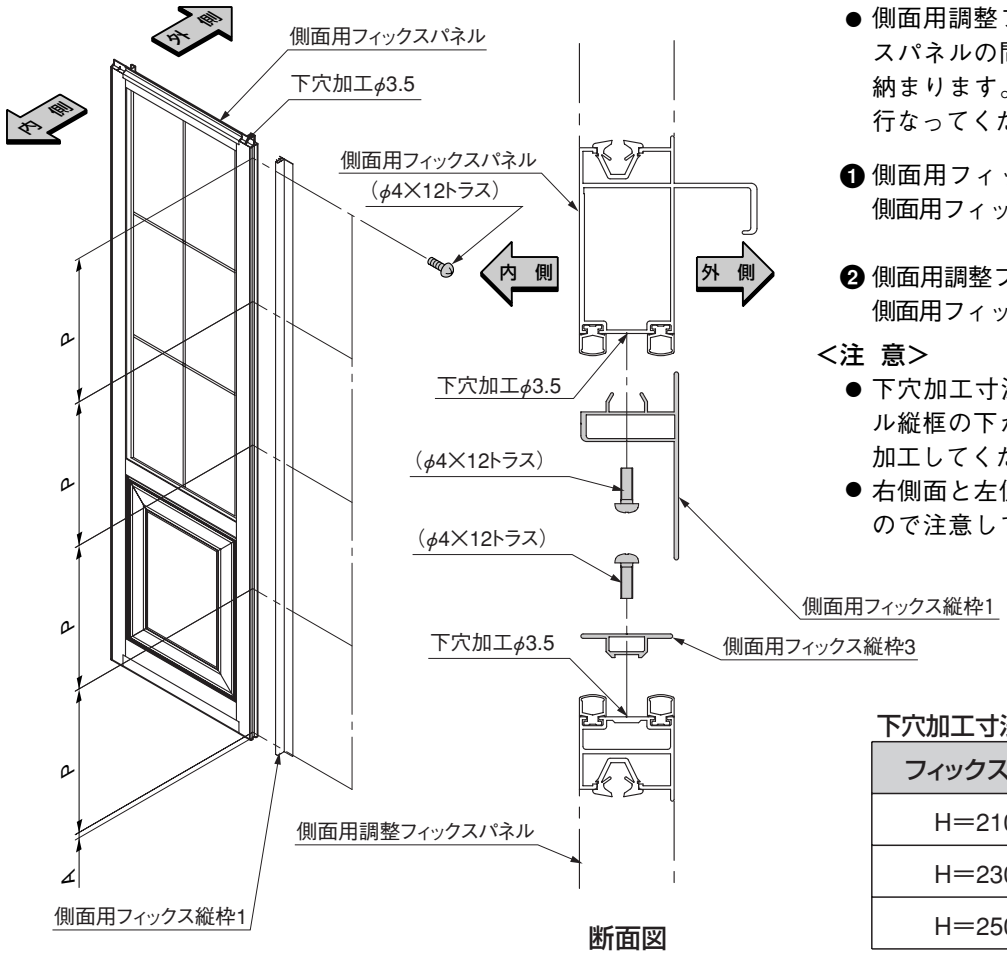
8-1 側面用フィックスパネルの納まり



<注 意>

- 側面用フィックスパネルと側面用調整フィックスパネルの順番がありますので左図を参照し、取付けを行なってください。
- 側面用フィックスと側面用調整フィックスパネルの間には側面用フィックス縦枠が取付きます。

8-2 側面用フィックス縦枠の取付け



<注 意>

- 側面用調整フィックスパネルとフィックスパネルの間に側面用フィックス縦枠が納まります。断面図を参照し、取付けを行なってください。

❶ 側面用フィックスパネルに下穴をあけ、側面用フィックス縦枠1を取付けてください。

❷ 側面用調整フィックスパネルに下穴をあけ、側面用フィックス縦枠3を取付けてください。

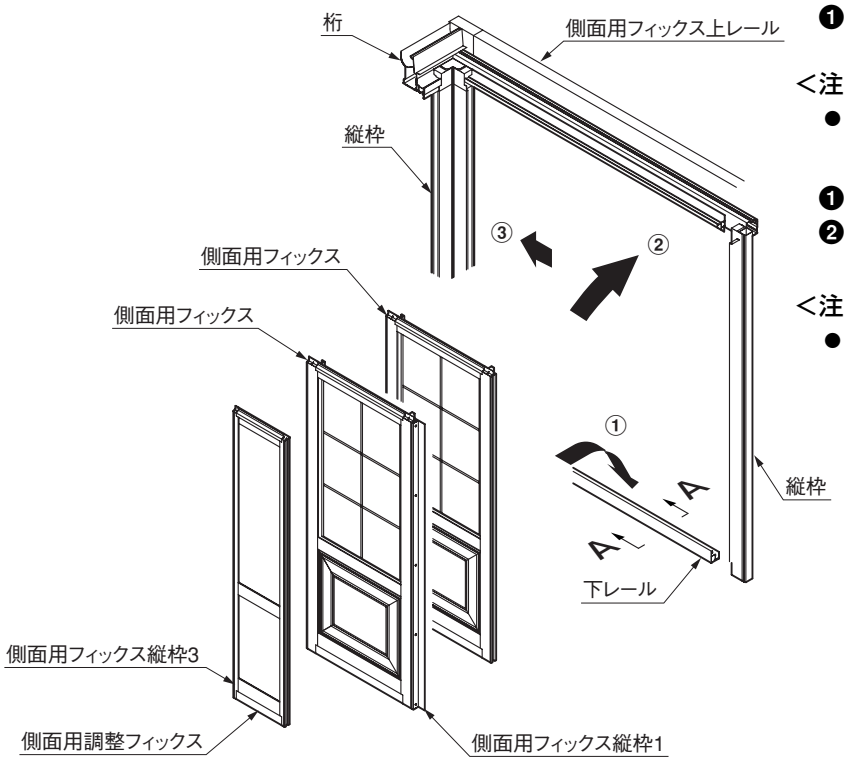
<注 意>

- 下穴加工寸法は、側面用フィックスパネル縦框の下から下記の寸法表を参照し、加工してください。
- 右側面と左側面で納まりが逆になりますので注意して取付けを行なってください。

下穴加工寸法（穴径φ3.5）

フィックス高さ	A寸法	P寸法
H＝2100	15.5	505
H＝2300	15.5	555
H＝2500	15.5	605

8-3 側面用フィックスパネルの取付け



❶ 下レールへ側面用フィックスパネルをセットしてください。（断面図Aの○印参照）

＜注　意＞

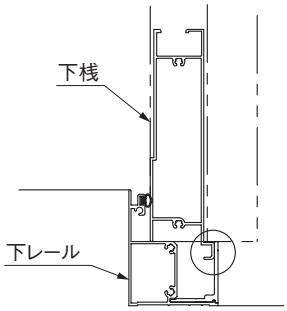
● 側面用フィックスパネルの下桟が下レールの溝に入るように取付けます。

❶ 側面用フィックスパネルを起してください。

❷ 側面用フィックスパネルを柱側へスライドさせてください。

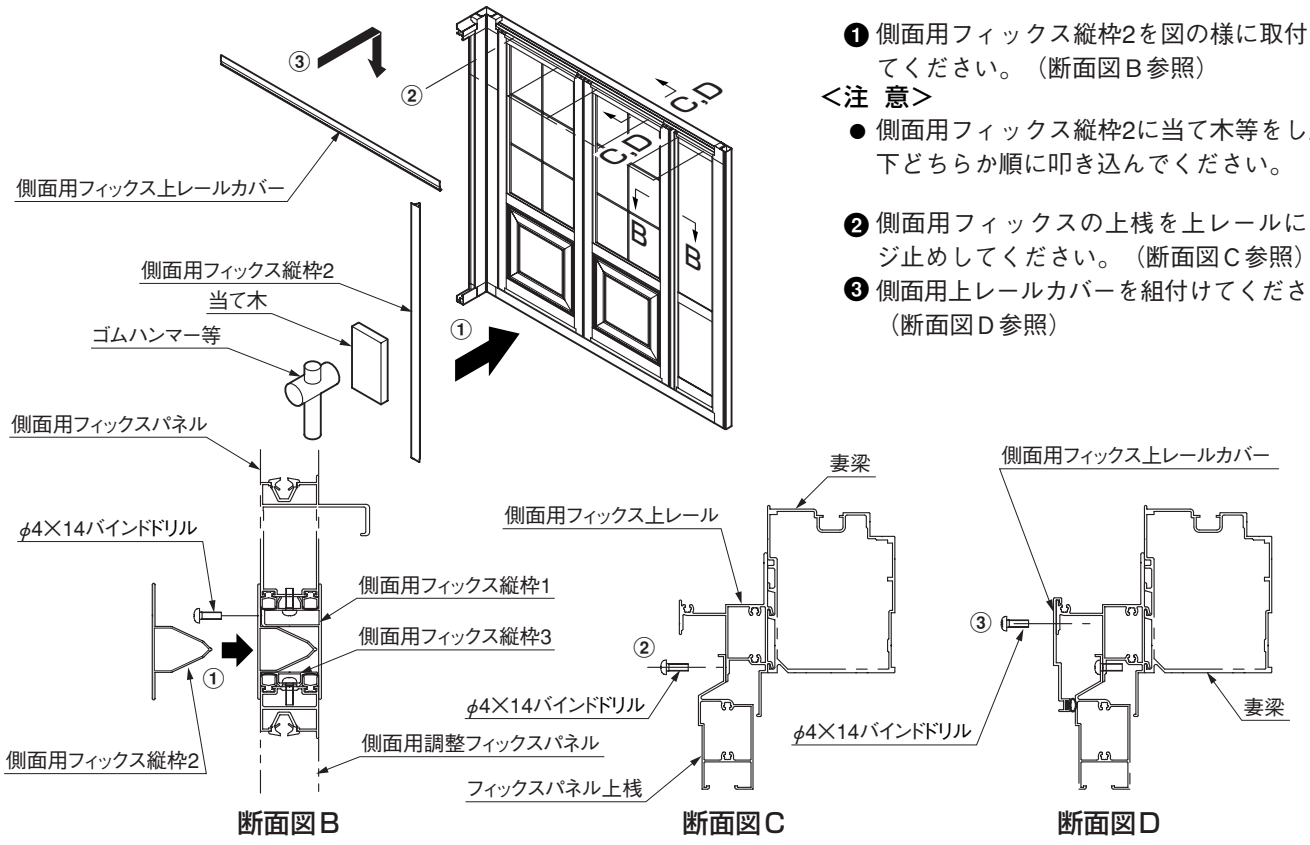
＜注　意＞

● 側面用フィックス縦枠が取付けていない側面用フィックスパネルから順番に取付け、最後に側面用調整フィックスパネルを取付けます。



断面図Ａ

8-4 側面用フィックス縦枠2および側面用フィックス上レールカバーの取付け



❶ 側面用フィックス縦枠2を図の様に取付けてください。（断面図Ｂ参照）

＜注　意＞

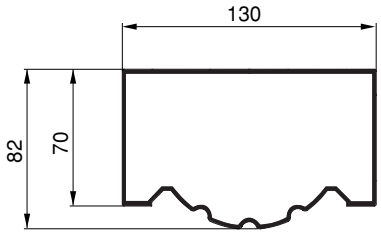
● 側面用フィックス縦枠2に当て木等をし上下どちらか順に叩き込んでください。

❷ 側面用フィックスの上桟を上レールにネジ止めしてください。（断面図Ｃ参照）

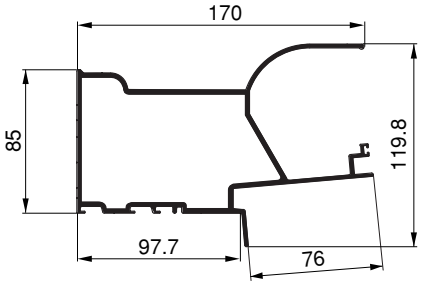
❸ 側面用上レールカバーを組付けてください。（断面図Ｄ参照）

断面図Ｂ　断面図Ｃ　断面図Ｄ

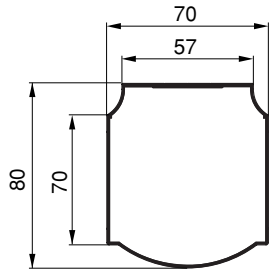
9 暖蘭物語 形材一覧表



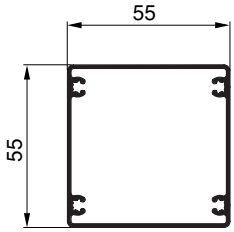
主柱



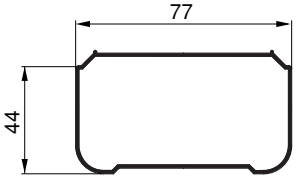
桁



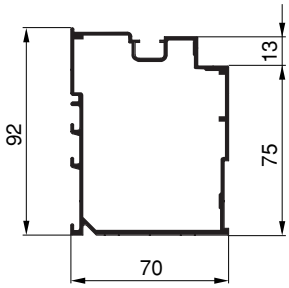
中間柱



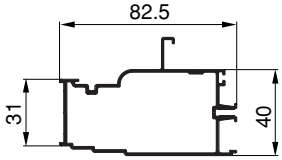
束柱



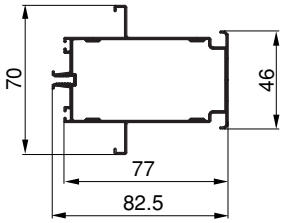
柱竪樋



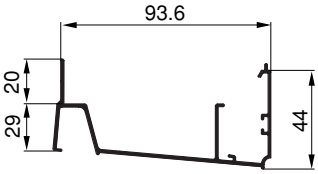
妻梁



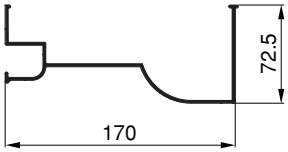
妻垂木



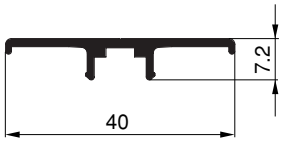
垂木



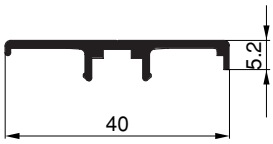
垂木掛け



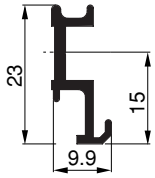
幕板



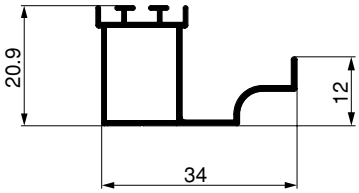
垂木カバー



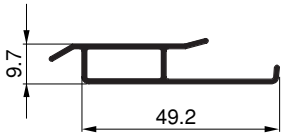
妻垂木カバー



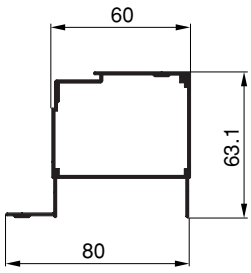
妻垂木押え縁



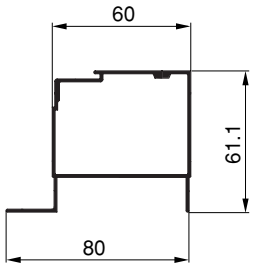
中骨



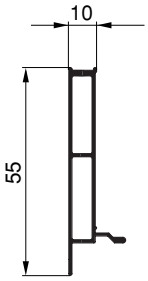
垂木掛け屋根材受け



ベース材（縦）

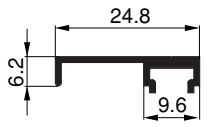


ベース材（横）

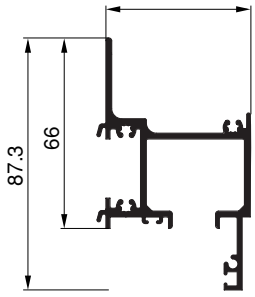


ベース材枠

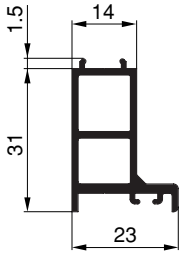
9. つづき



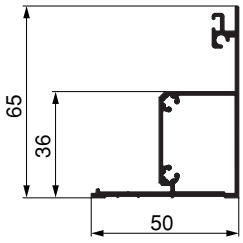
ベース見切り材



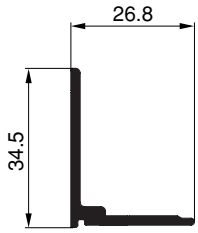
上レール



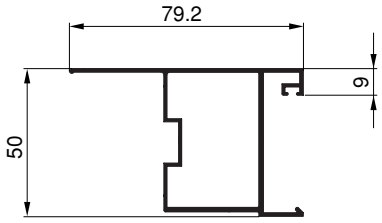
上レールカバー



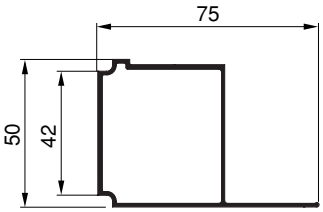
下レール



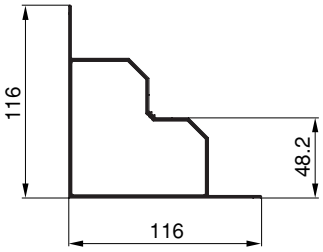
下レールカバー



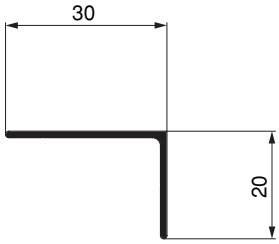
縦枠



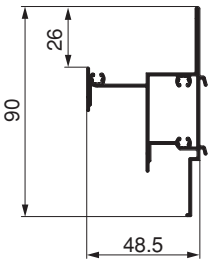
縦枠受け（躯体側）



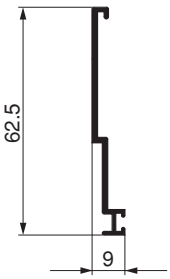
縦枠受け（コーナー）



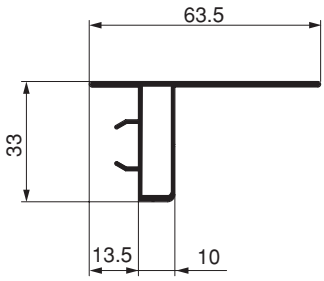
床部見切り材



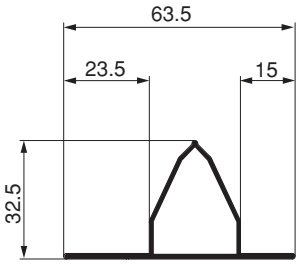
側面用フィックス上レール



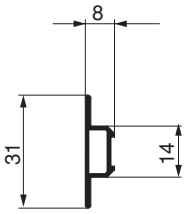
側面用フィックス上レールカバー



側面用フィックス縦枠1

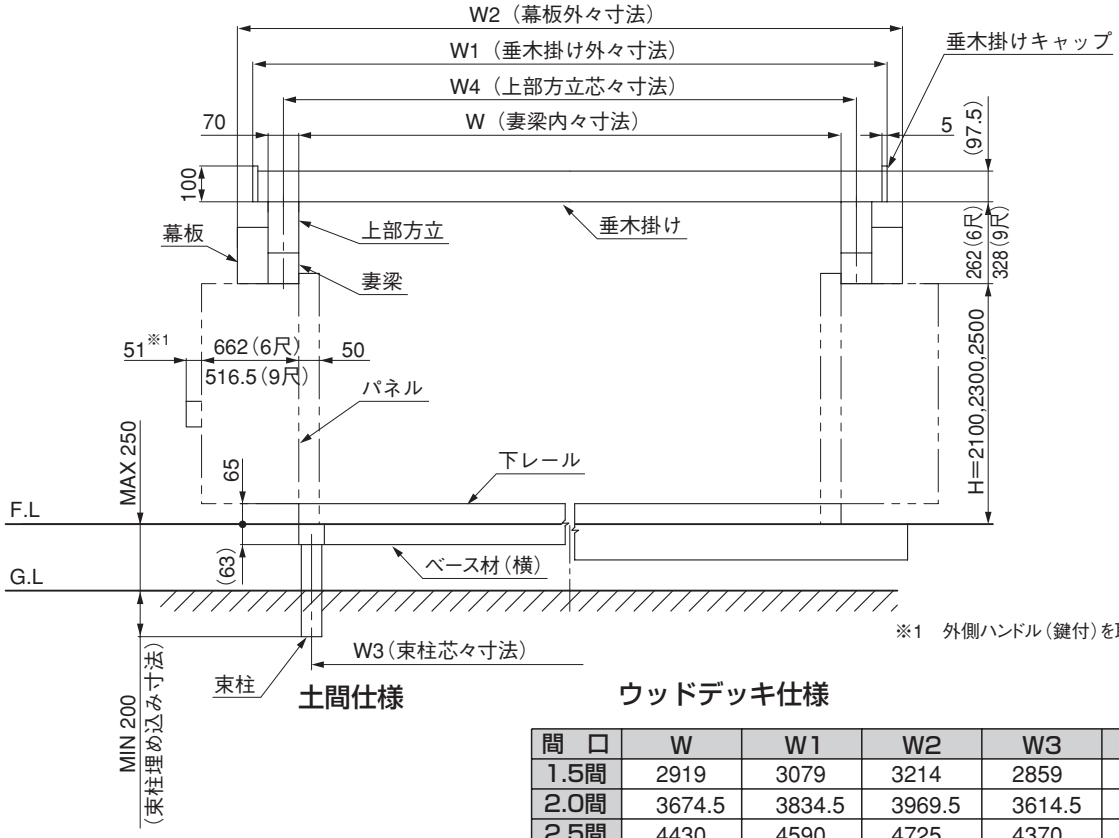


側面用フィックス縦枠2



側面用フィックス縦枠3

10 暖蘭物語 取付け寸法図



※1　外側ハンドル(鍵付)を取付けた場合

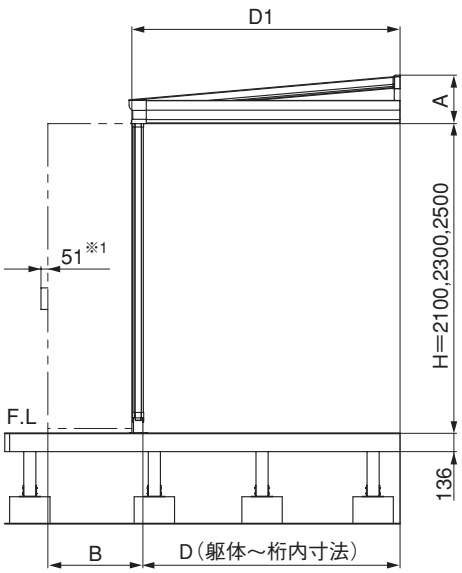
土間仕様

ウッドデッキ仕様

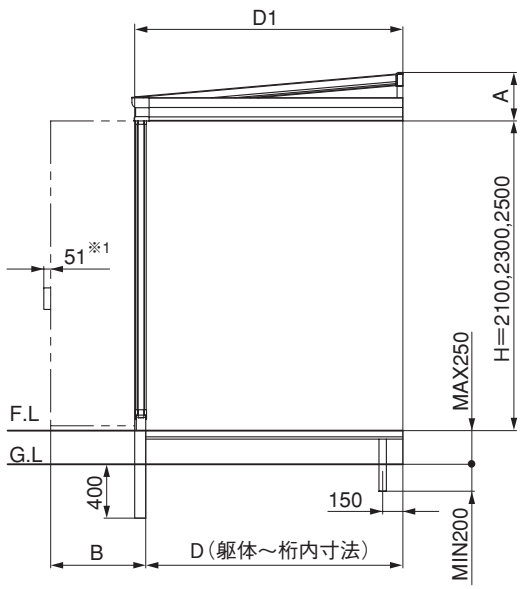
間　口	W	W1	W2	W3	W4
1.5間	2919	3079	3214	2859	2989
2.0間	3674.5	3834.5	3969.5	3614.5	3744.5
2.5間	4430	4590	4725	4370	4500
3.0間	5941	6101	6236	5881	6011

<注 意>

- ［　］印で示した部分はパネルの収納時の寸法を示します。
  この部分に干渉するものがある場合は、取付けおよび収納にご注意ください。
- 詳細についてはＰ58～P61の断面納まり図および基本図集等を参考にしてください。



ウッドデッキ仕様



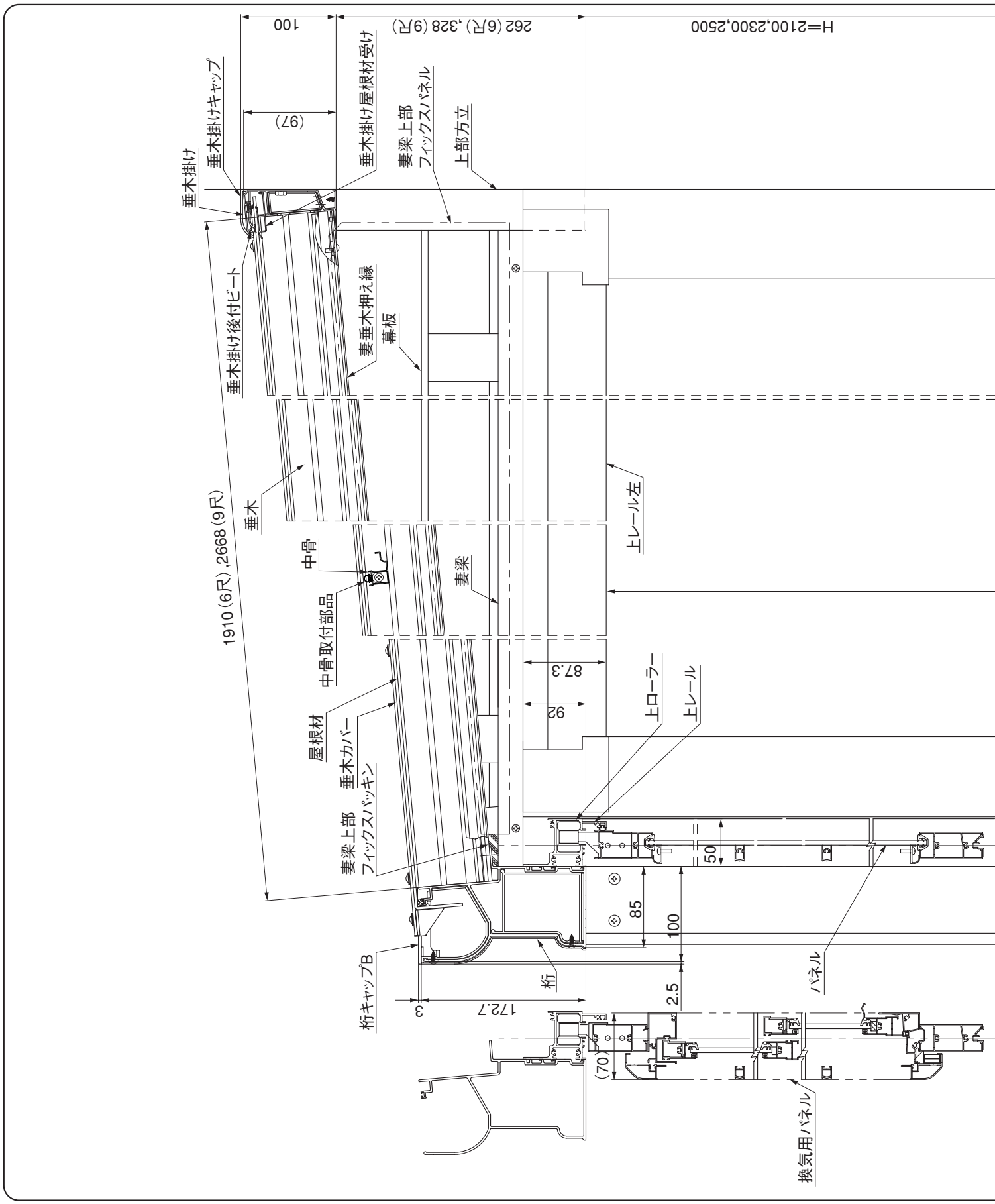
土間仕様

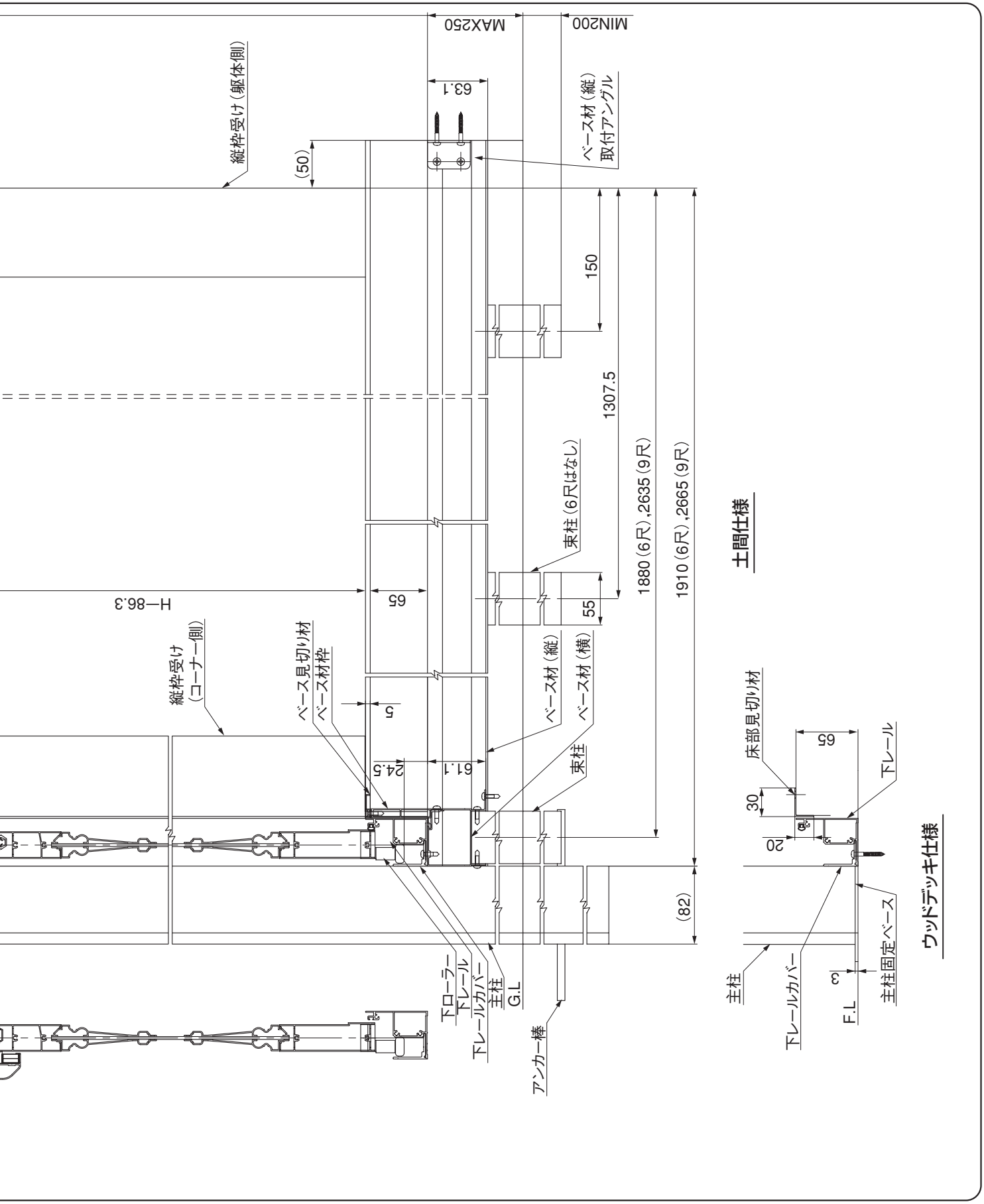
間　口	B
1.5間	662
2.0間	585
2.5間	516.5
3.0間	705.5

出　幅	D	D1	A
6尺	1910	1992	362
9尺	2665	2747	428

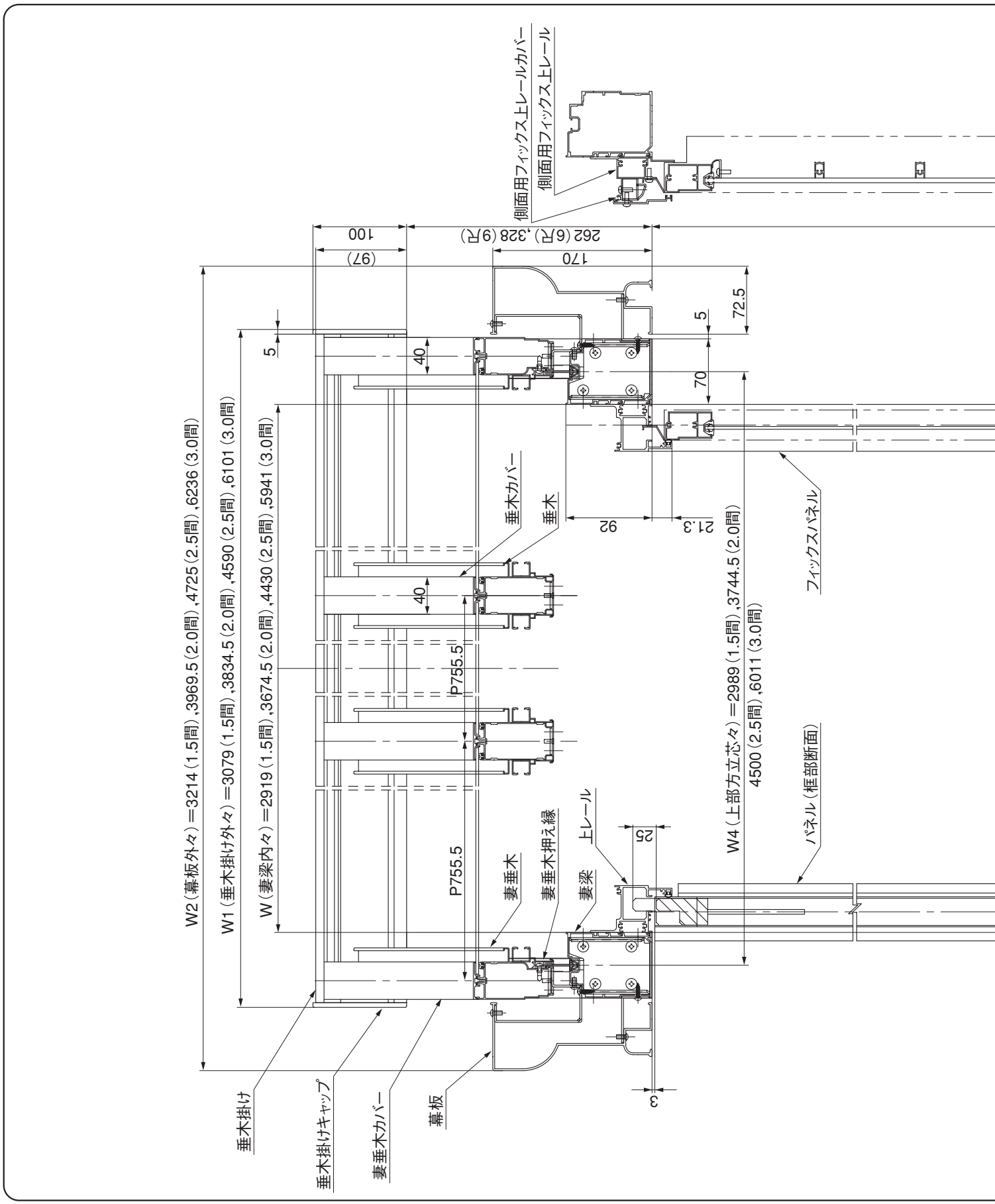
E092_200806H

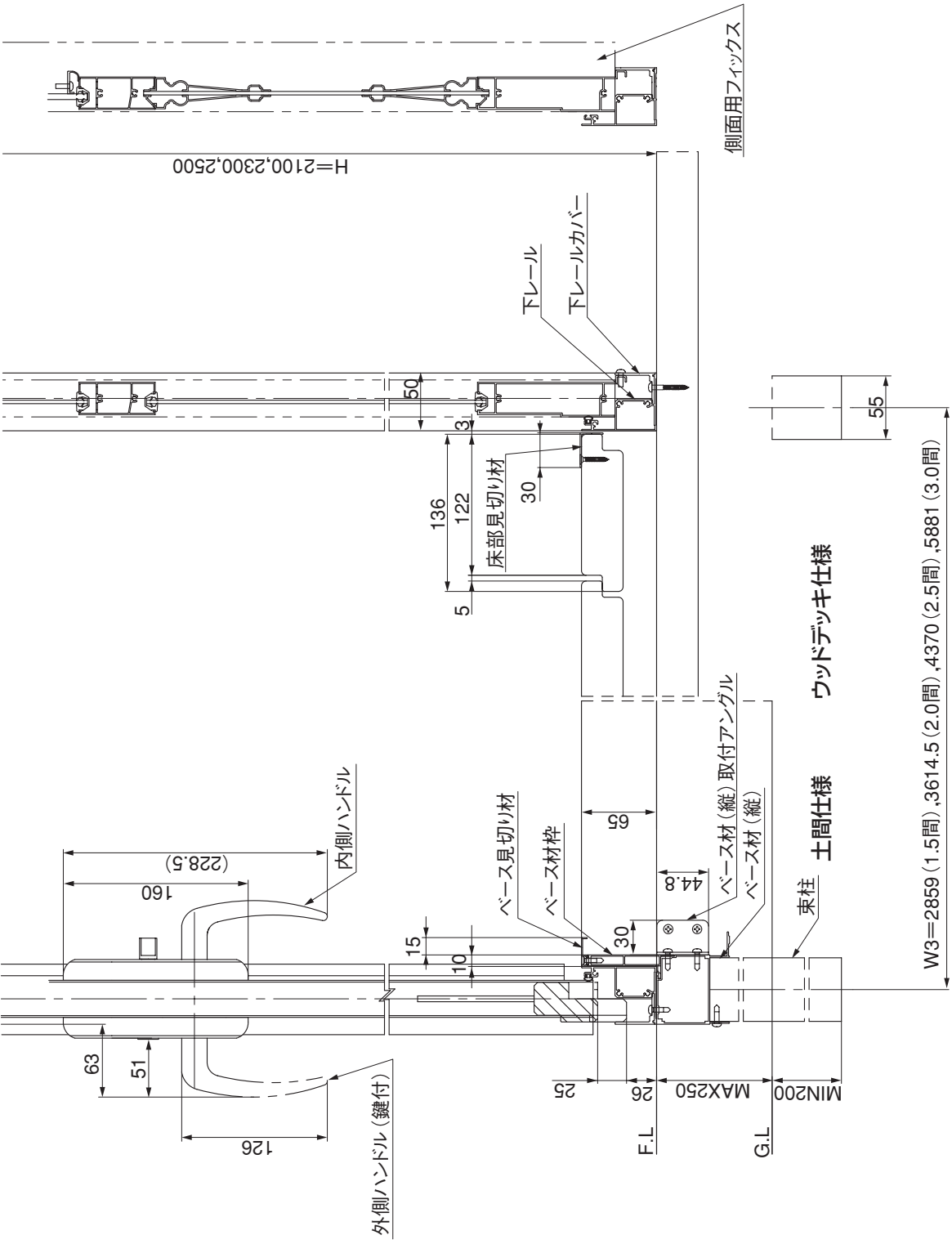
11 暖蘭物語 出幅断面納まり図




MAX250
MIN200
縦枠受け（躯体側）
63.1
ベース材（縦）
取付アングル
(50)
150
1307.5
束柱（6尺はなし）
1880（6尺）,2635（9尺）
1910（6尺）,2665（9尺）
H−86.3
65
55
縦枠受け
（コーナー側）
ベース見切り材
ベース材枠
5
ベース材（縦）
ベース材（横）
24.5
61.1
束柱
(82)
下ローラー
下レールカバー
下レール
主柱
G.L
アンカー棒
土間仕様
床部見切り材
65
30
20
下レール
主柱
下レールカバー
3
F.L
主柱固定ベース
ウッドデッキ仕様

12 暖蘭物語 間口断面納まり図




側面用フィックス
H=2100,2300,2500
下レール
下レールカバー
50
3
136
122
床部見切り材
30
5
55
W3=2859（1.5間）,3614.5（2.0間）,4370（2.5間）,5881（3.0間）
ウッドデッキ仕様
土間仕様
束柱
ベース材（縦）取付アングル
ベース材（縦）
44.8
65
ベース見切り材
ベース材枠
30
15
10
内側ハンドル
160
（228.5）
63
51
126
外側ハンドル（鍵付）
25
26
MAX250
MIN200
F.L
G.L

13 暖蘭物語 チェックリスト

13-1 本体関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
根太、大引またはベース材の水平が正しく設置されているか		5	●パネルの開閉動作不具合 ●各部材の組付け不具合
垂木掛けの高さ、水平が正しく設置されているか		22・23	●パネルの開閉動作不具合 ●各部材の組付け不具合
上部方立の垂直は正しくとれているか		24	●パネルの開閉動作不具合 ●各部材の組付け不具合
柱、桁、妻梁の「水平」「垂直」は正しくとれているか		24	●パネルの開閉動作不具合 ●各部材の組付け不具合
垂木掛け屋根材受けは垂木掛けに正しく取付けられているか		30	●雨もり
屋根材は先端が桁ビートに突き当るまで挿入されているか		30	●雨もり
垂木カバーは先付けビートに当るまで挿入されているか（桁側の垂木カバー屋根材受けが屋根材の先端とあっているか）		30	●雨もり
垂木掛け、後付けビートは正しく挿入されているか		30	●雨もり
コーキングは正しく施工されているか		コーキング取説 22・24・28・31	●雨もり
垂木カバー、妻垂木カバー取付ネジは垂木に対して垂直かつゴムパッキンが十分につぶれるまでねじ込んでいるか		30	●雨もり
積雪地仕様・間口2間の本体に中間柱は取付けたか		26	●本体の破壊、パネルの開閉動作不具合
積雪地仕様・間口2間の中間柱に正しく取付けられているか		26	●折戸パネルの破損
積雪地仕様・間口2間の下レールに中間柱の位置に下部ストッパーは正しく取付けられているか		41	●折戸パネルの破損

13-2 レール関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
縦枠受け（躯体側）（コーナー側）が正しくかつ垂直に取付けられているか		41	●上下レールが組付けられない ●折戸パネルの破損
下レールカバーの左右が正しく組付けられているか		38	●FIXの固定ができない
上レールが桁および妻梁の溝に正しく組付けられているか		40	●上レールがはずれる
縦枠の垂直は正しくとれているか		41	●パネルが正しく閉まらない
下レールが間口中心に組付けられているか		41	●パネルが中間柱に当る
下レールに下部ストッパーが正しく組付けられているか		41	●パネルが中間柱に当る
上レールカバーは上レールのパネル挿入口に正しく挿入されているか		45	●折戸パネルの破損

13-3 パネル関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
上レールカバーは正しく取付けられているか		45	●上ローラーの破損 ●パネルの脱落
錠は正しく取付けられているか		46	●パネルの施錠・解錠の不具合
下ローラーは3ヶ所ネジで確実に固定されているか		47	●下ローラーの脱落
折戸パネルの全開・全閉はスムーズに行なえるか（重い、異音、ひっかり等の異常はないか）		48	●パネルの破損
パネルが正しく連結されているか		48	●パネルの破損
インパクトドライバー（電動工具）を使用してグレモン錠を取付けなかったか		46	●錠の破損
換気用パネルを中間柱の両側に取付けなかったか		44	●換気用パネルの破損
換気用パネルはスムーズに作動し、ロックが確実にかかるか		44	●換気用パネルの破損

メモページ

工事店様へ

●仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。

●みだりに改造、変更はしないでください。

●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

●ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

●月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード
E092

JZZ615120D
200002A_1007
201002J_1007